

教 育 要 覧

南相馬市の教育

令和7年度
(2025)

南相馬市教育委員会

目 次

I	市勢概況	
1	南相馬市のシンボル	1
2	南相馬市の概要	1
3	南相馬市の人口・世帯数	1
4	位置及び面積	2
5	南相馬市民の歌	2
6	東日本大震災における南相馬市の状況	3
II	教育行政	
1	教育委員	1 1
2	教育委員会の沿革	1 2
3	教育委員会組織機構と事務分掌	1 4
4	南相馬市教育振興基本計画後期計画	1 7
5	令和7年度南相馬市学校教育努力目標	1 8
III	教育財政	
1	令和7年度当初予算	2 2
2	令和7年度教育費等予算	2 3
IV	学校教育	
1	学校一覧	2 4
2	児童・生徒数	2 8
3	教育指導	3 3
4	就学奨励	4 1
5	学校保健・安全	4 4
6	学校給食	5 1
7	学校施設一覧	5 2
8	学校施設関連事業計画・実施状況	5 6
9	支援学校・高等学校・専修学校	5 8
V	幼児教育	
1	幼稚園・保育園・こども園一覧	6 0
2	園児数	6 6
3	保健・安全	7 4
4	幼稚園給食	7 4
5	幼稚園・保育園・こども園施設一覧	7 6
6	放課後児童クラブ	7 8
7	事業計画・実施状況	8 3
VI	生涯学習・文化振興	
1	生涯学習関係	8 5
2	生涯学習センター関係	9 8
3	南相馬市生涯学習施設一覧	1 1 1
4	図書館関係	1 1 3
5	文化振興関係	1 2 5
VII	歴史文化	
1	文化財保護関係	1 2 9
2	博物館関係	1 3 6
VIII	スポーツ	
1	スポーツ関係	1 4 7
2	スポーツ施設一覧	1 5 6
3	学校体育施設開放	1 6 8
IX	各種委員会等名簿	1 6 9
X	教育史年表	1 7 4

I 市勢概況

1 南相馬市のシンボル

(1) 市章



緑と青の2色は山・川・海の豊かな自然を象徴。
連携する3つの円は合併3市町の絆であり、調和・協調・交流を表わし、オレンジの円に一人ひとりの輝きと市民の活力の意味を込めて、ゆとりある未来を創造する「南相馬市」の発展の姿を、安定感あるフォルムで表現しました。

(2) 市の花・木・鳥・魚・昆虫



花：さくら



木：けやき



鳥：ひばり



魚：さけ



昆虫：ほたる

2 南相馬市の概要

平成18年1月1日、小高町、鹿島町及び原町市が合併して「南相馬市」が誕生しました。南相馬市は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、緑深い阿武隈の山すそに広がる豊かな平野で、海洋性の穏やかな気候に恵まれたまちです。

3 南相馬市の人口・世帯数（住民基本台帳登録人口）

（令和7年5月31日現在）

	人口（人）			世帯数
	男	女	計	
小高区	2,963	3,097	6,060	2,572
鹿島区	4,783	4,811	9,594	3,741
原町区	19,828	19,805	39,633	18,094
合 計	27,574	27,713	55,287	24,407

※住民基本台帳登録人口は、住民基本台帳に登録された人口です。直近の国勢調査人口を基本にその後の人口動態（出生・死亡・転入・転出）から算出した現住人口とは差があります。

4 位置及び面積

福島県太平洋沿岸北部にあり、東京から 292 km。
いわき市と仙台市のほぼ中間に位置しています。



【位置】		【面積】	
東経	140 度 57 分 26 秒	南相馬市	398.58 k m ²
北緯	37 度 38 分 32 秒	福島県	13,783.90 k m ²

5 南相馬市民の歌

作 詞 佐藤 邦雄
補作詞 市民歌制定委員会
作 曲 大島ミチル

- 山並み遠く 雲が流れ
風さわやかに 野を渡る
ここはふるさと 野馬追の里
雲雀が原に 馬駆ける
南相馬市 ここに生まれ
心晴れ晴れ 未来に広がる
- 朝霧晴れて 陽は昇る
太平の海 洋々と
ここはふるさと 万葉の里
古代の夢が よみがえる
南相馬市 ここに生きる
光を浴びて 日々新しく
- 歌声高く 湧くところ
笑顔あふれて 花ひらく
ここはふるさと 紅梅の里
はじける火花 空に咲く
南相馬市 ここに生きて
明るい朝を 共に迎える

作詞：佐藤 邦雄
補作詞：市民歌制定委員会
作曲：大島 ミチル

やまなみとあかくちがながれ
あさとりはれてくひはのぼる
うたごえたかくわくところ

かせさわやかにかみのをわたり
たいはいのうみうはなひらく
えがおあふれてはなひらく

ここはふるさとまのいのさと
ここはふるさとまんぼうのさと
ここはふるさとにうばいのさと

ひばりがはらにうまがける
こたいのゆめがよみがえる
はじけるはなはなそらにきく

みなみそうましここにうまれる
みなみそうましここにいきる
みなみそうましここにいきる

こころはれはれてみらいにひろがる
ひかりをあびてみはらにひろがる
あかるいあさをとちにかえらる

※伴奏付きで演奏する場合は、前奏、1番のあと2番の後に間奏、3番の後に後奏が入ります。

6 東日本大震災における南相馬市の状況

(1) 東日本大震災に伴う被災等の状況

平成 23 年	
3 月 11 日 14:46	南相馬市で震度 6 弱を観測
3 月 11 日 15:35 頃	津波到達
3 月 12 日 5:44	福島第一原子力発電所から半径 10 km 圏内の住民に避難指示
3 月 12 日 18:25	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内の住民に避難指示
3 月 15 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内の住民は外出せず、自宅など屋内に退避の指示
3 月 15 日～17 日	市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導 (1,939 人)
3 月 18 日～20 日	市がバスで集団避難を誘導 (2,725 人)
3 月 25 日	市がバスで集団避難を誘導 (142 人)
4 月 21 日 11:00	福島第一原子力発電所から半径 20 km 圏内を警戒区域に指示 (4 月 22 日 0:00 警戒区域に設定)
4 月 22 日 9:44	福島第一原子力発電所から半径 20 km 以上 30 km 圏内に指示していた屋内への退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定
7 月 21 日 12:30	特定避難勧奨地点として 57 地点 (59 世帯) を設定
8 月 3 日 12:00	特定避難勧奨地点として 65 地点 (72 世帯) を追加設定
9 月 30 日 18:11	緊急時避難準備区域を解除
11 月 25 日 10:00	特定避難勧奨地点として 20 地点 (22 世帯) を追加設定
平成 24 年	
4 月 16 日 0:00	警戒区域及び計画的避難区域を、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に見直し
平成 26 年	
12 月 28 日 0:00	特定避難勧奨地点を解除
平成 28 年	
5 月 27 日	国、県及び市で避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することに合意
5 月 31 日	国の原子力災害対策本部において、避難指示解除準備区域及び居住制限区域の避難指示を平成 28 年 7 月 12 日に解除することを決定
7 月 12 日 0:00	居住制限区域及び避難指示解除準備区域を解除

(2) 東日本大震災に伴う教育施設等の被災状況

平成23年

3月11日	東日本大震災（震度6弱、大津波警報） 大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
4月22日	緊急時避難準備区域指定 (福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止)
4月22日	小・中学校の再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等） 炊き出し昼食提供開始（2,500食）
4月25日	小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
5月6日	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園） 私立保育園の再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区 寺内地区に臨時園舎にて再開） 児童クラブの再開（千倉（鹿島）・上真野・八沢児童クラブ）
6月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園）
8月1日～	除染作業（保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え 及び校舎・園舎の洗浄）（警戒区域を除く。）
11月5日	中央図書館・博物館施設除染作業
8月5日～	
8月7日	
8月9日	中央図書館・博物館の再開
8月25日	学校給食再開（3,300食） 鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始（24教室～高平小・ 大甕小・ <u>原町一小</u> ・ <u>石神二小</u> ・小高小・ <u>金房小</u> ・ <u>鳩原小</u> ・ <u>原町二中</u> ） ※ <u> </u> は一部使用校
9月1日	公立幼稚園の再開（鹿島区八沢幼稚園）
10月11日	私立保育園の本園再開（原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園）
10月17日	原町区内小中学校の本校再開①（原町一小・原町三小・大甕小・原町一 中・原町二中） 児童クラブの再開（東町・上町・大甕児童クラブ）
11月1日	私立幼稚園再開（青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園）
11月21日	仮設校舎完成・使用開始（鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高小・ 鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中）
12月6日	鹿島図書館、市民情報交流センターの再開

平成24年

1月10日	原町区内小学校の本校再開②（原町二小・高平小・太田小） 児童クラブの再開（橋本町児童クラブ・高平児童館）
2月15日～ 3月31日	小・中学校プールの除染作業（警戒区域を除く）
2月27日	原町区内小中学校の本校再開③（石神一小・石神二小・原町三中・石神中） 児童クラブの再開（石神第二児童クラブ）
4月 1日	児童クラブの再開（石神第一児童クラブ） 公立幼稚園の再開（高平幼稚園・大甕幼稚園）
4月 3日	学校図書館支援員の派遣開始（原町三小・石神二小・小高小・鹿島小）
4月 6日	小高・金房・鳩原小が鹿島小及びユニット教室から鹿島中仮設校舎へ引越し
7月 2日	児童クラブの再開（太田児童クラブ・仲町児童センター）
9月 3日	小高区児童（小高小、金房小）鹿島児童クラブから上真野児童クラブへ移動

平成25年

4月 1日	福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し 真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し 児童クラブの再開（原町第一児童クラブ、小高合同児童クラブ）
-------	---

平成26年

3月31日	真野幼稚園の廃止
4月 1日	真野小を鹿島小に統合
9月 3日	新八沢児童クラブ開所

平成27年

4月 1日	公立保育園の再開（原町あずま保育園）
-------	--------------------

平成28年

4月 1日	小高区内4小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小）合同運営開始
4月23日	公立保育園の再開（原町さくらい保育園）
7月15日	小高図書館再開 埴谷・島尾記念文学資料館再開
7月21日	新鹿島児童クラブ開所

平成29年

4月 1日	小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校、 小高幼稚園の本校・本園再開
-------	--

(3) 平成23年度以降の各小・中学校の移転状況

	H23. 4. 22	H23. 8. 29	H23. 10. 1	H23. 11. 2	H24. 1. 10	H24. 2. 27	H24. 4. 6	H25. 4. 1	H26. 4. 1	H29. 4. 1
原町第一 小学校	鹿島小 校舎	一部鹿島 小ユニット	本校再開							
原町第二 小学校	八沢小 校舎				本校再開					
原町第三 小学校	鹿島小 校舎		本校再開							
高平 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット			本校再開					
大甕 小学校	八沢小 校舎	八沢小 ユニット	本校再開							
太田 小学校	八沢小 校舎		大甕小に 同居		本校再開					
石神第一 小学校	前川原 体育館			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
石神第二 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット				本校再開				
鹿島 小学校	本 校									
真野 小学校	農村環境 改善センター			鹿島小内 仮設校舎				鹿島小 校舎	鹿島小に 統合	
八沢 小学校	本 校									
上真野 小学校	本 校									
小高 小学校	鹿島小 校舎	鹿島小 ユニット	鹿島小 校舎				鹿島中内 仮設校舎			本校再開
福浦 小学校	八沢小 校舎		八沢小 ユニット	鹿島小内 仮設校舎				鹿島中内 仮設校舎		小高小 合同運営
金房 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
鳩原 小学校	上真野小 校舎	一部上真 野小ユニット	鹿島小 ユニット				鹿島中内 仮設校舎			小高小 合同運営
原町第一 中学校	鹿島小 体育館		自校再開							
原町第二 中学校	鹿島中 校舎	鹿島中 ユニット	自校再開							
原町第三 中学校	鹿島中 校舎		鹿島中 ユニット	鹿島中 校舎		本校再開				
石神 中学校	鹿島中 校舎			鹿島中内 仮設校舎		本校再開				
鹿島 中学校	本 校									
小高 中学校	鹿島中 校舎			鹿島小内 仮設校舎						本校再開

	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
原町第一 小学校					→
原町第二 小学校					→
原町第三 小学校					→
高平 小学校					→
大甕 小学校					→
太田 小学校					→
石神第一 小学校					→
石神第二 小学校					→
鹿島 小学校					→
真野 小学校					
八沢 小学校			→	鹿島小に 統合	
上真野 小学校					→
小高 小学校	小高 小学校に再編				
福浦 小学校					
金房 小学校					→
鳩原 小学校					
原町第一 中学校					→
原町第二 中学校					→
原町第三 中学校					→
石神 中学校					→
鹿島 中学校					→
小高 中学校					→

(4) 東日本大震災に伴う児童・生徒の死亡及び行方不明者数、遺児・孤児数

(令和7年4月1日現在)

① 児童・生徒の死亡及び行方不明者

	死亡	行方不明	計
小学生	11人	0人	11人
中学生	8人	0人	8人
計	19人	0人	19人

② 遺児・孤児

() 内は昨年的人数

		遺児	孤児	計
区 分 別 の 内 訳	未就学児等	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	小学生	0人 (1人)	0人 (0人)	0人 (1人)
	中学生	3人 (5人)	0人 (0人)	3人 (5人)
	高校生	11人 (10人)	0人 (1人)	11人 (11人)
	計	14人 (16人)	0人 (1人)	14人 (17人)

3.11 東日本大震災による被災状況図

学野図 南相馬市 縮尺 1:25,000

人的被害 (令和6年4月1日現在)

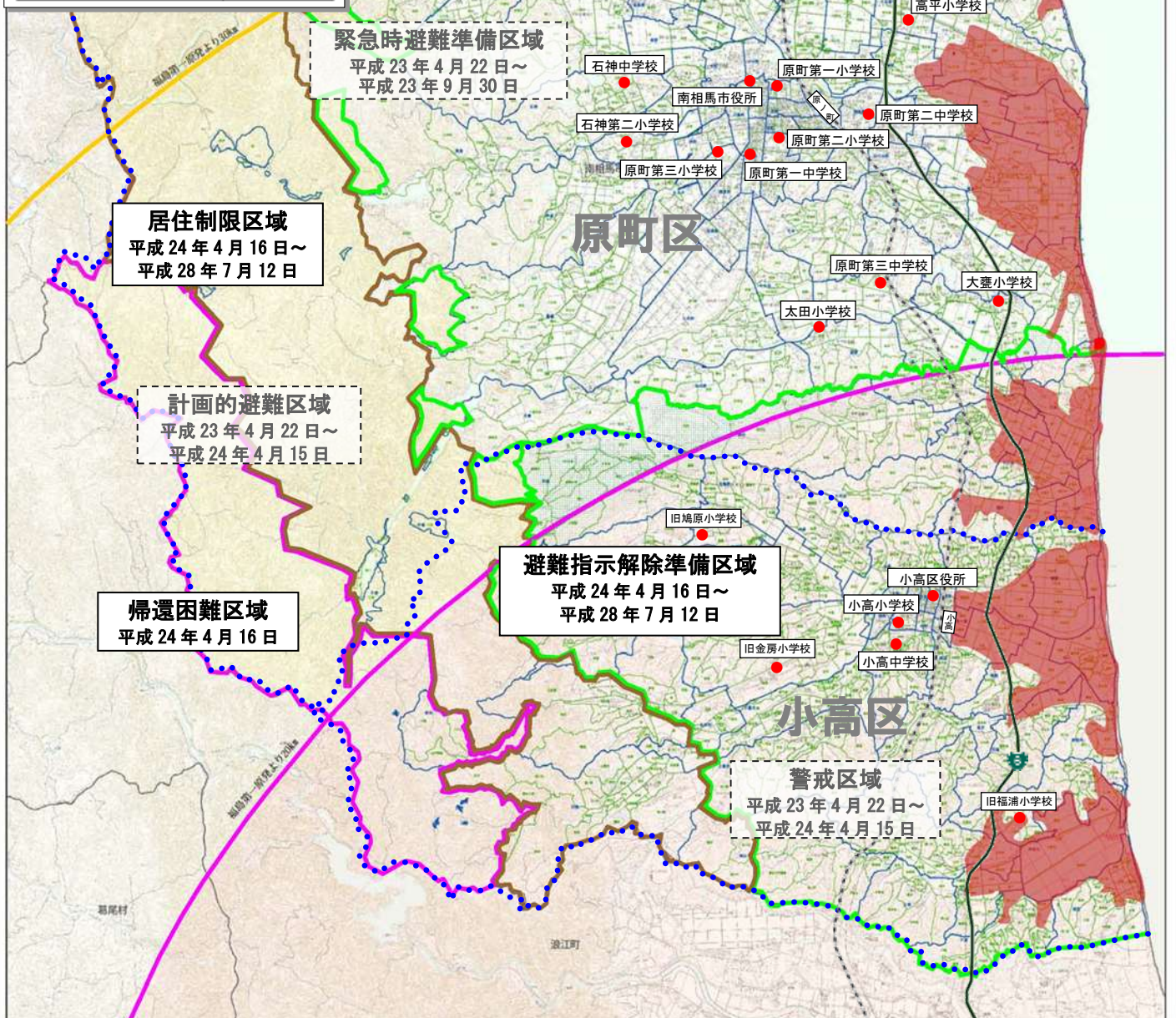
- ・死者 1,157人
(うち関連死 521人)
- ・行方不明者 0人
- ・負傷者 59人
(重傷 2人、軽症 57人)

住家被害 (令和6年4月1日現在)

区	全世帯数	被害世帯数
小高区	3,771	2,236
鹿島区	3,460	1,051
原町区	16,667	2,029
合 計	23,898	5,316

津波被害面積 (平成23年4月8日現在)

区	地 区	面積
鹿島区	八沢	5.0 k m ²
	南海老～鳥崎	10.8 k m ²
	小 計	15.8 k m ²
原町区	金沢・北泉	1.6 k m ²
	泉～雫	9.1 k m ²
	小浜～小沢	3.8 k m ²
	小 計	14.5 k m ²
小高区	塚原～角部内	5.6 k m ²
	井田川～浦尻	4.9 k m ²
	小 計	10.5 k m ²
合 計		40.8 k m ²



Ⅱ 教育行政

1 教育委員



教育長
大和田 博行



教育長職務代理者
高野 恵以子



教育委員
金子 まゆみ



教育委員
和田 菜子



教育委員
山邊 彰一

(令和7年5月1日現在)

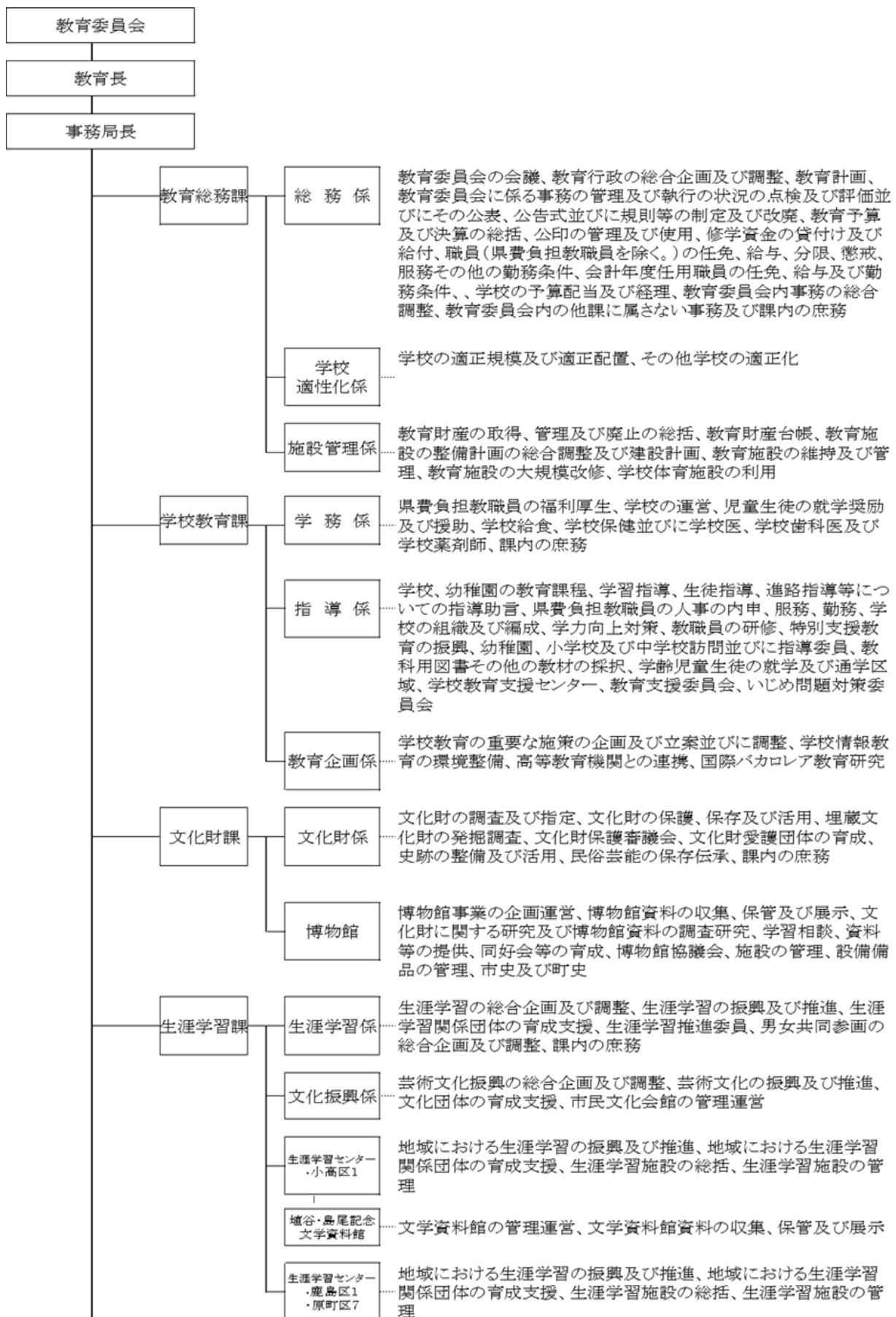
区 分	氏 名	就任年月日	任期年月日
教 育 長	大和田 博行	R6. 4. 1	R9. 3. 31
教育長職務代理者	高野 恵以子	R4. 3. 29	R8. 3. 28
委 員	金子 まゆみ	R7. 3. 29	R11. 3. 28
委 員	和田 菜子	R5. 6. 27	R9. 6. 26
委 員	山邊 彰一	R6. 3. 29	R10. 3. 28

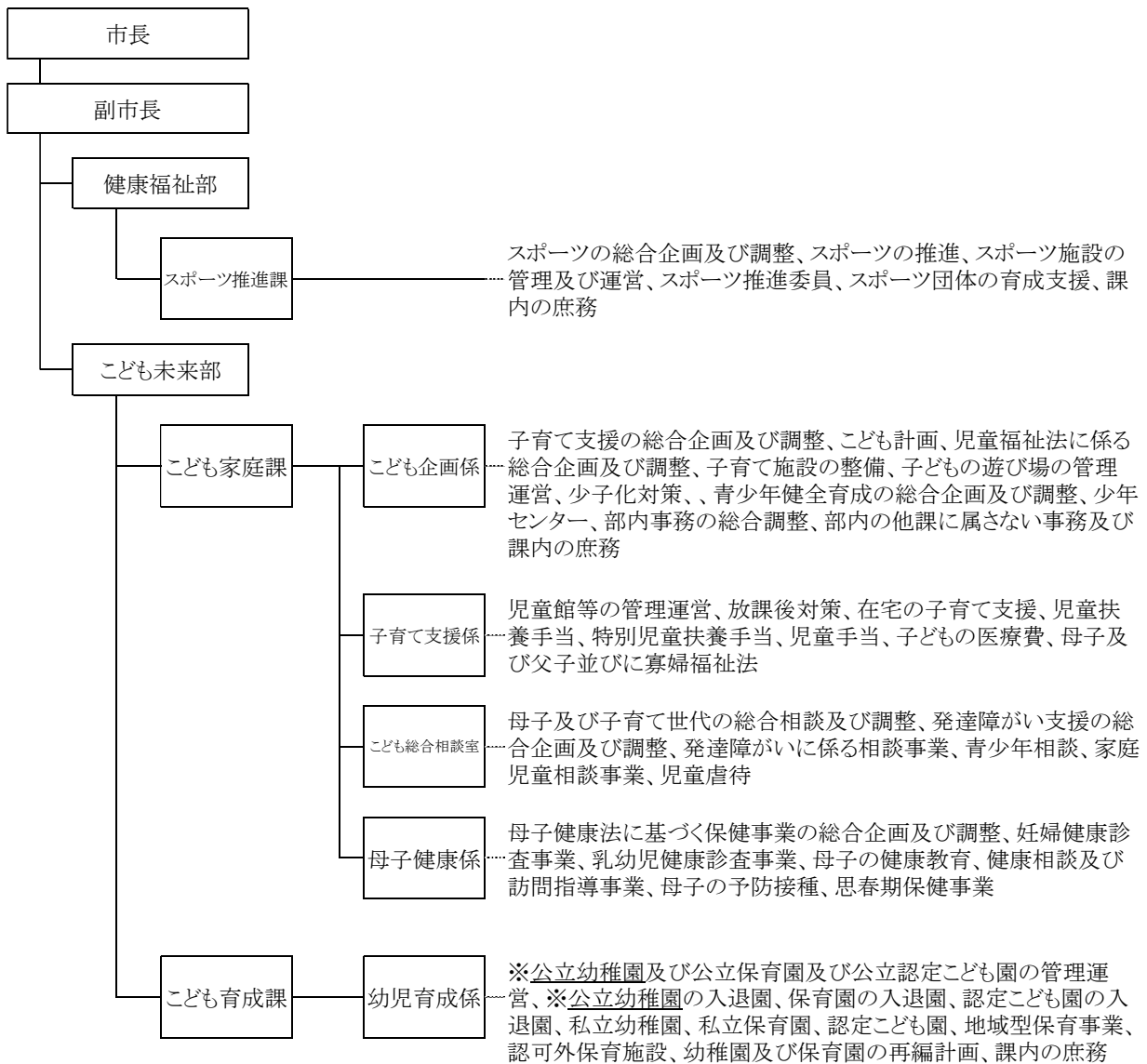
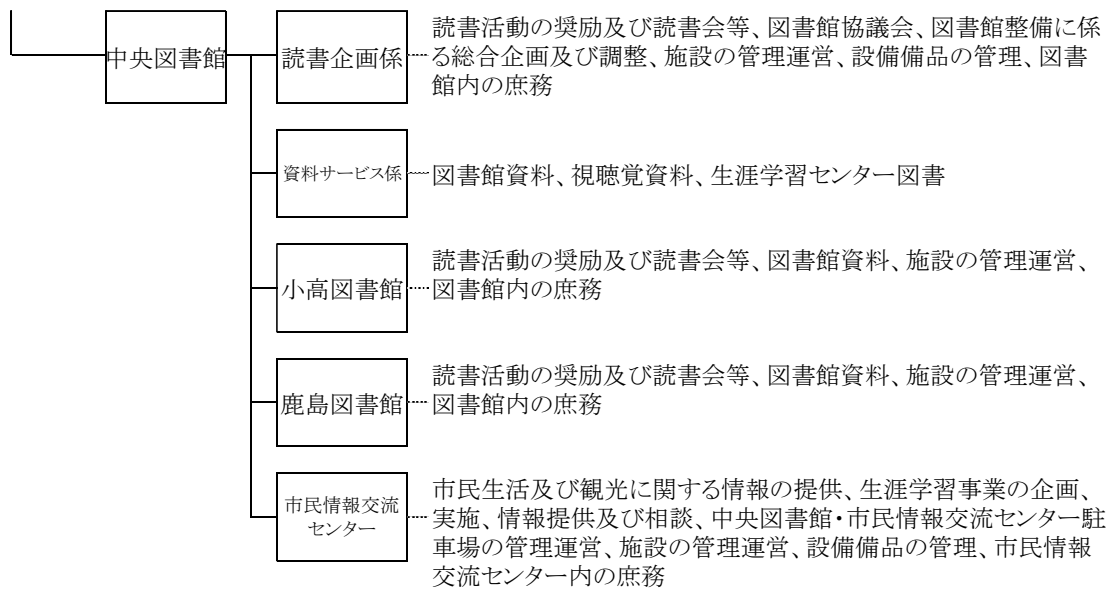
2 教育委員会の沿革

年 月 日	教 育 長	委 員 長	委 員 長 職務代理者	教 育 委 員
平成18. 1. 1	小高町・鹿島町・原町市の2町・1市が合併「南相馬市」となる			
平成18. 1. 1	青木 紀男（就任）	渡部 光明（就任）	荒川 登（就任）	渡部 光明（就任）
				荒川 登（就任）
				青木 紀男（就任）
				菊地 清人（就任）
				前田 英子（就任）
平成18. 3. 29	青木 紀男（再任）	渡部 光明（再任）	横田 芳朝（就任）	横田 芳朝（1年）
				菊地 清人（2年）
				渡部 光明（3年）
				青木 紀男（4年）
				鎌田 芳子（4年）
平成19. 3. 28				横田 芳朝（退任）
平成19. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（就任）	
平成19. 6. 27				水谷 隆（就任）
平成20. 3. 28				菊地 清人（退任）
平成20. 3. 29		渡部 光明（再任）	鎌田 芳子（再任）	大瀬 幸枝（就任）
平成21. 3. 28				渡部 光明（退任）
平成21. 3. 29		大石 力彌（就任）	鎌田 芳子（再任）	大石 力彌（就任）
平成22. 3. 28				鎌田 芳子（退任）
平成22. 3. 29	青木 紀男（再任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（就任）	吉田 奈保美（就任）
平成23. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	
平成23. 6. 27			水谷 隆（再任）	水谷 隆（再任）
平成24. 3. 28				大瀬 幸枝（退任）
平成24. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	宮本 晴一（就任）
平成25. 3. 29		大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	大石 力彌（再任）
平成26. 3. 28				吉田 奈保美（退任）
平成26. 3. 29	青木 紀男（就任）	大石 力彌（再任）	水谷 隆（再任）	高野 恵以子（就任）
平成27. 3. 31	青木 紀男（退任）			

教育委員会制度改正により役職変更				
年 月 日	教 育 長	教 育 長 職務代理者	教 育 委 員	
平成27. 4. 1	阿部 貞康（就任）	大石 力彌（就任）		
平成27. 6. 26			水谷 隆 （退任）	
平成27. 6. 27			渡辺 金作（就任）	
平成28. 3. 28			宮本 晴一（退任）	
平成28. 3. 29			濱須 弘仲（就任）	
平成29. 3. 29		大石 力彌（再任）		
平成30. 3. 29			高野 恵以子（再任）	
平成30. 3. 31	阿部 貞康（退任）			
平成30. 4. 1	大和田 博行（就任）			
令和元. 6. 27			渡辺 金作（再任）	
令和 2. 3. 29			濱須 弘仲（再任）	
令和 3. 3. 28			大石 力彌（退任）	
令和 3. 3. 29		渡辺 金作（就任）	金子 まゆみ（就任）	
令和 3. 4. 1	大和田 博行（再任）			
令和 4. 3. 29			高野 恵以子（再任）	
令和 5. 6. 26			渡辺 金作（退任）	
令和 5. 6. 27		高野 恵以子（就任）	和田 菜子（就任）	
令和 6. 3. 28			濱須 弘仲（退任）	
令和 6. 3. 29			山邊 彰一（就任）	
令和 6. 4. 1	大和田 博行（再任）			
令和 7. 3. 29			金子 まゆみ（再任）	

3 教育委員会組織機構と事務分掌





※ は、教育委員会の権限に属する事務を補助執行している部分

教育機関等の所属

教育委員会部局

所 属	機 関 名
教 育 総 務 課	原町第一小学校、原町第二小学校、原町第三小学校、高平小学校、大甕小学校、太田小学校、石神第一小学校、石神第二小学校、鹿島小学校、上真野小学校、小高小学校、原町第一中学校、原町第二中学校、原町第三中学校、石神中学校、鹿島中学校、小高中学校
学 校 教 育 課	南相馬市学校給食センター
文 化 財 課	南相馬市博物館、文化財整理室
南 相 馬 市 立 中 央 図 書 館	南相馬市立中央図書館、南相馬市立小高図書館、南相馬市立鹿島図書館、南相馬市民情報交流センター
生 涯 学 習 課	小高生涯学習センター「浮舟文化会館」、埴谷・島尾記念文学資料館、南相馬市就業改善センター、南相馬市小高コミュニティセンター、鹿島生涯学習センター、南相馬市鹿島農村環境改善センター、原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」、太田生涯学習センター、大甕生涯学習センター、高平生涯学習センター、石神生涯学習センター、ひがし生涯学習センター、ひばり生涯学習センター、南相馬市労働福祉会館、南相馬市民文化会館

市長部局

所 属	機 関 名
ス ポ ー ツ 推 進 課	南相馬市スポーツセンター、雲雀ヶ原陸上競技場、夜の森公園テニスコート、南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、南相馬市野球場、南相馬市民プール、小川町体育館、南相馬市サッカー場、北新田第一運動場、北新田第二運動場、北新田野球場、南相馬市相撲場、栄町柔剣道場、南相馬市馬事公苑、小高体育センター、小高東部運動場、小高中部運動場、小高片草運動場、千倉体育館、前川原体育館、千倉グラウンド、前川原グラウンド、千倉テニスコート、みちのく鹿島球場、鹿島体育館、南相馬市パークゴルフ場
こ ど も 家 庭 課	東町児童センター、上町児童センター、橋本町児童センター、八沢児童クラブ、鹿島児童クラブ、石神第二児童クラブ
こ ど も 育 成 課	高平幼稚園、大甕幼稚園、鹿島幼稚園、かしま保育園、かみまの保育園、おだか認定こども園

4 南相馬市教育振興基本計画後期計画

学校教育

施策1 豊かな心と体の育成

- (1) 郷土を愛し豊かな心を育む教育「ふるさと至誠学」を推進します。
- (2) 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。
- (3) 運動の習慣化や正しい食生活を身につけ、健康な体を育む教育を推進します。

施策2 教育水準の向上

- (1) 教育指導体制を充実します。
- (2) 地域性を生かした魅力ある教育環境づくりを推進します。
- (3) 小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備します。
- (4) 学校図書館及び図書館教育の充実を推進します。
- (5) 地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進します。

施策3 学びの環境整備・充実

- (1) 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。
- (2) 地域と連携した登下校の安全確保や安全な通学手段を確保します。
- (3) 学校施設の環境整備・改善に取り組みます。
- (4) 安全・安心な学校給食を安定的に供給できる体制を整備します。
- (5) 学びのセーフティネットとしての支援に取り組みます。

生涯学習・スポーツ

施策1 生涯学習の充実

- (1) 市民が生涯にわたって学ぶことができる環境を整備します。
- (2) 子育て世代や青壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実を図ります。
- (3) 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。

施策2 芸術文化の充実

- (1) 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。
- (2) 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。

施策3 スポーツの振興

- (1) スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。
- (2) 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組みます。
- (3) 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組みます。
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン相手国との相互交流を推進します。

文化

施策1 文化遺産の整備・活用

- (1) 文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を促進します。

施策2 ふるさと教育の充実

- (1) 子どもから大人までふるさとの自然、歴史や文化の理解を深める学習機会の提供に努めます。
- (2) ふるさとに継承される報徳精神を活かしたまちづくり、ひとづくりを進めるため、報徳仕法の学びの場を充実します。

施策3 地域文化の継承

- (1) 民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。
- (2) 震災資料を含めた歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用を推進します。

幼児教育

施策1 幼児教育の充実

- (1) 園児の可能性や特性を引き出す幼児教育を推進します。
- (2) 私立・公立保育園（所）・幼稚園等のあり方を検討します。
- (3) 保護者の経済的負担の軽減を図ります。
- (4) 保育者・幼稚園教諭等の人材確保に取り組みます。

施策2 子育て環境の充実

- (1) 多様化する子育て家庭のニーズに対応します。
- (2) 子育てに関する相談・支援体制や情報発信の充実を図ります。
- (3) 子育て家庭と地域、子育て支援機関の交流を図ります。

5 令和7年度南相馬市学校教育努力目標

【基本目標】

- 1 「確かな学力」の定着を図るとともに、「豊かな心」、「健やかな体」を培い、「知・徳・体」をバランスよく育成する教育活動を推進する。
- 2 予測困難な時代を生き抜く「生きる力」が身に付くよう、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
- 3 組織的・計画的に教育の質の向上を図る、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- 4 「南相馬の授業スタイル」や「授業改善プラン」を基盤とした、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、子どもが主役の授業づくりを推進する。
- 5 教職員の多忙化解消を図るために、教育活動の効率的・効果的な在り方を創意工夫する。

【具体目標】

- 1 確かな学力の育成（授業改善・学習活動の充実）
- 2 豊かな心の育成（道德教育、生徒指導の充実）
- 3 健やかな体の育成（体育と健康に関する指導の充実）
- 4 特別支援教育の充実
- 5 開かれた学校づくりの推進
- 6 図書館教育の充実

1 確かな学力の育成（授業改善・学習活動の充実）

(1) 確かな学力を育成する教育活動の充実

- ① 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に関する資質・能力をバランスよく育成する教育活動を展開する。
- ② 「南相馬の授業スタイル」及び「授業改善プラン」等に基づき、同一歩調で「主体的・対話的で深い学び」に視点をあてた授業改善に取り組む。
- ③ ICT機器を積極的に活用するとともに、TTや習熟度別学習等、個別指導を充実させ、個別最適化した学び・協働的な学びの推進に努める。
- ④ 学年や個々の実態を考慮し、授業と関連させた質の高い家庭学習への取組みを推進する。

(2) 体験的・問題解決的な学習の充実

- ① 生活科や総合的な学習の時間を要とした教科等横断的、探究的な学習活動の充実を図る。
- ② 一単位時間の弾力的な運用や柔軟な指導体制のもと、地域資源を生かした学習の充実を図る。

(3) 幼・小・中・高の円滑な接続・連携

- ① 幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の系統性を踏まえ、幼・小・中を見通した学習内容や方法等を把握するとともに、園、学校種間での保育・授業参観交流、情報交換等を推進する。

- ② 小学校入学時においては、学校生活、学習活動へのスムーズな適応が図られるよう、スタートカリキュラムを創意工夫する。

(4) 外国語教育の充実

- ① 豊かな語学力・コミュニケーション能力を育成する外国語教育（英語）の充実を図る。
- ② フォニックスやA L T-D A Y等の活動を推進するとともに、英語検定等の機会を活用し、英語を身近に感じることができる環境を構築する。

(5) 家庭教育の充実

- ① 学年や個々の実態を考慮し、授業と関連させた質・量の充実した家庭学習への取り組みを推進する。

2 豊かな心の育成

(1) 道徳教育の充実

- ① 道徳科における多様な指導方法や学習形態の工夫・改善を図るとともに、「考える道徳」、「議論する道徳」を目指した授業を構築する。
- ② 「郷土愛」、「思いやり」の内容項目の育成に努める。（市重点内容項目）
- ③ 「ふくしま道徳教育資料集」や「二宮金次郎・富田高慶からの贈りもの」（市発行）を道徳の授業をはじめとする学校の道徳教育や家庭教育において活用するよう努める。

(2) 生徒指導の充実

- ① 学校いじめ防止基本方針をもとに、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けた組織的な対応ができる指導体制を確立する。
- ② 不登校児童生徒の気持ちに寄り添い、個別支援や家庭との連携に努めるとともに、新たな不登校児童生徒を生じさせない指導体制、環境づくりに努める。
- ③ 個の特性やニーズに対応できる教育相談体制づくりや教職員間の連携に努めるとともに、S C、S S W等につなぎ、子に応じた適切な支援にあたる。

(3) キャリア教育の充実

- ① 児童生徒一人一人の発達段階や特性に応じた適切な指導を行い、将来の生き方やビジョンを考え行動する能力や、学びに向かう力や態度を育成する指導の充実に努める。

3 健やかな体の育成

(1) 体育・健康教育の充実

- ① 体育科の学習の充実に努め、体力・運動能力を向上させるとともに、体育への意欲や運動に親しむ習慣、健康に関する知識を身に付ける。
- ② 個々の健康面の課題を的確に把握し、生活習慣病（肥満、う歯等）の予防に努める。
- ③ 食に関する指導体制を確立させるとともに、実態に応じた食に関する指導の充実を図る。

- ④ 養護教諭との連携や外部講師の活用により、健康や性に関する正しい知識を身に付ける。

(2) 保健・安全・給食指導の充実

- ① 新型コロナウイルス感染症等、感染症の予防について実態に応じた指導を行う。
- ② 暑さ指数（WBGT）指標を参考とし、天候の変化や体調に留意しつつ熱中症の予防に努める。
- ③ 地震・津波・風水害等の被害状況を想定し、地域や関係機関との連携を図りながら防災意識を高め、児童生徒の生命や安全を確実に守る。
- ④ 危険等発生時対処要領（緊急時対応マニュアル）の見直し・改善に努め、学校事故の絶無を期す。
- ⑤ 校舎内外の安全点検や通学路点検を実施し、学校事故の未然防止に万全を期す。
- ⑥ 食物アレルギー対象児における対応を明確にし、緊急時には全職員が対応できるようにする。

(3) 放射線教育の充実

- ① 児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な指導を行うとともに、放射線や被ばくに関する正しい知識に基づいた合理的な判断ができるようにする。

4 特別支援教育の充実

(1) 個に応じた特別支援教育

- ① 一人一人の特性やニーズ、保護者の願いに応じた指導・支援、環境の構築に努める。
- ② 個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用を図り、組織的・継続的な指導・支援を行う。

(2) 支援体制の整備

- ① 地域における医療、福祉、保健、教育等の関係機関が連携した支援に努める。
- ② 相談支援ファイル「かけはし」の活用を図り、一貫した支援に努める。

5 開かれた学校づくりの推進

(1) 学校評価の充実

- ① 学校の経営方針や教育活動について家庭や地域に広く発信するとともに、学校評議員等の一層の活用を努め、保護者や地域住民等の意見を学校経営に反映するように努める。

(3) 家庭や地域社会との連携

- ① 学校だよりの配付やホームページの閲覧を通して、学校情報の積極的な発信に努める。
- ② 学校と地域が連携・協働して資質・能力を育成する、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

Ⅲ 教育財政

1 令和7年度当初予算

(1) 一般会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	市税	9,900,971	18.1%	1	議会費	248,155	0.5%
2	地方譲与税	392,368	0.7%	2	総務費	6,190,560	11.4%
3	利子割交付金	5,000	0.0%	3	民生費	11,166,817	20.5%
4	配当割交付金	23,000	0.0%	4	衛生費	4,326,094	7.9%
5	株式等譲渡所得割交付金	12,000	0.0%	5	労働費	92,658	0.2%
6	法人事業税交付金	145,000	0.3%	6	農林水産業費	14,375,055	26.3%
7	地方消費税交付金	1,523,000	2.8%	7	商工費	5,530,639	10.1%
8	ゴルフ場利用税交付金	6,000	0.0%	8	土木費	3,351,894	6.1%
9	自動車取得税交付金	1	0.0%	9	消防費	1,568,996	2.9%
10	環境性能割交付金	32,000	0.1%	10	教育費	4,878,365	8.9%
11	地方特例交付金	33,000	0.1%	11	災害復旧費	12,045	0.0%
12	地方交付税	13,802,989	25.3%	12	公債費	2,756,828	5.1%
13	交通安全対策特別交付金	7,000	0.0%	13	予備費	80,000	0.1%
14	分担金及び負担金	198,271	0.4%				
15	使用料及び手数料	375,214	0.7%				
16	国庫支出金	5,624,101	10.3%				
17	県支出金	10,435,447	19.1%				
18	財産収入	166,835	0.3%				
19	寄附金	209,004	0.4%				
20	繰入金	8,101,402	14.8%				
21	繰越金	600,000	1.1%				
22	諸収入	1,290,303	2.4%				
23	市債	1,695,200	3.1%				
合 計		54,578,106	100.0	合 計		54,578,106	100.0

(2) 育英資金貸付特別会計

歳 入				歳 出			
科目		予算額 (千円)	構成比 (%)	科目		予算額 (千円)	構成比 (%)
1	貸付金回収金	25,441	50.7%	1	総務費	1,555	3.1%
2	使用料及び手数料	1	0.0%	2	貸付金	45,816	91.2%
3	財産収入	134	0.3%	3	基金積立金	134	0.3%
4	繰入金	24,632	49.0%	4	諸支出金	2,706	5.4%
5	繰越金	1	0.0%				
6	諸収入	2	0.0%				
合 計		50,211	100.0	合 計		50,211	100.0

2 令和7年度教育費等予算

【歳出内訳】（単位：千円）

教育費

科目	予算額	前年度	比較
教育総務費	978,646	939,280	39,366
小学校費	421,459	443,729	△22,270
中学校費	309,050	300,496	8,554
幼稚園費	321,966	505,355	△183,389
社会教育費	1,520,057	1,492,454	27,603
保健体育費	1,113,140	1,124,061	△10,921
東日本大震災教育対策費	17,904	78,376	△60,472
原子力災害教育対策費	196,143	182,431	13,712
合 計	4,878,365	5,066,182	△187,817

民生費（児童福祉費抜粋）

科目	予算額	前年度	比較
児童福祉費	3,909,611	3,983,500	△73,889

【財源内訳】（単位：千円）

教育費		民生費（児童福祉費抜粋）	
	国県支出金 345,301		国県支出金 2,348,803
特定財源	-----		-----
	地方債 133,700	特定財源	地方債 18,400
	-----		-----
	その他 835,576		その他 175,319
一般財源	3,563,788	一般財源	1,367,089
合計	4,878,365	合計	3,909,611

IV 学校教育

1 学校一覧

(1) 小学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一小学校	原町区東町二丁目 66	22-5166	鈴木 和 一 郎	今 野 真 幸
原町第二小学校	原町区橋本町一丁目 101	22-4114	横 山 雄 彦	高 野 道 子
原町第三小学校	原町区上町一丁目 13	22-4141	烏 中 雪 野	門 馬 貞
高 平 小学校	原町区下北高平字古舘 22	22-3420	渡 邊 大 輔	遠 藤 正 隆
大 甕 小学校	原町区大甕字鶴蒔 8	22-3881	石 川 貴 義	星 野 尊 乗
太 田 小学校	原町区益田字塩釜 236	22-3822	青 田 雅 子	渡 辺 康 嗣
石神第一小学校	原町区北長野字北原田 288	22-2829	新 野 賢 一 郎	鈴 木 聡
石神第二小学校	原町区大木戸字西原 1	22-2724	山 田 耕 人	増 田 康 弘
原 町 区				8 校
鹿 島 小学校	鹿島区鹿島字広町 13	46-2240	高 野 伸 一 郎	稲 葉 綾
上 真 野小学校	鹿島区浮田字一丁田 81	47-2226	山 田 徹	菅 野 敏 樹
鹿 島 区				2 校
小 高 小学校	小高区関場一丁目 77-1	44-2022	林 典 行	紺 野 成
小 高 区				1 校
合 計				1 1 校

(令和7年5月1日現在)

区分	学 年 別 児 童 数・学 級 数								教 職 員 数 (本 務 者)								市 職 員	計
	1	2	3	4	5	6	特別支援 学 級	計	校長	教頭	教諭	養護	講師	栄養	事務	給食		
児童	50	47	48	56	52	43	36	332	1	1	24	1	2	1	1	6	37	
学級	2	2	2	2	2	2	5	17										
児童	29	25	37	22	32	30	26	201	1	1	13	1	2	1	1	3	23	
学級	1	1	2	1	1	1	6	13										
児童	59	72	60	80	64	64	15	414	1	1	24	1	3	1	1	6	38	
学級	2	3	2	3	2	2	4	18										
児童	16	10	15	17	23	18	8	107	1	1	10	1	1	0	1	3	18	
学級	1	1	1	1	1	1	2	8										
児童	16	17	19	18	12	22	6	110	1	1	10	1	2	0	1	0	16	
学級	1	1	1	1	1	1	2	8										
児童	4	2	4	11	8	7	0	36	1	1	4	1	1	0	1	0	9	
学級	1		1		1		0	3										
児童	12	11	10	14	10	11	4	72	1	1	8	1	0	0	1	0	12	
学級	1	1	1	1	1	1	1	7										
児童	51	46	6	54	53	53	31	355	1	1	21	1	3	1	1	0	29	
学級	2	2	3	2	2	2	5	18										
児童	237	230	260	272	254	248	126	1627	8	8	114	8	14	4	8	18	182	
学級	11	11	13	11	11	10	25	92										
児童	31	40	66	52	53	64	31	337	1	1	23	1	2	0	1	0	29	
学級	1	2	2	2	2	2	6	17										
児童	10	12	8	16	11	5	0	62	1	1	6	1	0	0	1	0	10	
学級	1	1	1	1	1		0	5										
児童	41	52	74	68	64	69	31	399	2	2	29	2	2	0	2	0	39	
学級	2	3	3	3	3	2	6	22										
児童	18	18	22	12	15	8	5	98	1	1	11	1	0	1	1	0	16	
学級	1	1	1	1	1	1	2	8										
児童	18	18	22	12	15	8	5	98	1	1	11	1	0	1	1	0	16	
学級	1	1	1	1	1	1	2	8										
児童	296	300	356	352	333	325	162	2124	11	11	154	11	16	5	11	18	237	
学級	14	15	17	15	15	13	33	122										

(2) 中学校

学校名	所在地	電話	校長氏名	教頭氏名
原町第一中学校	原町区南町三丁目 23	22-4144	矢 内 信 男	堀 内 浩 明
原町第二中学校	原町区桜井町一丁目 152	22-4188	佐 藤 公 一	高 木 忠 明
原町第三中学校	原町区下太田字川内前 12-2	22-3802	鈴 木 一 憲	清 信 元 博
石 神 中学校	原町区石神字北畑 47-1	22-3373	小 林 正 和	福 尾 淳
原 町 区				4 校
鹿 島 中学校	鹿島区寺内字落合 28	46-2019	塙 広 治	星 由 紀 枝
小 高 中学校	小高区吉名字中坪 1	44-2023	小 林 喜 徳	滝 澤 英 雄
合 計				6 校

(令和7年5月1日現在)

区分	学 年 別 生 徒 数・学 級 数					教 職 員 数 (本 務 者)								市 職 員	計
	1	2	3	特 別 支 援 学 級	計	校 長	教 頭	教 諭	養 護	講 師	栄 養	事 務	給 食		
生徒	86	122	88	17	313	1	1	25	1	2	1	1	0	32	
学級	3	4	3	3	13										
生徒	51	50	57	9	167	1	1	20	1	0	0	1	0	24	
学級	2	2	2	2	8										
生徒	15	26	21	0	62	1	1	7	1	0	0	1	0	11	
学級	1	1	1	0	3										
生徒	54	49	52	7	162	1	1	14	1	1	0	1	0	19	
学級	2	2	2	1	7										
生徒	206	247	218	33	704	4	4	66	4	3	1	4	0	86	
学級	8	9	8	6	31										
生徒	54	77	87	6	224	1	1	15	1	4	1	1	0	24	
学級	2	3	3	2	10										
生徒	8	10	9	2	29	1	1	8	1	1	0	1	0	13	
学級	1	1	1	1	4										
生徒	268	334	314	41	957	6	6	89	6	8	2	6	0	123	
学級	11	13	12	9	45										

2 児童・生徒数

(1) 校種別

(令和7年5月1日現在)

区 分	小 学 校	中 学 校
校 数	1 1	6

(2) 学年別児童生徒数

区 分	学 年	児童・生徒数
小 学 校	1 学年	315 (19)
	2 学年	300 (25)
	3 学年	387 (31)
	4 学年	381 (29)
	5 学年	364 (31)
	6 学年	352 (27)
	計	2, 124 (162)
中 学 校	1 学年	292 (24)
	2 学年	341 (7)
	3 学年	324 (10)
	計	957 (41)

※ () の数字は特別支援学級の児童生徒数 (内数)

(3) 就学・転入学

令和7年度小中学校入学状況

区 分	入学該当者 総 数	入学者数	就学義務 猶予者数	就学義務 免除者数	特別支援学校等 入 学 者 数
小 学 校	315人	310人	—	—	5人
中 学 校	292人	291人	—	—	1人

令和6年度転入出・市内転校状況 (*転入出通知書送付件数)

区 分	小 学 校	中 学 校	計
転 入	19 件	7 件	26 件
転 出	29 件	6 件	35 件
市 内 転 校	5 件	0 件	5 件
計	53 件	13 件	66 件

(4) 中学校卒業生の進学就職状況

令和6年度

学校名	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
原町一中	66	61	127	65	60	125	0	0	0	1	1	2	98.4
原町二中	36	38	74	36	38	74	0	0	0	0	0	0	100.0
原町三中	7	11	18	7	11	18	0	0	0	0	0	0	100.0
石 神 中	22	29	51	20	27	47	0	0	0	2	2	4	92.2
鹿 島 中	37	43	80	37	43	80	0	0	0	0	0	0	100.0
小 高 中	4	9	13	4	9	13	0	0	0	0	0	0	100.0
計	172	191	363	169	188	357	0	0	0	3	3	6	98.3

年 度 別

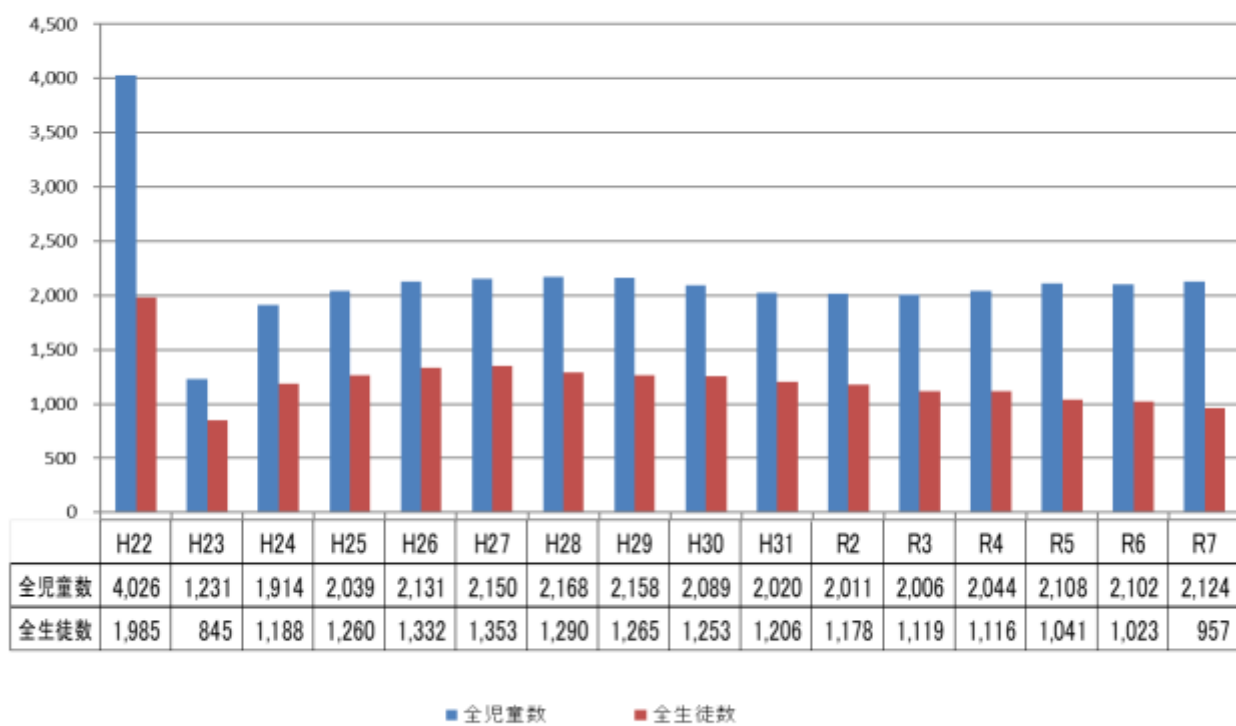
年度	卒業生			進学者			就職者			その他			進学率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
H23	234	218	452	229	218	447	0	0	0	5	0	5	98.9
24	221	225	446	216	223	439	3	2	5	2	0	2	98.4
25	192	193	385	187	191	378	4	1	5	1	1	2	98.1
26	234	198	432	229	198	427	1	0	1	4	0	4	98.8
27	249	241	490	245	239	484	1	2	3	3	0	3	98.8
28	227	204	431	226	203	429	0	0	0	1	1	2	99.5
29	215	228	443	214	226	440	0	0	0	1	2	3	99.3
30	217	201	418	214	199	413	0	2	2	3	0	0	98.8
R1	195	217	412	194	214	408	0	0	0	1	3	4	99.0
2	230	197	427	227	196	423	0	0	0	3	1	4	99.1
3	189	180	369	187	176	363	0	0	0	2	4	6	98.4
4	191	201	392	190	196	386	0	0	0	1	5	6	98.5
5	207	157	364	200	154	354	1	0	1	6	3	9	97.2
6	172	191	363	169	188	357	0	0	0	3	3	6	98.3

(5) 児童・生徒数の推移

学校名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28
原 町 第 一 小 学 校	598	158	304	358	389	399	411
原 町 第 二 小 学 校	331	81	162	163	177	175	183
原 町 第 三 小 学 校	538	167	220	252	278	282	323
高 平 小 学 校	193	54	112	112	112	113	120
大 甕 小 学 校	204	52	89	100	107	118	115
太 田 小 学 校	133	24	59	60	53	50	51
石 神 第 一 小 学 校	187	70	83	88	83	73	69
石 神 第 二 小 学 校	486	184	204	220	248	260	275
鹿 島 小 学 校	317	195	264	268	329	337	327
真 野 小 学 校	75	35	47	43			
八 沢 小 学 校	120	72	87	83	88	93	84
上 真 野 小 学 校	141	98	111	111	113	116	116
小 高 小 学 校	392	25	95	97	81	70	51
福 浦 小 学 校	105	16	33	30	31	31	18
金 房 小 学 校	143	11	29	34	32	25	17
鳩 原 小 学 校	65	10	21	18	11	8	6
計	4,028	1,252	1,920	2,037	2,132	2,150	2,166
原 町 第 一 中 学 校	506	197	308	316	331	329	313
原 町 第 二 中 学 校	318	119	193	225	259	275	248
原 町 第 三 中 学 校	163	60	93	93	100	104	93
石 神 中 学 校	319	162	197	233	228	252	238
鹿 島 中 学 校	297	240	297	303	310	293	309
小 高 中 学 校	382	41	101	91	103	101	89
計	1,985	819	1,189	1,261	1,331	1,354	1,290

(各年5月1日現在 単位：人)

29	30	R1	2	3	4	5	6	7
400	394	376	356	354	348	345	333	332
168	167	180	176	175	178	197	199	201
330	330	321	337	360	381	398	402	414
121	112	107	95	106	107	110	106	107
123	117	101	102	97	102	102	102	110
43	49	49	46	45	51	46	39	36
63	57	57	59	64	67	64	68	72
292	270	271	283	283	299	338	352	355
368	349	341	347	324	320	322	352	337
78	80	71	72	70	66	52		
110	96	88	74	66	64	58	62	62
47	50	42	46	61	62	78	87	98
8	11	9	7					
4	2	4	4					
3	6	4	7					
2, 158	2, 090	2, 021	2, 011	2, 005	2, 045	2, 110	2, 102	2, 124
342	349	361	357	341	357	322	341	313
238	232	228	222	198	201	183	188	167
82	79	84	78	81	64	64	63	62
252	224	202	183	174	173	166	152	162
286	310	278	289	276	273	267	245	224
66	60	53	49	49	48	43	34	29
1, 266	1, 254	1, 206	1, 178	1, 119	1, 116	1, 045	1, 023	957



3 教育指導

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○学校教育の充実・向上を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図るとともに学習指導のあり方について指導・助言を行う。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察・聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○授業改善をねらいとした授業研究会を実施することにより、児童生徒の基礎的・基本的な内容の一層の定着と活用力の育成を図る。 ○全職員が自校の課題について共通理解を図り、共同歩調で授業実践・授業改善に取り組もうとする意識の一層の醸成を図る。	◇学校訪問 太田小 小高小・おだか認定こども園 高平小・高平幼稚園・石神二小 原町三中 石神中 ◇教育課程実施状況調査訪問（全学級訪問・管理訪問） 原町三小 上真野小 原町一小 鹿島中 原町二中
学校適応指導支援事業	○不登校状態にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	◇学校教育支援センター 登室を通して児童生徒の不登校状態の改善に向けて助言や支援を行う。 やすらぎ広場（原町区） さくら教室（鹿島区） 紅梅教室（小高区） ◇心のケア相談会 不登校や学校生活の悩みや心配事に対し、専門家（臨床心理士）による相談を行う。 年10回（第3木曜日）開催 ◇来所相談・電話相談 学校・家庭生活などの悩みや心配事について助言を行う。 小中学生及び保護者対象 ◇巡回相談 不登校状態にある児童生徒についての改善に向けて指導・助言を行う。 ◇教育指導員による学校訪問
教育支援アドバイザー配置事業	○児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	◇学校巡回相談 教育支援アドバイザーが、計画的に小・中学校を訪問し、就学指導等について指導・助言を行う。 年間80日（2名体制） ◇定期学校訪問 教育支援アドバイザーが、学校訪問し、特別支援教育について指導、助言を行う。 年間6校程度

事業名	事業目的	事業内容
南相馬市教育支援委員会	○教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の教育的支援及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・就学时健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	◇第1回委員会 8月20日(水) 在学児童生徒の諮問 ◇第2回委員会 10月29日(水) 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ◇第3回委員会 11月26日(水) 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	○公立学校の学習指導の改善及び学校教育の振興に必要な諸問題の研究を推進する。	◇公立学校に関する各種の研究調査に關すること。 ◇市教育委員会の学校教育努力目標原案に關すること。 ◇公立学校の教育活動についての指導助言に關すること。 ◇市内公開モデル授業の実践に關すること。 ◇その他の指導に關すること。
教育先進地視察研修及び学力向上推進視察研修	○教育先進地（横手市）における研修や学習指導研究の先進地をモデルとして、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方についての研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	◇教育先進地（横手市）への視察研修並びに教育先進地をモデルとした研修会の実施 ◇各校の計画による学力向上推進視察研修
学校教育支援センター	○教育に関する相談、不登校児童生徒等の支援、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	◇教育相談に關すること ◇不登校児童生徒等の支援に關すること ◇教育関係職員の研修に關すること ◇教育に關する調査・研究に關すること ◇その他目的を達成するために必要と認められる事業 ・場 所 学校教育支援センター ・開設日 月～金曜日 8時30分から16時00分まで
学習塾と連携した学力強化推進事業	○学習塾講師による中学校2・3年生希望者を対象にした数学チャレンジ学習講座を実施し、他校生徒と切磋琢磨する楽しさや学習に対する意識を高める。 ○市内全ての中学校において3年生を対象に学習塾講師による進学講演会を実施し、効率的な学習の仕方や意欲を高める。 ○学習塾講師による保護者対象の学習や進学に対する講演会を実施し、保護者の学習に対する意識を高める。 ○学習塾講師による中学生希望者を対象にした英語力アップ学習講座を実施し、英検取得に向けた対策や英語の表現力の向上を図る。	◇数学チャレンジ学習講座 ・期 間 8月20日～21日 1月6日～7日 ・対 象 中学2・3年生希望者 ・内 容 塾講師による対面方式 ◇中学3年生の進学講演会 ・期 間 9月2日～12日 ・対 象 市内全ての中学3年生 ・内 容 塾講師による対面方式 ◇保護者対象セミナー ・期 間 8月2日 ・対 象 市内全中学校の保護者 ・内 容 塾講師による講話 ◇英語力アップ学習講座 ・期 間 7月30日～31日 10月1日～2日 ・対象者 中学1～3年生希望者 ・内 容 塾講師による対面方式
高等教育機関連携事業	○高等教育機関と連携した専門的かつ先進的な授業を子どもたちに体験させ、キャリア形成と学習意欲の向上を図る。	◇高等教育機関連携 新潟大学教員による授業実施

事業名	事業目的	事業内容
中学生海外研修事業	○中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	◇海外研修の実施 ・研修先 ①オーストラリア ②シンガポール ・対象 ①中学2年生 20名 ②中学2年生 25名 ・実施日 ①7月31日～6日 ②3月24日～28日
外国語教育推進事業	○児童生徒の国際理解教育の推進を図るとともに、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うため、習熟度に応じた継続的な英語教育を展開する。	◇外国語教育 ・東京グローバルゲートウェイ研修の実施 ：市内中学校の実施希望校3年生 ・フォニックス学習の実施 ：市内小学校、おだか認定こども園 ・多読用英語図書の整備 ：市内小学校 ・えいご発音あそびの実施 ：市内公立幼稚園、保育園 ◇外部検定受験の支援 ・英検受検支援：市内中学生の希望者 ・英検Jr受験支援：小高小5～6年生 ◇教員研修の実施 ・ブリティッシュ・ヒルズ教員研修 ：小学校教員3名 ◇外国語指導助手（ALT）の配置 ・市内小中学校へ12名配置 ◇外国人との交流 ・ALT DAY：市内中学校で実施 ◇外国語教育推進アドバイザー事業 ・アドバイザー派遣 1名
国際バカロレア教育推進事業	○グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質の向上を図るため、国際バカロレア教育の導入を推進する。	◇PYP(小学校)導入に向けた取組の実施 ・候補校申請 ・ワークショップ参加、先進地視察 ・カリキュラム作成・試行授業実施 ・保護者向けセミナーの実施 ◇MYP(中学校)導入可能性の研究 ・先進地視察等研究活動の実施
学力向上教員配置事業	○指導環境を充実させることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上を図るため、市で独自採用した学力向上教員を配置する。	◇小学校への教員配置 ・科目 算数 ・採用予定人数 4名 ◇中学校への教員配置 ・科目 数学 ・採用予定人数 1名
プログラミング教育推進事業	○児童生徒の学習意欲の向上と論理的思考力の育成を図るため、ロボットを活用したプログラミング授業及び高等教育機関等と連携したプログラミング出前講座を実施する。 ○コンピュータやネットワークの仕組みと生成AI等、児童生徒の発達段階に応じた教育の在り方を、プログラミング教育検討会において検討する。	◇プログラミング教育の実施 ・全小学校でのあるくメカトロウィーゴを活用した授業実施 ・全中学校での高等教育機関による出前講座の実施 ・プログラミング教育検討会における使用教材の選定、事業案の検討
公立学校適正化推進事業	○教育機会の均衡と教育水準の維持向上を図るため、小中学校の規模や配置の適正化を推進するとともに、小中学校の適正化に合わせ、小中一貫校や小規模特認校の制度研究を含め、特色と魅力ある学校づくりを目指す。	◇各地区における適正化の取組み ・上真野地区、鹿島地区 地区懇談会 学校適正化検討協議会 学校間交流事業 ・太田大甕地区 地区懇談会 学校適正化検討協議会

事業名	事業目的	事業内容
		学校統合準備協議会 学校間交流事業

(2) 令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
学校訪問	○学校教育の充実向上を図る。 ○学校が抱えている学校運営上の諸問題及び教育環境、教材教具、施設設備の整備状況等の視察、聴取を行い、学校運営の質的向上に努める。 ○教職員との研究協議や懇談により、児童生徒の望ましい成長を図る上での学校生活や家庭生活における問題点を把握し、指導・助言を通して児童生徒の健全な育成を図る。 ○各学校（園）の教育課程の実施状況を図る。	◇学校訪問 原町一小、原町三小 上真野小、原町二中、鹿島中 ◇教育課程実施状況調査訪問（全学級訪問・管理訪問） 原町二小、大甕小、石神一小 鹿島小、原町一中、小高中 ◇授業スタイル研修会 高平小、太田小、石神二小、小高小 原町三中、石神中
学校不適応対策事業	○不登校又は不登校傾向にある児童生徒に生活指導及び学習指導等を行い、生活リズムを改善するとともに自立心や社会性を養い、学校生活に復帰できるように支援する。	◇適応指導教室 登室者23名 (学校復帰6名) (中学3年の進路 県立高校2名 私立通信制高校1名) ◇臨床心理士による心のケア相談会 年間 10回開催 相談件数 延べ26件 ◇来所相談・電話相談 来所相談 59名 電話相談 69名 訪問相談 11名
スクールカウンセラー（就学指導アドバイザー）配置事業	○児童生徒の問題行動等に対応するため、特別支援教育に関して専門的な知識、経験、技能を有する者を委嘱し、児童生徒、教職員及び保護者に対し、指導・助言を行う。	◇学校巡回相談 就学指導アドバイザーが、80日間で小中学校延べ64校、保育園・幼稚園15園を訪問し、就学指導等について指導・助言を行った。 ◇定期学校訪問 就学指導アドバイザーが、6校（小学校4校、中学校2校）を訪問し、特別支援教育について指導・助言を行った。
南相馬市教育支援委員会	○教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる者の教育的支援及び教育相談に関する事項について調査審議する。 ・就学時健康診断の結果、心身に障がいがあると認められた就学予定者 ・在籍している児童生徒のうち、特別支援学校又は特別支援学級で教育を受けることが必要であると認めた者 ・就学義務猶予又免除を願い出た者及び現に措置を受けている者	◇ 8月21日（水）第1回委員会 在学児童生徒の諮問 ◇ 10月30日（水）第2回委員会 新入学児童の諮問 在学児童生徒の追加諮問 在学児童生徒についての審議 ◇ 11月27日（水）第3回委員会 新入学児童についての審議 追加在学児童生徒についての審議
学校教育指導委員会	○基礎・基本の定着と活用力の向上を図るための実践的で効果のあがる学習指導改善の方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら授業実践を進めていく。	◇ 5月16日（火）第一回指導委員会 委員会の目的・日程・内容等確認 ◇ 2月1日（木）第二回指導委員会 校内の授業改善の状況、次年度の授業改善プラン（案）についての協議
教育先進地視察研修及び学力向上推進視察研修	○教育先進地（由利本荘市）における研修や学習指導研究の先進地をモデルとして、教育課題への対応及び学力向上に向けた指導のあり方についての研修を深め、資質の向上を図るとともに各学校の教育活動の充実に資する。	◇教育先進地（由利本荘市）視察研修 ・視察研修 10名参加 ◇各校の計画による学力向上推進視察研修 ・視察研修 23名参加 ・オンライン研修 2名参加

事業名	事業目的	事業内容
学校教育支援センター	○教育に関する相談、学校適応指導、教育関係職員の研修及び教育に関する調査研究等の支援を行い、学校教育の充実と振興に資する。	◇就学指導担当者等研修会 2回 ◇授業づくり研修会 1回 ◇学習支援員・介助員研修会 2回 ◇特別支援教育研修会 1回 ◇放射線教育研修会 1回 ◇小学校外国語教育研修会 2回 ◇教頭研修会 1回 ◇養護教諭研修会 1回 ◇生徒指導研修会 1回 ◇常勤講師研修会 3回 ◇小学校理科観察・実験講座 1回 ◇普通Ⅰ救命講習会 5回 ◇学校教育支援センター運営委員会 2回 ◇広報「はぐくみ」の発行 年3回 (6月、11月、2月に発行) ◇教育相談、適応指導教室については、学校不適応対策事業で報告
学習塾と連携した学力強化推進事業	○学習塾講師による中学校3年生を対象とした夏季集中講座及び中学校2年生を対象とした集中講座を長期休業前に実施し、生徒の学力向上を図る。 ○標準化された中間テストを市内中学校共通テストとして導入し、教員及び学習塾講師の指導、支援に生かすとともに、生徒が知識の汎用性、活用力を高める。	◇中学3年生の夏季学習講座(国・数・英) 7月～10月 塾講師によるオンデマンド講義の実施 ◇中学2年生の冬季学習講座(国・数・英) 11月～12月 平日1時間 計3回 ◇中学2年生の春季学習講座(国・数・英) 1月～2月 平日1時間 計3回 ◇市内中学校で同一日に南相馬市中間テストを実施 第1回 10月実施
公立学校適正化推進事業	○教育機会の均衡と教育水準の維持向上を図るため、小中学校の規模や配置の適正化を推進するとともに、小中学校の適正化に合わせ、小中一貫校や小規模特認校の制度研究を含め、特色と魅力ある学校づくりを目指す。	◇各地区における懇談会等の開催 ・鹿島区(八沢小・鹿島小) 統合準備協議会 6回 個別検討部会 5回 PTA部会 1回 教職員部会 随時実施 ◇高等教育機関連携事業 ・新潟大学教員による授業実施 6回実施 大甕小、太田小、石一小、原三中、小高中 鹿島小・八沢小・上真野小(3校合同) ・新潟大学生との交流活動実施 小高小にて実施
中学生海外研修事業	○中学生の海外研修を通して、「広い視野をもった生徒の育成」「学びの意欲のきっかけづくり」を図るとともに、英語を通じたコミュニケーション力を培い、学習意欲はもとより、思考力・判断力・表現力の向上を目指し、未来を担う人材を育成する。	◇海外研の実施 ・研修先 ①オーストラリア ②シンガポール ・対象 ①中学2年生 21名 ②中学2年生 23名 ・実施日 ①8月1日～7日 ②3月22日～26日
外国語教育推進事業	○児童生徒の国際理解教育の推進を図るとともに、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うため、習熟度に応じた継続的な英語教育を展開する。	◇外国語教育 ・東京グローバルウェイ研修の実施 ：小高中3年生 12名 ・フォニックス学習の実施 ：市内小学校、おだか認定こども園 ・多読用英語図書の整備 ：市内小学校 ・えいご発音あそびの実施 ：市内公立幼稚園、保育園 ◇外部検定受験の支援 ・英検受験支援：市内中学生の希望者

事業名	事業目的	事業内容
		受験者数 693 名 ・英検 Jr 受験支援：小高小 5 ～ 6 年生 受験者数 10 名 ◇教員研修の実施 ・「リフレッシュ・ヒルズ」教員研修 ：小学校教員 4 名 ◇外国語指導助手（ALT）の配置 ・市内小中学校へ 12 名配置 ◇外国人との交流 ・ALT DAY：市内中学校で実施 ◇外国語教育推進アドバイザー事業 ・アドバイザー派遣 1 名
国際バカロレア教育研究事業	○グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質の向上を図るため、国際バカロレア教育導入を視野に入れた研究を行う。	◇国際バカロレア教育の研究活動 ・先進地視察（6 箇所） ・ワークショップへの参加（4 名） ◇国際バカロレア導入指針の策定
学力向上教員配置事業	○指導環境を充実させることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上を図るため、市で独自に採用した学力向上教員を配置する。	◇小学校への教員配置 ・科目 算数 ・配置人数 3 名（原一小、原三小、鹿島小） ◇中学校への教員配置 ・科目 数学 ・配置人数 1 名（石神中）
プログラミング教育推進事業	○児童生徒の学習意欲の向上と論理的思考力の育成を図るため、ロボットを活用したプログラミング授業及び高等教育機関等と連携したプログラミング出前講座を実施する。 ○児童生徒の発達段階に応じた体系的なプログラミング教育を推進するため、プログラミング教育推進検討委員会を設置し、学習指導案の策定等を行う。	◇プログラミング教育の実施 ・全小学校へのあるくメカトロウィーゴ配置 60 台 ・あるくメカトロウィーゴを活用した授業の実施 158 回 ・全中学校での高等教育機関による出前講座の実施 6 校 ・プログラミング教育検討会の開催 5 回

(3) 南相馬市の特別支援教育の現状

特別支援学級に在籍する児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

学 校	小 学 校							中 学 校				合計
学 年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
児童生徒数	19	25	31	29	31	27	162	24	7	10	41	203

障がい別特別支援学級及び児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

区分	設置校数	学級数	児童生徒数	設置校名 (人数)
知的障がい学級	12	20	107	原一小(14)・原二小(14)・原三小(9) 高平小(4)・大甕小(3)・石一小(4) 石二小(18)・鹿島小(17)・小高小(3) 原一中(10)・原二中(6)・鹿島中(5)
自閉症・情緒 障がい学級	13	18	91	原一小(22)・原二小(9)・原三小(5) 高平小(4)・大甕小(3)・石二小(13) 鹿島小(13)・小高小(2) 原一中(7)・原二中(3)・石神中(7) 鹿島中(1)・小高中(2)
肢体不自由学級	2	2	2	原三小(1)・鹿島小(1)
病弱・身体虚弱学級	1	1	2	原二小(2)
難聴学級	1	1	1	原二小(1)
計	—	42	203	

障がい別通級指導実施校及び児童生徒数

(令和7年5月1日現在)

区 分	実施校数	児童・生徒数			実施校名 (指導教員数)
		自校	市内他校	市外	
言語	1	43	32	1	原町一小(3)
情緒	2	23	8	0	原町三小(2)
		6	15	0	石神中(1)
ADHD	2	36	4	0	石神二小(2)
		36	3	0	鹿島小(2)

4 就学奨励

(1) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助

経済的な理由で就学困難な児童生徒に対し、就学援助の目的をもって学用品等を支給する。

(令和7年度当初予算)(単位:円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人 員	給付額	1人年額	人 員	給付額
通 学 用 品 費	2,270	223	506,210	2,270	104	236,080
学用品費(その他)	11,630	263	3,058,690	22,730	150	3,409,500
修 学 旅 行 費	22,690	1	22,690	60,910	52	3,167,320
新 入 学 学 用 品 費 (入学前支給を含む)	57,060	40	2,282,400	63,000	45	2,835,000
通 学 費	37,230	3	111,690	140,603	1	140,603
給 食 費	62,905.2	263	16,544,067	67,573.8	99	6,689,806
				64,839.6	51	3,306,819
医 療 費	—	—	—	—	—	—
校外活動費(宿泊なし)	768	218	167,424	739.2	99	73,180
校外活動費(宿泊あり)	1,365.3	45	61,438	6,210	1	6,210
体 育 実 技 用 具 費	—	—	—	7,650	46	351,900
ク ラ ブ 活 動 費	966	13	12,558	8,140.5	50	407,025
児 童 会 ・ 生 徒 会 費	2,325	131	304,575	1,942.5	150	291,375
P T A 会 費	3,001.5	263	789,394	2,641.2	150	396,180
卒 業 ア ル ハ ム 代	11,000	43	473,000	10,000	51	510,000
オンライン学習通信費	7,500	263	1,972,500	7,500	150	1,125,000
計 (実人員)		263	26,306,636		150	22,945,998

※給付額は小数点以下切り捨て

(2) 特別支援教育修学奨励

特別支援学級への就学の特殊事情にかんがみ、その就学にかかる保護者の経済的負担を軽減する。

(令和7年度当初予算)(単位:円、人)

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人員	給付額	1人年額	人員	給付額
学 用 品 費	5,820	81	471,420	11,370	21	238,770
修 学 旅 行 費	—	—	—	21,927.6	5	109,638
新 入 学 学 用 品 費	28,530	2	57,060	31,500	12	378,000
通 学 費	37,230	1	37,230	140,603	2	281,206
給 食 費	30,776.2	81	2,492,872	33,423.6	16	534,777

区 分 名 称	小 学 校			中 学 校		
	1人年額	人員	給付額	1人年額	人員	給付額
				32,071.2	5	160,356
校外活動費（宿泊なし）	376	63	23,688	693	17	11,781
校外活動費（宿泊あり）	479.7	18	8,634	—	—	—
オンライン学習通信費	3,500	81	283,500	3,500	21	73,500
計（実人員）		81	3,374,404		21	1,788,028

※給付額は小数点以下切り捨て

（３）遠距離通学費補助

通常の経路による通学距離が小学校にあっては片道４km以上、中学校にあっては片道６km以上の児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒等の保護者に対し、路線バス定期乗車券購入金額の全額又は月額800円を10カ月間（長期休業期間を除く）補助し、保護者負担の軽減を図る。

（令和7年度当初予算）

区 分	小 学 校			中 学 校		
	1人年額 （平均）	人員	給付額	1人年額 （平均）	人員	給付額
バ ス 利 用 者	37,230 円	27 人	1,005,210 円	14,603 円	6 人	843,618 円
そ の 他 の 者	8,000 円	174 人	1,392,000 円	8,000 円	44 人	352,000 円
計		201 人	2,397,210 円		50 人	1,195,618 円

5 学校保健・安全

(1) 学校医等の設置状況

(令和7年5月末日現在)

区分	学 校 名	内 科 医	眼 科 医	耳 鼻 咽 喉 科 医
小 学 校	原町第一小学校	小 野 田 昌 敏	高 野 良 真	青 柳 優
	原町第二小学校	平 田 慶 肇	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	原町第三小学校	樋 口 利 行	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	高 平 小 学 校	小 泉 祐 功	高 野 良 真	青 柳 優
	大 甕 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	太 田 小 学 校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石神第一小学校	新 道 譲 二	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	石神第二小学校	新 道 譲 二	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	鹿 島 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	上 真 野 小 学 校	田 村 融 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 小 学 校	橋 本 明 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
中 学 校	原町第一中学校	田 部 周 市	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	原町第二中学校	猪 又 と し 子	高 野 良 真	若 盛 和 雄
	原町第三中学校	石 原 開	小 林 貴 樹	若 盛 和 雄
	石 神 中 学 校	駒 場 正 雄	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	鹿 島 中 学 校	渡 邊 善 二 郎	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄
	小 高 中 学 校	橋 本 明 彦	佐 柄 英 人	若 盛 和 雄

区分	学 校 名	歯 科 医	薬 剂 師	養 護 教 諭
小 学 校	原町第一小学校	板 倉 良 暢	熊 川 匡 崇	穂 積 梨 映 子
	原町第二小学校	小 林 礼 樹	人 見 順	三 瓶 幸
	原町第三小学校	森 岡 奈 保 子	人 見 順	佐 藤 七 海
	高 平 小 学 校	松 本 断	八 牧 将 彦	迫 田 菊 女
	大 甕 小 学 校	熊 耳 隆 洋	堀 内 由 子	遠 藤 東 沙
	太 田 小 学 校	河 田 祥 一 郎	堀 内 由 子	遠 藤 榛 華
	石神第一小学校	荒 川 二 朗	八 牧 将 彦	鈴 木 洋 美
	石神第二小学校	山 田 隆 信	桃 井 秀 世	坂 下 絵 美
	鹿 島 小 学 校	吉 田 豊	佐 藤 伸 二	舟 山 芽 唯
	上 真 野 小 学 校	吉 田 豊	伊 藤 剛 伸	鎌 田 真 生
	小 高 小 学 校	今 村 隆 一	望 月 雄 太	秋 山 友 美
中 学 校	原町第一中学校	河 田 祥 一 郎	鈴 木 多 佳 子	渡 辺 愛 里
	原町第二中学校	竹 林 実	屋 代 万 起 子	加 藤 奈 保
	原町第三中学校	鈴 木 庸 介	屋 代 万 起 子	杉 咲 頼
	石 神 中 学 校	草 野 保 之	桃 井 秀 世	長 谷 川 之 子
	鹿 島 中 学 校	相 良 一 也	伊 藤 剛 伸	佐 藤 泰 子
	小 高 中 学 校	今 村 隆 一	望 月 雄 太	渡 邊 舞 香

(2) 身長・体重の平均値（令和6年度）

*全国・県平均は、令和5年度全国学校保健統計より抜粋

(小学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
6 歳	全 国 平 均	116.9	21.6	116.0	21.2
	福 島 県 平 均	116.8	21.8	116.1	21.6
	南相馬市平均	117.3	22.1	116.3	22.0
7 歳	全 国 平 均	123.0	24.5	122.1	24.0
	福 島 県 平 均	122.9	25.1	121.6	24.0
	南相馬市平均	122.1	24.6	122.1	24.6
8 歳	全 国 平 均	128.6	27.8	127.8	27.0
	福 島 県 平 均	128.7	28.7	128.1	27.5
	南相馬市平均	130.0	29.9	128.8	28.6
9 歳	全 国 平 均	134.1	31.4	134.4	31.0
	福 島 県 平 均	134.2	32.5	134.3	31.6
	南相馬市平均	134.3	33.0	134.6	31.5
10 歳	全 国 平 均	139.6	35.3	141.4	35.3
	福 島 県 平 均	139.7	36.1	141.8	36.2
	南相馬市平均	140.8	37.4	141.9	37.1
11 歳	全 国 平 均	146.2	39.9	147.9	40.2
	福 島 県 平 均	146.5	41.5	148.1	41.0
	南相馬市平均	146.1	40.5	148.0	41.5

(中学校)

(単位：身長(cm)、体重(kg))

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
12 歳	全 国 平 均	154.2	45.8	152.3	44.5
	福 島 県 平 均	154.2	46.6	152.2	45.8
	南相馬市平均	154.7	47.4	152.2	45.5
13 歳	全 国 平 均	161.1	50.6	155.0	47.6
	福 島 県 平 均	160.8	51.3	154.5	48.3
	南相馬市平均	161.5	52.1	155.0	49.6
14 歳	全 国 平 均	166.0	54.9	156.4	49.8
	福 島 県 平 均	165.6	55.9	156.2	50.7
	南相馬市平均	166.2	56.8	155.8	51.3

(3) 小児生活習慣病健康診断結果

(令和6年度)

・小学4年生

実施人数

(単位：人)

男 子	女 子	合 計
1 8 9	1 4 8	3 3 7

身体測定	血圧測定	生化学検査
3 3 7	3 3 7	3 3 7

検査所見別集計

(単位：人、%)

性 別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖 尿 病		高コレステロール	
男 子	5	2.6	15	7.9	17	9.0	0	0.0	0	0.0	32	16.9
女 子	1	0.7	7	4.7	12	8.1	0	0.0	0	0.0	24	16.2
合 計	6	1.8	22	6.5	29	8.6	0	0.0	0	0.0	56	16.6

管理区分集計

(単位：人、%)

性 別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	7	3.7	16	8.5	33	17.5	82	43.4	51	27.0
女 子	2	1.4	12	8.1	26	17.6	66	44.6	42	28.4
合 計	9	2.7	28	8.3	59	17.5	148	43.9	93	27.6

項目別平均値

性 別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	136.3	34.4	6.3	102.3 / 58.9	170.3
女 子	137.3	33.3	2.3	103.4 / 58.0	173.6

・中学1年生

実施人数

(単位：人)

男 子	女 子	合 計	身体測定	血圧測定	生化学検査
1 3 5	1 5 9	2 9 4	2 9 4	2 9 4	2 9 4

検査所見別集計

(単位：人、％)

性 別	高度肥満		中等度肥満		軽度肥満		血圧高値		糖尿病		高コレステロール	
男 子	5	3.7	9	6.7	9	6.7	0	0.0	0	0.0	11	8.1
女 子	1	0.6	10	6.3	8	5.0	0	0.0	0	0.0	21	13.2
合 計	6	2.0	19	6.5	17	5.8	0	0.0	0	0.0	32	10.9

管理区分集計

(単位：人、％)

性 別	要医学的管理		要経過観察		要生活指導		管理不要		正 常	
男 子	5	3.7	9	6.7	17	12.6	55	40.7	49	36.3
女 子	2	1.3	13	8.2	22	13.8	72	45.3	50	31.4
合 計	7	2.4	22	7.5	39	13.3	127	43.2	99	33.7

1

項目別平均値

性 別	身 長 (cm)	体 重 (kg)	肥 満 度 (%)	血 圧 (mmHg)	総コレステロール (mg/dL)
男 子	155.1	47.5	4.2	106.5 / 56.9	158.7
女 子	152.8	45.9	1.8	107.3 / 58.8	164.9

(4) 日本体育・学校健康センター
災害共済契約状況

(令和7年度)

学校別 項 目	小 学 校	中 学 校	合 計
加 入 数	2, 1 2 4 人	9 5 7 人	3, 0 8 1 人

加入対象学校と共済掛金

(令和7年度)

項 目 種 別	一般児童・生徒等	要保護児童生徒等
義務教育諸学校	9 3 5 円 (内保護者負担 4 6 0 円)	5 5 円 (内保護者負担 0 円)

6 学校給食

令和7年度の状況

小学校

学校名 \ 区分	形態	回数	児童数	一人当たりの学校給食費(年)	回数	無徴収月
原町第一小学校	完全給食	177	332	67,260	10	4・3
原町第二小学校	完全給食	177	199	67,260	10	4・3
原町第三小学校	完全給食	177	414	67,260	10	4・3
高平小学校	完全給食	177	107	67,260	10	4・3
大甕小学校	完全給食	177	110	67,260	10	4・3
太田小学校	完全給食	177	36	67,260	10	4・3
石神第一小学校	完全給食	177	72	67,260	10	4・3
石神第二小学校	完全給食	177	357	67,260	10	4・3
鹿島小学校	完全給食	177	337	67,260	10	4・3
上真野小学校	完全給食	177	62	67,260	10	4・3
小高小学校	完全給食	177	98	67,260	10	4・3

中学校

学校名 \ 区分	形態	回数	生徒数	一人当たりの学校給食費(年)	回数	無徴収月
原町第一中学校	完全給食	3年168 1.2年173	311	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3
原町第二中学校	完全給食	3年168 1.2年173	166	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3
原町第三中学校	完全給食	3年168 1.2年173	62	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3
石神中学校	完全給食	3年168 1.2年173	162	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3
鹿島中学校	完全給食	3年168 1.2年173	224	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3
小高中学校	完全給食	3年168 1.2年173	29	3年 70,560 1.2年 72,660	10	4・3

※学校給食費は学校給食費無償化事業補助金により保護者負担なし。

7 学校施設一覧

小学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 小	22,307	22,307		6,116	1,272	7,388	25m×13m 6 コース	123
原 二 小	25,280	25,280		5,003	1,190	6,193	25m×13m 6 コース	157
原 三 小	25,322	892	24,430	4,709	1,263	5,972	25m×10.7m 6 コース	90
高 平 小	13,268	13,268		2,983	978	3,961	25m×11m 6 コース	101
大 甕 小	19,153	19,153		2,804	1,158	3,962	25m×13m 6 コース	101
太 田 小	15,730	15,730		2,593	981	3,574	25m×13m 6 コース	129
石 一 小	19,115	19,115		2,899	1,125	4,024	25m×10.7m 6 コース	113
石 二 小	18,965	18,965		4,343	1,100	5,443	25m×13m 6 コース	113
鹿 島 小	20,718	20,718		3,806	1,258	5,064	25m×13m 6 コース	-
上 真 野 小	12,419	12,419		2,372	1,027	3,399	25m×13m 6 コース	-
小 高 小	22,079	22,079		5,296	1,373	6,669	25m×17 6 コース	168
計	214,356	189,926	24,430	42,924	12,725	55,649		1,095

(令和7年4月1日現在)

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	生活	音楽	図(技術)工	美術	家庭	視聴覚	図書	特別活動	コンピュータ室	教育相談	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
17	2	2	2	1	0	1	0	1	3	1	1	1	1	1	1	1	0	3	1	1
13	2	0	2	1	0	2	0	2	6	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
18	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0
8	1	1	1	1	0	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1
8	1	1	1	1	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	0	0	2	0	0
4	1	0	1	1	0	1	0	1	4	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0
7	1	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	2	0	0
18	1	1	1	1	0	1	0	2	2	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0
17	1	0	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
6	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1
8	1	1	1	1	0	1	0	1	4	0	1	1	1	0	1	1	0	6	1	0
124	13	8	13	11	0	12	0	16	24	7	8	11	11	7	11	10	1	19	7	5

(小数点以下、四捨五入)

中学校

学 校 名	校地面積 (㎡)	市有地 (㎡)	借用地 (㎡)	校舎・屋体・プール等				
				校舎等 (㎡)	屋体 (㎡)	計 (㎡)	水泳プール	給食室 (㎡)
原 一 中	31,815	31,815		6,326	1,777	8,103	25m×15m 7 コース	107
原 二 中	29,522	29,522		6,217	1,708	7,925	25m×12.9m 6 コース	192
原 三 中	34,606	34,606		3,676	1,708	5,384	25m×13m 6 コース	127
石 神 中	29,729	29,729		4,135	1,762	5,897	25m×15m 7 コース	116
鹿 島 中	51,812	51,812		5,261	1,405	6,666	50m×17m 8 コース	-
小 高 中	38,028	38,028		6,045	1,350	7,395	50m×17.5m 7 コース	158
計	215,512	215,512		31,660	9,710	41,370		700

(令和7年4月1日現在)

教室等保有状況																				
普通教室	特別教室											管理室等								
	理科	音楽	図工(技術)	美術	家庭	外国語	図書	特別活動	コンピュータ教室	教育相談	進路指導	校長室	職員室	事務室	保健室	放送室	用務員室	資料室	会議室	倉庫
13	2	2	2	1	2	0	2	7	1	3	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1
8	2	2	2	1	2	1	2	3	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	5
3	1	1	1	1	2	1	1	4	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2
7	2	1	2	1	2	0	1	4	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1
10	2	2	2	2	2	0	1	5	0	2	0	1	1	1	1	1	0	1	2	2
4	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	6	1	2
45	11	10	10	7	12	3	8	24	4	9	0	6	6	6	6	6	0	10	6	13

(小数点以下、四捨五入)

8 学校施設関連事業計画・実施状況

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
小学校施設営繕事業	○小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行う。	◇石一小屋内運動場屋根防水改修工事 ◇小高小体育館等改修工事
中学校屋内運動場空調設備整備事業	○避難所として活用される学校体育館の機能を強化し、対災害性の向上及び教育環境の向上を図るため空調設備整備の設計業務を行う。	◇原二中屋内運動場空調設備設置工事設計 ◇小高屋内運動場空調設備設置工事設計
原町第二中学校テニスコート整備事業(繰越工事)	○テニスコート、駐車場等を整備するための工事を行う。	◇原町第二中学校テニスコート整備工事

(2) 令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
小学校施設営繕事業	○小学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	◇鹿島小地上式浄化槽撤去及び下水道接続工事 ◇鹿島小電話設備等更新 ◇太田小電話設備等更新 ◇原一小昇降機改修 ◇石二小通級教室床改修 ◇原三小ブルーろ過機自動化改修
中学校施設営繕事業	○中学校の教育環境の改善と安全性を確保するため、教育施設の維持修繕を行った。	◇小高グラウンドフェンス等改修工事 ◇原三中堅樋改修工事 ◇原二中校舎屋上防水改修工事 ◇原三中変圧器更新工事
小中学校照明器具リース事業	○将来的に蛍光灯の製造・輸出入が禁止されることから、リースにより小中学校の照明をLED化し、CO2排出量及び電気料金の削減を図った。	◇小全学校(11校)、中学校(全6校)照明設備賃貸借事業
給食センター整備推進事業(繰越)	○小高区・原町区の小中学校における給食調理施設(自校方式)を集約し給食センター化するため、(仮称)南相馬市新学校給食センターの基本設計業務を行った。	◇(仮称)南相馬市新学校給食センター建設基本設計
原町第二中学校テニスコート整備事業	○テニスコート、駐車場等を整備するための工事を行う。	◇原町第二中学校テニスコート整備工事

9 支援学校・高等学校・専修学校

県立支援学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
相馬支援学校	南相馬市鹿島区寺内字鷺内79	67-1515	小野 美花

県立高等学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
原 町 高 等 学 校	南相馬市原町区西町三丁目380	23-6196	中野 茂
相 馬 農 業 高 等 学 校	南相馬市原町区三島町一丁目65	23-5175	竹田 貴充
小高産業技術高等学校	南相馬市小高区吉名字玉ノ木平78	44-3141	池田 光治

県立専修学校

学 校 名	所 在 地	電 話	校 長 氏 名
福島県立テクノアカデミー浜	南相馬市原町区萱浜巢掛場45-112	26-1555	山下 徹

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

学 科	学級数	生徒数	教職員数
小学部・中学部・高等部	26	99	64

学 科	学級数	生徒数	教職員数
普 通 科	12	425	57
生産環境科・環境緑地科・食品科学科	9	255	62
機械科・電気科・産業革新科・流通ビジネス科	13	316	69

学 科		学級数	生徒数	教職員数
職業能力開発 短期大学校	ロボット環境・ エネルギーシステム学科	2	9	33
職業能力 開発校	機 械 技 術 科	2	18	
	自 動 車 整 備 科	2	18	
	建 築 科	2	7	

V 幼児教育

1 幼稚園・保育園・こども園一覧

(1) 幼稚園

市立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
高 平 幼 稚 園	原町区下北高平字古舘 278	24-0687	菊 地 紀 子
大 甕 幼 稚 園	原町区大甕字十日迫 26	22-7583	中 川 三起子
原町区 小計			
鹿 島 幼 稚 園	鹿島区鹿島字北千倉 24-2	46-4655	高 田 律 子
鹿島区 小計			
合 計			

私立幼稚園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
青 葉 幼 稚 園	原町区二見町三丁目68-4	23-3306	安 川 徹
合 計			

(令和7年5月1日現在)

定員	組数	教職員		3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他				
105	3	6	3	7	15	14	36
140	3	6	2	12	13	11	36
245	6	12	5	19	28	25	72
160	3	6	2	19	13	19	51
160	3	6	2	19	13	19	51
405	9	18	7	38	41	44	123

(令和7年5月1日現在)

定員	組数	教職員		満 3 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
		専任	他					
380	7	14	0	3	26	37	48	114
380	7	14	0	3	26	37	48	114

(2) 保育園

市立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
か し ま 保 育 園	鹿島区西町三丁目 90	46-1717	齋 藤 由美子
か み ま の 保 育 園	鹿島区浮田字一丁田 67	47-2307	堀 内 令 子
合 計			

私立保育園

園 名	所 在 地	電 話	園 長 氏 名
北 町 保 育 所	原町区北町 373-124	22-8432	近 藤 啓 一
よ つ ば 保 育 園	原町区西町二丁目 34-1	24-6478	近 藤 真紀子
よつば乳児保育園西町園	原町区西町二丁目 32-1	24-4285	近 藤 智 之
みなみそうまペンギン国際幼児園	原町区大木戸字南東方 38-12	26-4020	藤 田 友 美
			合 計

(令和7年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	専任	その他							
108	20	9	10	19	21	25	25	24	124
60	9	5		8	15	7	6	7	43
168	29	14	10	27	36	32	31	31	167

(令和7年5月1日現在)

定員	教職員		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
	専任	その他							
60	13	4	7	10	14	14	15	11	71
150	22	7	18	21	0	41	40	39	159
50	13	5		23	37				60
50	14	5	9	10	11	10	9	10	59
310	62	21	34	64	62	65	64	60	349

(3) 認定こども園

市立認定こども園

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
おだか認定こども園	小高区関場二丁目 21	26-6043	新田 奈々恵

私立認定こども園

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
原町聖愛こども園	原町区二見町一丁目 80-1	22-5090	寺 田 進
はらまち認定こども園聖桜	原町区高見町二丁目 22-6	26-6067	石 垣 慶 子
原町みなみこども園	原町区国見町一丁目 50	23-3650	中 澤 翔 平
さ ゆ り 幼 保 園	原町区大木戸字八方内 133	23-3439	鎌 田 文 代
			合 計

(4) 小規模保育事業所

私立小規模保育事業所

園 名	所 在 地	電 話	園長氏名
な か よ し 園	原町区二見町三丁目 67-3	23-3306	安 川 容 子
原町にこにこ保育園	原町区錦町一丁目 125	26-6836	小 林 総一郎
ユニソンワールド保育園 ヨークタウン原町	原町区旭町三丁目 58-1	26-9726	鹿 頭 由 江
聖 愛 ち い ろ ば 園	原町区橋本町一丁目 47-1	32-0952	遠 藤 美保子
			合 計

(令和7年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
123	14	11	4	16	8	20	16	17	81

(令和7年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
90	16	5	4	10	13	22	23	20	92
120	16	5	9	17	16	20	24	23	109
130	21	5		14	23	28	23	32	120
100	11	6	3	10	10	28	25	23	99
440	64	21	16	51	62	98	95	98	420

(令和7年5月1日現在)

定員	教職員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	専任	その他							
12	4	0		8	6				14
10	6	2	1	5	5				11
19	9	1	1	6	8				15
19	5	4	2	8	4				14
60	24	7	4	27	23				54

※公立・私立とも原発避難者特例法による児童の受け入れ有り。

2 園児数

(1) 園種別

(令和7年5月1日現在)

区 分	市立幼稚園	市立保育園	市立こども園
園 数	3	2	1

(2) 学年別等園児数

市立幼稚園

(令和7年5月1日現在)

学 年	園 児 数
3 歳児	38
4 歳児	41
5 歳児	44
計	123

市立保育園

(令和7年5月1日現在)

学 年	園 児 数
0 歳児	10
1 歳児	27
2 歳児	36
3 歳児	32
4 歳児	31
5 歳児	31
計	167

市立こども園

(令和7年5月1日現在)

学 年	園 児 数
0 歳児	4
1 歳児	16
2 歳児	8
3 歳児	20
4 歳児	16
5 歳児	17
計	81

(3) 園児数の推移

市立幼稚園

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27
高 平 幼 稚 園	62	0	33	51	57	60
大 甕 幼 稚 園	74	0	41	44	42	47
太 田 幼 稚 園	41	0	0	0	0	0
石 神 第 一 幼 稚 園	63	0	0	0	0	0
石 神 第 二 幼 稚 園	154	0	0	0	0	0
鹿 島 幼 稚 園	80	93	98	109	108	88
真 野 幼 稚 園	22	0	0	0		
八 沢 幼 稚 園	45	46	38	32	28	36
上 真 野 幼 稚 園	39	44	28	25	23	20
小 高 幼 稚 園	48	0	0	0	0	0
福 浦 幼 稚 園	51	0	0	0	0	0
金 房 幼 稚 園	59	0	0	0	0	0
鳩 原 幼 稚 園	35	0	0	0	0	0
合 計	773	183	238	261	258	251

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全幼稚園が休園しており、鹿島幼稚園・上真野幼稚園が6月1日、八沢幼稚園が9月1日に再開した。(平成23年度は各園の再開時園児数を記載)

※真野幼稚園が平成26年3月31日で廃園となった。

※上真野幼稚園は平成30年4月1日から休園。

※小高幼稚園が平成29年4月1日に再開し、令和2年3月31日で廃園となった。

※福浦・金房・鳩原幼稚園が令和3年3月31日で廃園となった。

※八沢幼稚園は令和6年3月31日で廃園となった。

※太田・石神第一・石神第二・上真野幼稚園は令和7年3月31日で廃園となった。

(各年5月1日現在 単位：人)

29	30	R1	2	3	4	5	6	7
57	72	81	78	70	68	54	47	36
59	63	71	66	66	55	44	41	36
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
90	93	92	85	85	81	58	49	51
31	23	22	17	9	0	0		
8	0	0	0	0	0	0	0	
3	15	13						
0	0	0	0					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
248	266	279	246	230	204	156	137	123

私立幼稚園

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28
さ ゆ り 幼 稚 園	69	13	18	24	29	40	65
青 葉 幼 稚 園	205	22	62	100	111	127	130
原 町 み な み 幼 稚 園	164	27	48	72	84	94	95
小 高 教 会 幼 稚 園	27	0	0	0	0	0	0
合 計	465	62	128	196	224	261	290

※平成23年度は、震災の影響により5月1日時点では全幼稚園が休園しており、青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園が10月11日、さゆり幼稚園が11月1日に再開した。(平成23年度は各園の再開時児童数を記載)

※小高教会幼稚園は令和6年3月31日で廃園となった。

※さゆり幼稚園・原町みなみ幼稚園は令和7年4月1日にさゆり幼保園・原町みなみこども園に移行した。

市立保育園・認定こども園

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28
原 町 あ ず ま 保 育 園	145	0	0	0	0	66	75
原 町 な か ま ち 保 育 園	119	0	0	0	0	0	0
か し ま 保 育 園	135	115	125	132	126	137	135
か み ま の 保 育 園	34	20	31	33	29	46	46
お だ か 認 定 こ ど も 園							
合 計	762	135	156	165	155	249	272

(各年5月1日現在 単位：人)

29	30	R1	2	3	4	5	6	7
89	82	86	86	84	83	74	74	
137	152	159	160	147	144	138	134	114
98	100	96	102	95	93	92	93	
0	0	0	0	0	0	0		
324	334	341	348	328	320	304	301	114

(各年5月1日現在 単位：人)

29	30	R1	2	3	4	5	6	7
82	100	122	113	114	120	118	110	
0	0	0	0	0	0	0	0	
127	114	132	126	121	118	121	123	124
39	46	50	46	40	27	33	39	43
			46	60	81	70	78	81
290	329	400	406	397	384	342	350	248

私立保育園・認定こども園・小規模保育事業所

園名 \ 年度	H22	23	24	25	26	27	28
原 町 聖 愛 こ ど も 園	107	35	64	64	76	89	93
はらまち認定こども園聖桜							
原 町 み な み こ ど も 園							
さ ゆ り 幼 保 園							
北 町 保 育 所	74	18	51	57	60	59	53
よ つ ば 保 育 園	187	55	95	136	143	167	174
よつば乳児保育園西町園		15	27	40	44	50	51
みなみそうまペンギン国際幼児園							
な か よ し 園							6
原 町 に こ に こ 保 育 園							
ユニソンワールド保育園 ヨークタウン原町							
聖 愛 ち い ろ ば 園							
合 計	368	123	237	297	323	365	377

※「よつば保育園」は平成18年度に認可された。

※平成23年度は、震災の影響により、5月1日時点では全保育園が休園となっており、5月6日にかしま保育園、かみまの保育園が再開した。（平成23年度は各園の再開時園児数を記載）

※私立保育園は、平成23年5月6日から避難区域外の鹿島区において臨時保育園を開設。その後、平成23年9月30日で緊急時避難準備区域の解除により、平成23年10月11日から原町区の自園で通常再開した。

※「よつば乳児保育園西町園」は平成23年4月1日に認可されたが、震災の影響により平成24年1月からの開所となった。

※原町あずま保育園は、平成27年4月1日に再開、原町さくらい保育園は、平成28年4月23日に再開した。

※原町聖愛保育園は、平成28年4月1日から原町聖愛こども園に移行した。

※なかよし園は、平成28年4月1日認可・設置された。

※原町にこにこ保育園は、平成29年4月1日に認可・設置された。

※おだか保育園は、令和2年3月31日廃園。

※おだか認定こども園は、令和2年4月1日開園。

※みなみそうまペンギン国際幼児園及びユニソンワールド保育園ヨークタウン原町は、令和2年4月1日に認可・設置された。

※聖愛ちいろば園は、令和2年6月1日に認可・設置された。

※原町さくらい保育園は、令和6年3月31日で廃園となった。

※原町なかまち・原町あずま保育園は、令和7年3月31日で廃園となった。

※はらまち認定こども園聖桜は、令和7年4月1日に認可・設置された。

※さゆり幼稚園・原町みなみ幼稚園は令和7年4月1日にさゆり幼保園・原町みなみこども園に移行した。

(各年5月1日現在 単位：人)

29	30	R1	2	3	4	5	6	7
89	93	105	118	105	108	102	102	92
								109
								110
								98
59	63	68	68	71	70	73	72	71
189	189	191	200	179	170	177	163	159
70	62	54	50	63	62	58	60	60
			49	59	59	57	59	59
6	0	0	8	14	13	14	13	14
3	10	10	11	11	12	12	12	11
			18	17	14	17	16	15
				19	20	19	19	14
416	417	428	522	538	528	529	516	812

3 保健・安全

(1) 医師等の設置状況

市立幼稚園

(令和7年5月1日現在)

園 名	内科医	眼科医	歯科医
高平幼稚園	小 泉 祐 功	高 野 良 真	松 本 断
大甕幼稚園	石 原 開	小 林 貴 樹	熊 耳 隆 洋
鹿島幼稚園	菅 原 通 夫	佐 柄 英 人	吉 田 豊

市立保育園

園 名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
かしま保育園	鹿島厚生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也
かみまの保育園	鹿島厚生病院	佐 柄 英 人	相 良 一 也

市立こども園

園 名	内科嘱託医	眼科嘱託医	歯科嘱託医
おだか認定こども園	南相馬市立総合病院	佐 柄 英 人	今 村 隆 一

(2) 日本体育・学校健康センター

災害共済契約状況

学校別 種別	幼 稚 園	保 育 園	こ ども 園
加 入 数	1 2 3 人	1 6 7 人	8 1 人

加入対象園と共済掛金

項目 種別	一般児童	要保護児童
幼稚園・こども園	2 8 5 円 (内保護者負担 2 0 0 円)	—
保育園	3 6 5 円 (内保護者負担 2 1 0 円)	5 5 円 (内保護者負担 0 円)

4 幼稚園給食

区分 園名	形態	回数 (回)	給食単価 (円)	年間一人当たり 徴収金額 (円)	
市立幼稚園	完全給食	1 6 2	3 5 0	0	※令和元年10月から免除

5 幼稚園・保育園・こども園施設一覧

市立幼稚園

園名	園地面積 (㎡)	園				
		面積 (㎡)	内			
			保育室 (㎡)		遊戯室 (㎡)	
高平幼稚園	2,179	517	4	210	1	118
大甕幼稚園	5,422	515	4	212	1	108
鹿島幼稚園	2,681	648	5	259	1	195

市立保育園

園名	園地面積 (㎡)	面積 (㎡)	園			
			内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
かしま保育園	6,007	1,407	6	361	1	268
かみまの保育園	1,757	337	2	89	1	99

市立こども園

園名	園地面積 (㎡)	面積 (㎡)	園			
			内			
			保育室(㎡)		遊戯室(㎡)	
おだか認定こども園	3,902	1,117	7	351	1	245

舎				
訳				
職員室 (㎡)		保健室 (㎡)		資料室その他 (㎡)
1	24	1	9	156
1	28	1	10	157
1	34	1	12	148

(小数点以下、四捨五入)

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	32	1	5	1	33	84	624
1	20	1	13	1	20	14	82

(小数点以下、四捨五入)

舎							
訳							
事務室(㎡)		医務室(㎡)		調理室(㎡)		便所(㎡)	その他(㎡)
1	58	—	—	1	71	22	370

(小数点以下、四捨五入)

6 放課後児童クラブ

(1) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営事業）

<事業目的>

小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に、児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

<事業内容>

- ①対象児童 南相馬市に在住または在学している小学校児童
定員を超えた応募があった場合は、1年生から3年生までの低年齢の児童を優先する。
- ②活動日時 月曜日～金曜日の下校時～18時
土曜日及び春・夏・冬休みの期間は7時30分～18時
(日曜日、祝祭日、年末年始は休み)
- ③費用 スポーツ保険料 年800円

(2) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）実施状況（令和7年5月1日現在）

	クラブ名	所在地	電話	設置年月	施設面積 (㎡)
1	東町児童クラブ	原町区東町二丁目82 (東町児童センター)	22 - 3202	H 9.4	306.27
2	原町第一児童クラブ	原町区東町二丁目66 (原町第一小学校)	22 - 5300	H17.11	60.00
3	橋本町児童クラブ	原町区橋本町一丁目83-4 (橋本町児童センター)	24 - 0436	H 9.4	308.61
4	上町児童クラブ	原町区上町二丁目33 (上町児童センター)	24 - 0253	H 9.4	317.58
5	大甕児童クラブ	原町区大甕字鶴蒔8 (大甕小学校)	23 - 1706	H13.1	160.00
6	太田児童クラブ	原町区益田字塩釜236 (太田小学校)	23 - 4114	H13.1	120.00
7	石神第一児童クラブ	原町区北長野字北原田288 (石神第一小学校)	22 - 2870	H13.9	124.00
8	石神第二児童クラブ	原町区大木戸字西原1	24 - 0710	H13.9 R 3.9(移転)	775.00
9	鹿島児童クラブ	鹿島区鹿島字広町13	46 - 4477	H12.9 H28.7(新築移転)	319.34
10	八沢児童クラブ	鹿島区南屋形字北原8-1	26-4122	H23.5 H26.9(新築移転)	107.03
11	上真野児童クラブ	鹿島区浮田字一丁田81 (上真野小学校)	26 - 4567	H23.5	65.07
12	小高児童クラブ	小高区関場一丁目77-1 (小高小学校)	44 - 4118	H13.6	190.00

《児童クラブ登録児童数》

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

	クラブ名	定員 (人)	児童数 (人)							支援員 数(人)
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
1	東町児童クラブ 1	40	26	0	0	10	0	7	43	2
2	東町児童クラブ 2	40	0	0	24	0	20	0	44	2
3	原町第一児童クラブ	35	0	28	0	12	0	0	40	2
4	橋本町児童クラブ 1	40	23	18	0	0	0	0	41	2
5	橋本町児童クラブ 2	40	0	0	23	12	10	1	46	2
6	上町児童クラブ 1	40	26	17	0	0	0	0	43	3
7	上町児童クラブ 2	40	0	0	26	18	9	2	55	3
8	大甕児童クラブ	50	7	13	10	11	8	11	60	2
9	太田児童クラブ	40	4	1	2	8	7	6	28	2
10	石神第一児童クラブ	40	9	6	4	8	4	5	36	2
11	石神第二児童クラブ 1	40	31	30	0	0	0	0	61	2
12	石神第二児童クラブ 2	40	0	0	38	0	0	0	38	2
13	石神第二児童クラブ 3	40	0	0	0	19	10	6	35	2
14	鹿島児童クラブ 1	40	19	22	0	0	0	0	41	3
15	鹿島児童クラブ 2	40	0	0	35	13	0	0	48	3
16	八沢児童クラブ	30	0	2	1	5	8	5	21	
17	上真野児童クラブ	40	7	10	4	10	6	2	39	2
18	小高児童クラブ	50	12	10	15	8	8	3	56	2
	計	725	164	157	182	134	90	48	775	38

(3) 児童の安全管理状況

児童クラブ共済保険内容

保険会社名	保険料	保険給付内容
(財) スポーツ安全協会	A 1 型 登録児童 1 名あたり 保険料 8 0 0 円	傷害保険 死亡 2, 0 0 0 万円 後遺障害 3, 0 0 0 万円 賠償責任 身体・財物 合算 1 事故につき 5 億円 身 体 賠 償 1 事故につき 1 億円

児童クラブ共済保険加入状況

区名	小高区	鹿島区	原町区
人数	5 6 人	1 4 9 人	5 7 0 人

(4) 放課後児童健全育成事業費補助金事業

<事業目的>

社会福祉協議会、特定非営利活動法人トイボックスを実施主体とする仲町児童センター・高平児童館・錦町児童クラブ・けやき児童クラブ管理運営の円滑化を図る。

<事業内容>

小学校児童を対象として児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として運営経費金額を補助する。

(令和7年5月1日現在)

施設名	所在地	電話	施設面積 (㎡)	定員 (人)	児童数 (人)							職員数 (人)	
					1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	館 長	他 ※
仲町児童センター	原町区仲町二丁目 165	22-1803	413.34	60	6	21	4	8	8	12	59	1	6
高平児童館	原町区下北高平字古館 36-5	24-3557	188.00	40	7	6	10	6	9	5	43	1	4
錦町児童クラブ	原町区錦町一丁目 125	26-6836	195.72	40	10	4	8	8	6	3	39	1	6
けやき児童クラブ	鹿島区鹿島字町 80	32-1345	134.55	30	2	1	4	8	7	6	28	1	1
計				170	25	32	26	30	30	26	169	4	17

※ 職員数は非常勤職員の人数を含んでいる。

7 事業計画・実施状況

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	○保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材事前検査を実施する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食食材の事前検査に係る経費を助成。 ◇公立保育園 給食食材の事前検査を実施。
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	○保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	◇事業者が借上げた宿舍の家賃補助（1か所月額43千円又は70千円上限）
保育体制強化事業補助金	○保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	◇保育支援者の配置に要する費用を助成。 （1園月額145千円上限） ・保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃 ・給食の配膳・後片付け ・寝具の用意・後片付け ・その他、保育士の負担軽減に資する業務
元気あふれる幼児育成推進事業	○子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	◇保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ◇幼保小連携研修会開催
民間保育所等給食食材費補助金	○子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。 ・対象年齢 3歳児～5歳児 ・補助額 月額上限一人7,700円
私立幼稚園給食費保護者助成金	○教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	◇私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人8,000円

(2) 令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
保育所等給食検査体制整備事業補助金	○保育所等が安心・安全な給食を提供するための食材検査を実施する。	◇私立保育園等が実施する食材検査に係る経費を助成した。 検査測定器配置施設 ・よつば保育園 (よつば乳児保育園西町園・原町聖愛こども園検査含) ◇公立保育園で給食食材の事前検査を実施した。 検査測定器配置施設 ・原町あずま保育園 (かしま保育園・かみまの保育園・おだか認定こども園検査含)
保育士・幼稚園教諭宿舍借り上げ支援事業補助金	○保育士や幼稚園教諭の人材確保及び離職防止を図るため、事業者が保育士等の宿舍を借上げる費用の全部又は一部を支援する。	◇事業者が借上げた宿舍の家賃補助(1か所月額43千円又は70千円上限) ・よつば保育園 2件 ・北町保育所 1件 ・原町聖愛こども園 1件
保育体制強化事業補助金	○保育士の離職防止と働きやすい職場環境を整備するため、事業者が子育て経験者など地域の多様な人材を保育支援者として配置する費用の一部を補助する。	◇保育支援者の配置に要する費用を助成。 (1園月額145千円上限) ・北町保育所 1件 ・みなみそうまペンギン国際幼兒園 1件 ・よつば保育園 1件 ・原町聖愛こども園 1件
元気あふれる幼児育成推進事業	○子どもの可能性や特性を引き出すような情操教育と体力増進を中心とした幼児教育の充実を図るため、幼児育成プログラムや指導者向けの研修等を実施する。	◇保育士・幼稚園教諭等の資質と指導力を高める取り組み ・各種研修会の参加 ・幼保小連携・接続研修会 ◇幼児教育プログラム内容検討
民間保育所等給食食材費補助金	○子育て環境の充実を図るため、民間保育所等が提供する給食用食材費に対し、補助金を交付する。	◇私立保育園及び私立認定こども園が実施する給食用食材費を補助。(3歳児～5歳児) ・補助額 月額上限一人7,700円 ・補助対象者数 206人
私立幼稚園給食費保護者助成金	○教育環境の充実を図るため、私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費に対し助成金を交付する。	◇私立幼稚園在園児の保護者が負担する給食費の助成。 ・助成額 月額上限一人8,000円 ・助成対象者数 223人

VI 生涯学習・文化振興

1 生涯学習関係

(1) 事業計画

令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習講演会 開催事業補助金	○地域の中で、人としての優しさや豊かさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、市民が広く参加できる講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 800千円 ・補助率 定額 ・期 日 実行委員会にて決定 ・会 場 鹿島生涯学習センター（さくらホール）予定 ・講 師 実行委員会にて決定
生涯学習推進事業	○市民ボランティア講師及び行政職員等を派遣する出前講座のほか、地域団体における生涯学習指導者育成のための研修会開催など、生涯学習事業、社会教育事業の振興を図る。	◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対 象 者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 約400回 ・市民ボランティア300回 ・行政、公共団体等100回 ・メニュー表 2, 800部発行 発 行 日 令和7年6月予定 配 布 先 講師及び受講団体、関係機関・団体等 ・出前講座の継続にかかる意向調査予定 調査対象 市民ボランティア講師 NPO・各種団体等 調査期間 令和8年2月 ◇地域学習団体における生涯学習指導者育成 ・研修会の開催
報徳精神がいきづく まちづくり事業	○報徳仕法のいきづく本市において、その教えを時代を超えて継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。また、「報徳精神がいきづくまちづくり」推進に向け、推進委員会及びワーキンググループを開催、視察研修を実施する。	◇第30回全国報徳サミット桜川市大会 ・期 日 令和7年10月31日（金） ～11月 1日（土）予定 ・会 場 メタックス体育館はだの ◇同報徳サミット秦野市大会ツアー ・期 日 令和7年10月31日（金） ～11月 1日（土） ・会 場 メタックス体育館はだの ・定 員 20人（ほか職員引率2人） ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版(改訂版)」の配布 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」授業の実施 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 新採用職員への副読本概要版配付 報徳の教え「名札入れカード」全職員配付 報徳の教え「壁面貼付用」全課所室配布 ・清掃活動の実施 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 ・石神生涯学習センター 年6回 ・ひがし生涯学習センター 年3回

事業名	事業目的	事業内容
		・鹿島生涯学習センター 年3回 ・高平生涯学習センター 年1回 【高齢者学級・女性学級等による実施】 ・年1回（小高、原町、太田、大甕、ひばり） ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数 4,000部 ・配布先 市内公共施設 ◇「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 - 副読本ダイジェスト版 ・日本語版 印刷部数 3,000部 ・配布先 市内公共施設及び観光関連施設 ◇副読本「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 ・印刷部数 1,000部 ・配布先 市内小学校 ◇報徳精神がいきづくまちづくり推進委員会 ・開催時期 6月～2月 ・回数 2回 ◇報徳精神がいきづくワーキンググループ ・回数 4回
高等学校 開放講座事業	○趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	◇相馬農業高等学校開放講座 ・開催時期 8～12月 ・回数 年3回 ・定員 20人
二十歳を祝う会 開催事業	○二十歳に達した青年の自覚を促し、祝い励ますために二十歳を祝う会を開催する。	◇令和8年南相馬市二十歳を祝う会 ・期 日 令和8年1月11日（日） ・会 場 南相馬市民文化会館（ゆめはっと） ・対 象 者 538人 - 平成17年4月2日～ - 平成18年4月1日までに生まれた方
家庭教育支援 総合推進事業	○子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。また、市内学習塾の情報を提供する南相馬市学習塾バンク事業を実施し、児童生徒の家庭学習の機会を支援していく。	◇子育て学習講座 2団体 ・企業、NPO団体、子育てサークル等 ◇家庭教育講座 13件 ・幼稚園、保育園、小中学校、相馬支援学校、PTA等 ◇就学児童子育て講座 6件 ・市内小学校、相馬支援学校 ◇大学公開講座 年1回 ◇南相馬市学習塾バンク事業 ・受付期間 令和7年4月～令和8年3月 ・公開場所 市ホームページ等
中学生職場体験等 支援事業	○生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 ・担当者説明会 - 期 日 令和7年5月23日（金） ・職場体験活動取材 - 実 施 校 6中学校 - 実施期間 令和7年9月 ・令和8年度 事業所受入意向調査 - 調査期間 令和8年2月 ◇職場体験活動情報誌 「体験！Working！」の発行（年1回） ・発 行 日 令和7年12月 ・発行部数 4,500部 ・配 布 先 市内小中学校、受入事業所 公共施設等

事業名	事業目的	事業内容
		◇中学生ボランティア活動 実施校 6 中学校（1 学年～3 学年） 実施期間 令和 7 年 5 月～令和 8 年 1 月 体験日 土日祝日及び夏休み、冬休み ※夏休み及び冬休みは平日も可 体験内容 市が行うイベント
生涯学習講座事業	○自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小 高（2 学級・3 講座） ・鹿 島（2 学級・4 講座） ・原 町（3 学級・1 講座） ・太 田（3 学級・2 講座） ・大 甕（2 学級・2 講座） ・高 平（1 学級・3 講座） ・石 神（2 学級・4 講座） ・ひがし（2 学級・3 講座） ・ひばり（2 学級・2 講座） 合 計 19 学級・24 講座 ◇生涯学習チャンネル配信事業 ・みなみそうまチャンネルを活用した動画配信による生涯学習講座 12 回
こども探検隊事業	○子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	【親と子の絆づくり体験事業】 ・対 象 小高小中学校の児童生徒・保護者 ◇法螺貝吹き・乗馬体験 ・期 日 ①令和 7 年 5 月 31 日（土） ②令和 7 年 9 月 予定 ・会 場 小高神社境内 ・内 容 乗馬や法螺貝吹きを体験し、野馬追を身近に感じてもらう ◇餅つき体験 ・期 日 令和 7 年 12 月 予定 ・会 場 小高区内 ・内 容 親と子が協力し餅つきを行う 【親子による自然科学体験】 ・対 象 市内の児童・生徒とその家族 ◇ほたるの観察会 ・期 日 令和 7 年 6 月 予定 ・会 場 市内ビオトープ ・内 容 昆虫の生態の観察 ◇ドローン体験 ・期 日 令和 7 年 7 月 22 日 予定 ・会 場 福島ロボット・テストフィールド ・内 容 施設見学、ドローン操縦体験 ◇秋野菜収穫体験 ・期 日 令和 7 年 9 月 予定 ・会 場 ごろくファーム ・内 容 野菜の収穫体験 ◇古代史探検隊 ・期 日 令和 7 年 11 月 予定 ・会 場 泉官衙遺跡 ・内 容 市内の遺跡と歴史を学ぶ

事業名	事業目的	事業内容
		◇そば打ち体験 ・期 日 令和7年12月予定 ・会 場 原町生涯学習センター ・内 容 体験を通して和食への知識を高める ◇スキー教室 ・期 日 令和8年2月予定 ・会 場 あだたら高原スキー場（二本松市） ・内 容 冬の自然を体験する 【青梅市交流事業】 ・内 容 青梅市との交流により地域の自然や文化の知識を身に付け交流を深める ・対 象 小学生親子5組10名 【こども交流支援事業補助金】 招待交流事業実施に伴う経費の補助 ・補助団体 1団体 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ ・補助金額 1,500千円 ・補助率 定額
学習活動団体 育成支援事業	○自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催する。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小 高（1教室） ・鹿 島（1教室） ・原 町（2教室） ・太 田（1教室） ・大 甕（1教室） ・高 平（1教室） ・石 神（2教室） ・ひがし（1教室） ・ひばり（1教室） 計 11教室
地域学校協働活動事業	○地域における教育力の低下や家庭の孤立、学校を取り巻く問題の複雑化等の課題を解決するため、地域と学校がパートナーとして「連携・協働」し、地域ぐるみで子どもを育み、地域社会の活性化を図るため、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施する。	◇本部運営委員会 ・開催時期 6月～2月 ・内 容 市全体の事業計画の確認 目標設定 評価・検証 ◇小高（小高小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対 象 小高小学校児童 ・内 容 放課後子ども教室を開催し、様々な体験活動を行う ◇鹿島（上真野小）地域学校協働本部 ・開催時期 4月～2月 ・対 象 上真野小学校全校児童 ・内 容 田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行う ◇原町南（太田小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対 象 太田小学校全校児童 ・内 容 田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行う
		◇原町南（大甕小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対 象 大甕小学校児童 ・内 容 畑でさつま芋苗植えやさつま芋掘り等の体験を行う ◇原町東（高平小）地域学校協働本部

事業名	事業目的	事業内容
		・開催時期 5月～2月 ・対象 高平小学校児童 ・内容 地域と連携し夏休みや冬休み等の時間を利用し学習支援、体験学習等を行う ◇原町西（石一小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 石神第一小学校児童 ・内容 放課後子ども教室を開催し、放課後や夏休み等を利用し様々な体験型活動を行う ◇原町中央（原一小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 原町第一小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町中央（原二小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 原町第二小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町西（原三小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 原町第三小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇鹿島（鹿島小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 鹿島小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇原町西（石二小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対象 石神第二小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行う ◇南相馬市地域学校協働活動事業情報紙「つなぐ まなぶ」の発行（年1回） ・発行日 令和8年3月予定 ・発行部数 8,000部予定 ・配布先 市内小中学校、公共施設等

令和7年度社会教育施設等の修繕事業

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習センター施設営繕事業	○施設利用者の安全性を確保し、円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ◇合併浄化槽設置工事 ・対象施設 石神生涯学習センター

(2) 事業実施状況

令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習講演会 開催事業補助金	○地域の中で、人としての温かさや優しさ、幸せに生きることの大切さを考える機会を提供するため、講演会を開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	◇補助対象 1団体 ・事業主体 生涯学習講演会実行委員会 ・補助金額 800千円 ・期 日 令和7年2月16日(日) ・講 師 声優界のレジェンド「神谷 明」 ・演 題 夢を叶えるために
生涯学習推進事業	○市民ボランティア講師及び行政職員等を派遣する出前講座のほか、地域団体における生涯学習指導者育成のための研修会開催など、生涯学習事業、社会教育事業の振興を図る。	◇生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・対 象 者 市内に在住・在勤・在学の団体等 ・実施回数 428回 ・市民ボランティア 292回 ・行政、公共団体等 136回 ・メニュー表 3,000部発行 ・発 行 日 令和6年6月 ・配 布 先 講師及び受講団体、関係機関・団体等 ◇出前講座の継続にかかる意向調査 ・調査対象 市民ボランティア講師 NPO・各種団体等 ・調査期限 令和7年2月 ・講師登録数 116人 ・講座メニュー数 461メニュー ◇生涯学習支援リーダー研修会 ・期 日 令和7年2月14日(金) ・会 場 市民情報交流センター ・講 師 石井山 竜平 氏 (東北大学大学院教育学研究科 准教授) その他事例発表者7名 ・参 加 者 82名
報徳精神がいきづく まちづくり事業	○報徳仕法のいきづく本市において、時代を超えてその教えを継承し、現代的視点で見つめ直して心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法に関する学習機会を提供する。また、「報徳精神がいきづくまちづくり」推進に向け、推進委員会及びワーキンググループを開催、視察研修を実施する。	◇報徳のまちづくり講演会 ・期 日 令和7年1月27日(月) ・会 場 サンライフ南相馬 集会室 ・講 師 桑原 功一 氏 (渋沢史料館 館長) ・参 加 者 137人 ・対 象 一般市民 ◇第29回全国報徳サミット桜川市大会 ・期 日 令和6年11月15日(金) ～16日(土) ・会 場 大和ふれあいセンター「シトラス」 ・参 加 者 市長、議長、随員職員 ◇同報徳サミット御殿場市大会ツアー ・期 日 令和6年11月15日(金) ～16日(土) ・参 加 者 11人、引率職員 2人 ◇学校教育との連携による郷土学習 「ふるさと教育」の推進 ・副読本「報徳仕法-南相馬市版(改訂版)」の 配付(4月) 505部 市内全小学校新4年生児童・転入教諭 市内全中学校・支援学校転入教諭 ・小中学校教育課程による「ふるさと教育」 授業の実施

事業名	事業目的	事業内容
		・「二宮金次郎物語」の小学校への配付 ◇「報徳精神」の普及啓発 ・市職員啓発活動 - 新採用職員への副読本概要版配付 62人 ・清掃活動の実施 - 職員自らが率先垂範して、市役所本庁舎（玄関脇）の二宮尊徳像の清掃活動 「一人ひとりの報徳実践DAY」の実施 ◇各生涯学習センターにおける報徳仕法に関する学級・講座等の開催 【報徳講座】 （4センター 121人） - 石 神 4講座／42人 - ひがし 3講座／35人 - 鹿 島 3講座／37人 - 高 平 1講座／7人 【高齢者学級・女性学級等による実施】 （5センター 74人） - 小 高 1学級／7人 - 原 町 1学級／16人 - 太 田 1学級／14人 - 大 甕 1学級／11人 - ひがし 1学級／16人 - ひばり 1学級／10人 ◇報徳仕法ゆかりの市内めぐりリーフレット ・印刷部数 4,000部 ・配布先 市内公共施設及び観光関連施設 ◇「二宮尊徳・富田高慶からの贈り物」 - 副読本ダイジェスト版作成 - 副読本 ・印刷部数 500部 - ダイジェスト版 ・日本語版 印刷部数 4,000部 ・英語版 印刷部数 1,000部 ・配布先 市内公共施設及び観光関連施設 ◇報徳精神がいきづくまちづくり検討委員会 ・期 日 第1回 令和6年7月24日 - 第2回 令和7年3月21日 ・委 員 12人 ・内 容 (1)今後の報徳精神がいきづくまちづくり事業の進め方について (2)石神生涯学習センター周辺を中心とした報徳の里づくりについて (3)本事業による市民の意識啓発、市民参加の方策について (4)本事業による子どもたちへの教育の推進について ◇報徳講座受講生との意見交換会 ・期 日 令和7年1月22日（水） ・会 場 石神生涯学習センター ・参加者 石神生涯学習センター 報徳講座受講生 6人

事業名	事業目的	事業内容
高等学校 開放講座事業	○趣味や知識を深め技術の習得を図るため、市内高等学校の専門的な教育機能を市民に開放し、各種講座を実施する。	【相馬農業高等学校開放講座】 参加者52人 ◇第1回 ・期 日 令和6年7月20日(土) ・会 場 ひばりが原農場 教室・芝生 ・参加者 10人 ・内 容 きれいな藍色で夏を涼む藍染め講座 ・材料費 1,000円 ◇第2回 ・期 日 令和6年9月28日(土) ・会 場 相馬農業高等学校 製パン室 ・参加者 20人 ・内 容 ふっくらおいしい焼きたてパン作り ・材料費 1,000円 ◇第3回 ・期 日 令和6年12月21日(土) ・会 場 相馬農業高等学校 農業機械実習室 ・参加者 22人 ・内 容 新年に福を呼ぶ!ミニ門松づくり ・材料費 1,000円 【小高産業技術高等学校開放講座】 ・期 日 令和6年10月19日(土) ・会 場 小高産業技術高等学校 実習棟C 手仕上実習室 ・参加者 4人 ・内 容 ワイヤークラフトでルームプレートを作ろう ・材料費 500円
二十歳を祝う会 開催事業	○二十歳に達した青年の自覚を促すとともに、二十歳になった方を祝い励ますために、二十歳を祝う会を開催する。	◇令和7年南相馬市二十歳を祝う会 ・期 日 令和7年1月12日(日) ・会 場 南相馬市民文化会館(ゆめはっと) ・対象者 460人 ・参加者 319人(参加率:69.34%) 平成16年4月2日～ 平成17年4月1日までに生まれた方
家庭教育支援 総合推進事業	○子供の基本的な生活習慣や生活能力等を身につける家庭教育について学ぶ機会の提供や地域環境づくりを推進するため、学校・社会・家庭との連携協力を図り、家庭教育に関する学習機会の提供や支援を行う。	◇子育て学習講座 実績 1件 45人 ・かしま子育て支援センター ◇家庭教育講座 実績 2件 109人 ・青葉幼稚園 ・大甕幼稚園 ◇就学児童子育て講座 実績 市内小学校で3件 163人 ・大甕、太田小学校 ・鹿島、上真野小学校 ・原町第二、第三小学校 ◇家庭教育大学公開講座 実績 1件 91人

事業名	事業目的	事業内容
中学生職場体験等 支援事業	○生徒自らが体験することで働くことの意義や目的を理解し社会人としての自立促進を図るため、市内中学校が授業の一環として実施する職場体験・福祉体験活動等を支援する。	◇中学生職場体験・福祉体験活動の支援 担当者説明会 ・期 日 令和6年5月20日(月) 職場体験活動取材 ・実 施 校 6中学校 ・実 施 日 令和6年7月17日(水) ～9月26日(木) ・生 徒 数 661人(実数) ・受 入 れ 227事業所(延べ) 令和7年度事業所受入意向調査 ・調査件数 480事業所 ・調査期間 令和7年2月21日(金) ～3月12日(水) ◇職場体験活動情報誌 「体験!Working!」の発行(年1回) ・発 行 日 令和6年12月発行 ・発行部数 4,500部 ・配 布 先 市内中学校、市内小学校(教職員) 公共施設、事業所等 ◇中学生ボランティア活動(モデル事業) モデル校 原町第二中学校 実施期間 令和6年7月21日(土) ～11月2日(土) 体験内容 市や市内小学校が主催のイベント 実施件数 9件
生涯学習講座事業	○自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。	◇各生涯学習センターにおける学級・講座等の開催 ・小 高(2学級・3講座) ・鹿 島(2学級・3講座) ・原 町(3学級・1講座) ・太 田(3学級・2講座) ・大 甕(2学級・2講座) ・高 平(1学級・2講座) ・石 神(2学級・3講座) ・ひがし(2学級・3講座) ・ひばり(2学級・2講座) 合 計19学級・21講座 ◇生涯学習チャンネル配信事業 ・みなみそうまチャンネルやYouTubeを活用した 動画配信による生涯学習講座 11回
こども探検隊事業	○子どもに社会性や知識を身に付けてもらうため、子ども同士が交流する機会を拡大するとともに、自然の大切さや地域の文化芸術を学ぶ機会を提供する。	【親と子の絆づくり体験事業】 ・対 象 小高小・中学校の児童生徒とその保護者 ◇甲冑試着・法螺貝吹き体験 ・期 日 令和6年5月5日(日) ・会 場 小高生涯学習センター ・内 容 甲冑試着と法螺貝吹き体験 ・参 加 者 5人 ◇アートによる新生ふくしま交流事業体験 ・期 日 令和6年8月13日(土) ・会 場 小高生涯学習センター ・内 容 身近な海や川に生息する魚の骨格や色彩を学び・描く体験 ・参 加 者 9人

事業名	事業目的	事業内容
		◇再生可能エネルギー体験 ・期 日 令和6年9月7日（土） ・会 場 あすびと福島・万葉の里風力発電所 ・内 容 風力発電や水素発電等の学習、ドローンの操縦体験 ・参加者 4人 ◇乗馬体験 ・期 日 令和6年10月5日（土） ・会 場 小高神社境内 ・内 容 乗馬体験 ・参加者 24人 ◇ディンプルアート体験 ・期 日 令和6年12月8日（日） ・会 場 小高生涯学習センター ・内 容 車のフロントガラスを再利用した絵の具を使ったアート作品作り体験 ・参加者 36人 【親子による自然科学体験】 ・対 象 市内の児童・生徒とその家族 ◇第1回 ・期 日 令和6年4月28日（日） ・会 場 原町生涯学習センター ・内 容 楽器演奏体験 ・参加者 14人 ◇第2回 ・期 日 令和6年6月29日（土） ・会 場 南相馬市原町区上太田地内 はたるのふる里 ・内 容 市内生物系体験観察 ・参加者 25人 ◇第3回 ・期 日 令和6年8月4日（日） ・会 場 原町区金沢地内 ごろくファーム ・内 容 野菜収穫体験 ・参加者 23人 ◇第4回 ・期 日 令和6年11月4日（月） ・会 場 原町区泉地内 泉官衙遺跡 ・内 容 遺跡体験 ・参加者 28人 ◇第5回 ・期 日 令和6年12月8日（日） ・会 場 石神生涯学習センター ・内 容 そば打ち体験 ・参加者 30人 ◇第6回 ・期 日 令和7年2月2日（日） ・会 場 あだたら高原スキー場（二本松市） ・内 容 スキー教室 ・参加者 32人

事業名	事業目的	事業内容
		【青梅市交流事業】 ・期 日 令和6年7月27日（土）～28日（日） ・内 容 青梅市との交流により地域の自然や文化の知識を身に付け交流を深める ・対 象 小学生親子5組11名 【こども交流支援事業補助金】 ◇補助対象 1団体 ・事業主体 NPO法人南相馬こどものつばさ 全国各地において、子ども同士や地域住民との交流の拡大を図るため、南相馬こどものつばさが実施する事業に対し、補助金を交付した。 ・補助金額 1,500千円（当初） ・交付額 1,500千円 ・事業実績 大学生との交流会 高校生会議（学習会）
学習活動団体 育成支援事業	○自ら学ぶ楽しさを実感してもらうため、市民の多様化する学習意欲に対応する機会として各種教室を開催し、将来自立した活動ができるよう各種団体への組織化等の支援を行った。	◇生涯学習センターによる各種教室の開催 ・小 高（2教室） 196人 ・鹿 島（1教室） 77人 ・原 町（2教室） 312人 ・太 田（1教室） 77人 ・大 甕（1教室） 185人 ・高 平（1教室） 136人 ・石 神（2教室） 526人 ・ひがし（1教室） 204人 ・ひばり（1教室） 38人 計 12教室 1,751人
地域学校 協働活動事業	○地域における教育力の低下や家庭の孤立、学校を取り巻く問題の複雑化等の課題を解決するため、地域と学校がパートナーとして「連携・協働」し、地域ぐるみで子どもを育み、地域社会の活性化を図るため、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施した。	◇本部運営委員会 ・期 日 ①令和6年 6月26日（水） ②令和6年10月16日（水） ③令和7年 3月13日（木） ・内 容 市全体の事業計画の確認 目標設定 評価・検証 ◇小高（小高小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月（全14回） ・対 象 小高小学校児童 ・内 容 放課後子ども教室を開催し、文化・スポーツ等様々な活動を行った。 ◇鹿島（上真野小）地域学校協働本部 ・開催時期 4月～2月 ・対 象 上真野小学校全校児童 ・内 容 田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行った。 ◇原町南（太田小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月 ・対 象 太田小学校全校児童 ・内 容 田んぼで田植えや稲刈り等の体験を行った。 ◇原町南（大甕小）地域学校協働本部

事業名	事業目的	事業内容
		・開催時期 5月～2月 ・対象 大甕小学校児童 ・内容 畑でさつま芋苗植えやさつま芋掘り等の体験を行った。 ◇原町東（高平小）地域学校協働本部 ・開催時期 4月～2月 ・対象 高平小学校児童 ・内容 地域と連携し夏休みや冬休み等の時間を利用し、学習支援、体験学習等を行った。 ◇原町西（石一小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月（全8回） ・対象 石神第一小学校児童 ・内容 放課後子ども教室を開催し、放課後や夏休み等を利用し様々な体験型活動を行った。 ◇原町中央（原一小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月（全2回） ・対象 原町第一小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援や体験活動等を行った。 ◇原町中央（原二小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月（全3回） ・対象 原町第二小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援や体験活動等を行った。 ◇原町西（原三小）地域学校協働本部 ・開催時期 5月～2月（全6回） ・対象 原町第三小学校児童 ・内容 学校のカリキュラム（授業計画）に沿った学校支援等を行った。 ◇南相馬市地域学校協働活動事業情報紙「つなぐ まなぶ」の発行（年1回） ・発行日 令和7年3月 ・発行部数 7,000部 ・配布先 市内小中学校、公共施設等
その他の事業	○市内で活動するの生涯学習団体の支援をするため、登録制度を設けて、使用料の減免をする。	◇生涯学習施設等登録団体の支援（R7.3.31） ・登録団体数 255団体 - 小高区 16団体 - 鹿島区 19団体 - 原町区 228団体

令和6年度社会教育施設等の修繕事業

事業名	事業目的	事業内容
生涯学習センター 施設営繕事業	○施設利用者の安全性を確保するとともに円滑な施設運営を行うため、施設の維持管理に必要な修繕等を行う。	生涯学習センターの修繕計画に基づいて実施 ◇和室空調設備改修工事 ・対象施設 高平生涯学習センター

2 生涯学習センター関係

(1) 令和7年度事業計画

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	春の寄せ植え教室、 トールペイント教室、他	5
うきふね学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	脳トレ講和、 輪投げ教室、他	5
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	蔓を使った工芸品講座、陶芸講座、他	7
一閑張り講座	市民が主体的に学習する場を提供し、自ら知識と教養を高めることを目的とする。	一閑張り作品を3回の講座で仕上げる	3
健康いきいき講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康的な身体づくりを目指す。	バランスボール講座、 健康体操講座、他	3
計			23

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	寄せ植え教室、 みそづくり教室 他	5
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	防災教室、 ストレッチ教室 他	4
絵手紙講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙制作	5
パン＆洋菓子講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン、洋菓子づくり 他	6
健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	季節の料理づくり	3
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	藍染教室、ビーズ教室 他	3
計			26

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	薬の知識、方言学入門 移動研修 他	10
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	防災対策教室、フラワーアレンジメント教室、移動研修 他	7
さわやか学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講話、絵手紙教室 他	3
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	藍染教室、キムチの素作り 他	6
計			26

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ハウスバンドで作るバッグ 簡単おせち料理教室 移動研修 他	5
楽らく学級	健康な身体作りを通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ニュースポーツ 体組成測定 他	6
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	クラフトバンドで作る小物 和菓子作り、移動研修 他	3
レッツトライ講座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	スマホ教室、工場見学、図書館探検、ドローン体験 他	6
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	PPバンドで作る小物 他	4
計			24

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	茶道教室、お料理教室、お正月生け花教室、他	5
はっらっ学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ストレッチ教室、音楽教室 報徳講座、体操教室 他	5
うまい生き方講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	陶芸教室、コーヒー教室 そば打ち教室 他	4
ものづくり講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	多肉植物の寄せ植え教室、 藍染教室、一閑張り 他	7
計			21

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	浴衣着付け体験	2
子育て講座	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	英語体験、体操、野菜収穫体験 他	5
高平成入講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	そば打ち体験 報徳講座	4
高平バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	お灸体験、おせち料理 他	5
計			16

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
石神女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	みそ作り、蝶々のブローチ作り 他	4
石神しあわせ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室、講演会 他	3
ふる里味塾	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、辛味噌作り キムチの素作り 他	5
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	そば打ち体験、クリスマス バスケット作り 他	4
石神親子バラエティ講座	親子で主体的に学習できる場を提供し、体験をとおして知識と教養を高めることを目的とする。	流しそうめん、親子ごっこ 英会話、親子タブレット講座	3
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	相馬家霊堂（同慶寺）、陸軍飛行場跡と遺跡巡り 他	4
計			23

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	スポーツ教室、教養講座 健康料理づくり 他	5
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	交通安全教室、健康講座、教養講座 他	7
うまいもの講座	衣食住に役立つもの作りを体験し、創意工夫を凝らした暮らしづくりをめざす。	季節の料理 小物づくり 他	8
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	健康体操	7
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	フラワーアレンジメント、ヒップホップ、料理	3
計			30

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	予定回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切に、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	たのけん体操教室 味噌作り教室 他	6
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	スカットボール、輪投げゲーム、樹木天然記念物巡り 他	6
人生100年時代の学び直し講座	次世代型社会を皆で考え、実現していく講座。世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていくことを目的とする。	防災講座 移動講座（廃炉資料館、高等学校訪問） 他	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	初心者向け編み物教室 フラワーアレンジ 他	6
計			23

⑩生涯学習センター（共通）

事業名	事業目的	配信内容
生涯学習チャンネル 配信事業	みなみそうまチャンネルで生涯学習講座を配信し、いつでも、どこでも、誰でも自ら学ぶ楽しさを実感してもらうことを目的とする。	・おうちヨガ ・体操 ・工作 ・料理 他
計		動画配信予定件数 12

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
歌 声 教 室	ギター伴奏で歌を学ぶ	月1回（第4木曜日）6月～3月	9
計			9

②鹿島生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
かしまヨガ教室	ヨガを学ぶ	月2回（第2・4火曜日）6月～11月	6
計			6

③原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
ペ ン 習 字 教 室	文字の書き方を基礎から学ぶ	月2回（第2・4火曜日）	20
韓 国 語 講 座	韓国語の読み書きを基礎から学ぶ	月2回（第1・3金曜日）	20
計			40

④太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
太田ピクルス倶楽部	季節の野菜で漬物を作る	月 1 回（第 4 水曜日）	12
計			12

⑤大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
ヨガ教室	ヨガを学ぶ	月 2 回（第 1・3 月曜日）	24
計			24

⑥高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
タカヒラフィットネス	ヨガ、ピラティス、体幹トレーニング、筋力トレーニングなど月ごとにトレーニングメニューを変え、運動機能を高める	月 1 回（第 2 日曜日）	10
計			10

⑦石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
石神ズンバ教室	ラテン系の音楽に合わせてながら身体を動かすエクササイズダンス	月 2 回（第 2・4 木曜日）	24
石神健康フラダンス教室	踊りを楽しみながらフラダンスをとおして健康も目指す	月 2 回（第 2・4 水曜日）	24
計			48

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
初級者陶芸教室	陶芸を基礎から学ぶ	月 2 回（第 2・4 木曜日）	20
計			20

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	予定回数
筆ペン教室	筆ペンを使った書き方を基礎から学ぶ	月 2 回（第 1、3 火曜日）	21
計			21

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1	1	1	1	8
パークゴルフ大会				2			2			4
地区運動会等 (地域住民全員参加型スポーツ大会)				1			2			3
ふれあいオリンピック (住民参加型種目別スポーツ大会)						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展				1				2		3
計	-	3	1	6	2	3	5	5	1	26

◆社会教育団体の育成等

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										-
若妻団体										-
婦人団体			1	1		1		2		5
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	-	2	1	4	-	4	1	6	-	18

◆その他の社会教育関係団体（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区行政区長会			○	○	○	○	○			5
計	-	-	3	3	3	3	3	-	-	15

(2) 令和6年度事業実施状況

◆生涯学習講座事業

生涯学習センターが実施する各種学級・講座をとおり、自ら学ぶ楽しさを実感してもらうとともに知識の習得及びスキルの向上を図ることができるよう、生涯学習事業及び社会教育事業を推進する。

①小高生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習する。	フラワーアレンジ教室、茶道教室 他	5
うきふね学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	小高の歴史散策、歯の健康教室 他	4
バラエティ講座	市民が生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	味噌づくり講座、陶芸講座 他	6
健康いきいき講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、健康な身体づくりを目指す。	スポーツ吹矢、ほぐしストレッチ 他	3
一閑張り講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	オリジナルバック作り	3
計			21

②鹿島生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	寄せ植え教室、味噌づくり教室 他	6
ひこばえ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	防災教室、健康体操教室 他	4
絵手紙講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	絵手紙制作	8
パン・洋菓子 講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	パン・洋菓子作り	6
健康料理講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	季節の料理	3
計			27

③原町生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
成人大学 (生涯学習共通事業)	政治、経済、文学、歴史等について大学教授等を招いて豊かな教養を身につける。	方言学、生物学、コンサート、健康講話、社会学、歴史学 他	10
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	健康講話、ハンドケア、ノルディックウォーキング、応急手当 他	9
さわやか学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	睡眠、料理教室、苔玉作り、健康講座 他	8
バラエティ講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	お箏教室、キムチの素作り、絵手紙教室 他	6
計			33

④太田生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	Tシャツで作る布ぞうり カップ de 寿司ケーキ 他	5
楽らく学級	健康な身体作りを通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	ピンポンを楽しもう ニュースポーツ 体の健康について 他	6
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	天然石で作る数珠、プレス レット、和菓子作り	3
レッツトライ講座	「何でも見てやろう、何にでもトライしてみよう」という学習意欲を醸成していただくため、様々な分野の体験型・見学型講座を提供する。	震災施設見学、簡単スマホ 教室、福島第一原子力発電 所見学、防災教室 他	6
アートデザイン講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	クラフトバンドで作る携帯 ケース、収納かご	4
計			24

⑤大甕生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	おもてなし料理教室、 お菓子教室、味噌づくり他	6
はっらっ学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	軽体操、フラダンス、 ノルディックウォーキング 他	5
うまい生き方講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	懐かしい歌を歌おう講座、 相馬地方の方言 他	7
ものづくり講座	市民の生涯にわたる学習活動や多様なニーズに対応するため、教養・趣味の講座を開催する。	陶芸、一閑張り教室 藍染め、リース作り 他	10
計			28

⑥高平生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	浴衣着付け、リラックスヨ ガ、フライパンでパン作り 他	7
子育て広場	子供の健やかな成長を願い、遊びながら楽しい子育てをする方法を学習すると共に子育て中の親同士の情報交流の場をもつ。	英語体験、体操、クリスマ スキャンドルアート体験、 グラスサンドアート体験	4
高平成人講座	健康・政治・経済・歴史・生活に関する情報など幅広くこれからの生活に役立つ知識を身につけられるようにする。	ルアーフィッシング、 そば打ち体験	2
計			13

⑦石神生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
石神女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	紫陽花のブローチ作り、童話の中の世界のお菓子作り みそ作り 他	7
石神しあわせ学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	生け花教室 他	2
ふる里味塾講座	将来に残すべき伝統、そして新たな工夫で食の安全を確保すべく参加者相互の向上とコミュニケーションをはかる。	みそ作り、辛味噌作り キムチの素作り 他	7
石神バラエティ講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	健康フラダンス体験講座、 ハロウィンのブックアレンジメント 他	3
石神歴史散策講座	市民が主体的に学習できる場を提供し、自らの知識と教養を高めることを目的とする。	浦尻貝塚、南相馬市の発掘調査の成果 他	4
計			23

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	教養講座、健康講座、移動研修 他	5
しらゆり学級 (高齢者学級)	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康講座、移動研修 他	7
うまいもの講座	衣食住に役立つもの作りを体験し、創意工夫を凝らした暮らしづくりをめざす。	パッチワーク 季節の料理 他	9
ボディチェンジ講座	健康的な肉体を求め、脱メタボをめざす。	姿勢を正して、呼吸をしよう	7
ゆる育講座	子育て中の母親が安心して子育てできるよう、情報交換の場を設けることを目的とする。	羊毛を使ってひつじをつくろう、親子でヒップホップ、親子で簡単おやつクッキング 他	3
計			31

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	事業目的	主な内容	実施回数
ひばり女性学級	女性として必要な知識・教養を身につけるとともに、仲間とのふれあいを大切にし、人生をより良く生きるために学習することを目的とする。	ヨガ教室、料理教室 報徳講座 他	5
高齢者学級	高齢者に生涯学習を通して地域で生きがいの持てる生活や仲間づくりの機会を提供する。	健康体操、しの笛コンサート、苔玉作り 他	5
人生100年時代の 学び直し講座	世界的な潮流、社会の変容を理解し、毎日の仕事、生活に生かしていく事を目的とする。	震災遺構請戸小見学、原町第一小学校訪問、廃棄物処理施設の見学 等	5
ひばりバラエティ講座	様々なモノ作りを通して、個々の感性を磨くための体験型学習を目的とする。	アロマ&マッサージ、筆ペン教室、フラワーアレンジ等	4
計			19

⑩生涯学習センター（共通）

事業名	事業目的	配信タイトル
生涯学習チャンネル 配信事業	みなみそうまチャンネルで生涯学習講座を配信し、コロナ禍の中でも自ら学ぶ楽しさを実感してもらうことを目的とする。	誰でもできる姿勢改善エクササイズ
		はじめてのフォニックス～英語の読み書きを学ぼう～（Aの発音編）
		はじめてのフォニックス～英語の読み書きを学ぼう～（SとTの発音編）
		セラピストが教えるシンプルハンドマッサージ（腕編）
		クラフトバンドを使った金魚の作り方
		福島県郷土料理「味噌じゃがいも炒め」作り方
		福島県浜通り地域に伝わる郷土料理「フライパンで作るカツオの焼き漬け」
		大根で簡単中華漬け
		スポーツウェルネス吹矢を体験しよう！
		初心者のための基本ヨガ
		簡単いわしのつみれ汁
計		動画配信件数 11

◆学習活動団体育成支援事業

自らの趣味と教養を高めるため、参加者自らが教室の運営に携わり、運営が軌道にのった段階でサークルに移行できるよう活動を支援する。

①小高生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
ズンバ（ZUMBA）教室	エクササイズダンスで健康な身体づくり	月 2 回（毎月第 2・4 日曜日）	23
そば打ち教室	そば打ち	月 1 回（毎月第 1 土曜日）	10
計			33

②鹿島生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
ヨ ガ 教 室	ヨガを学ぶ	6 月～11 月（月 1 回第 2 火曜日）	6
計			6

③原町生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
ペ ン 習 字 教 室	ペン習字を基礎から学ぶ	月 2 回（第 2・4 火曜日）	20
韓 国 語 教 室	韓国語を基礎から学ぶ	月 2 回（第 1・3 金曜日）	19
計			39

④太田生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
太田ピクルス倶楽部	季節の野菜で漬物を作る	月 1 回（第 4 水曜日）	10
計			10

⑤大甕生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
ヨガ教室	ヨガを学ぶ	月 2 回（第 1 ・ 3 月曜日） 4 月～3 月	24
計			24

⑥高平生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
基礎から学ぶ パッチワーク教室	パッチワークの技法を学ぶ	月 2 回（第 2 ・ 4 月曜日） 4 月～3 月	24
計			24

⑦石神生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
石神健康フラダンス教室	踊りを楽しみながらフラダンスをとおして健康も目指す	月 2 回（第 2 ・ 4 水曜日）	22
石 神 ズ ン バ 教 室	ラテン系音楽のエクササイズダンス	月 2 回（第 2 ・ 4 木曜日）	24
計			46

⑧ひがし生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
初 級 者 陶 芸 教 室	陶芸の基礎を活かした作品づくり	月 2 回（第 2 ・ 4 木曜日）	20
計			20

⑨ひばり生涯学習センター

事業名	内 容	実 施 時 期	実施回数
季節の料理教室	地元食材・素材を生かした季節の料理を作る	隔月 1 回（第 2 水曜日）	5
計			5

◆その他の事業（大会、展示会等）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
地区文化祭		1	1	1	1	1		1	1	7
パークゴルフ大会							2			2
地区運動会等 （地域住民全員参加型スポーツ大会）				1			1			2
ふれあいオリンピック （住民参加型種目別スポーツ大会）						1				1
世代間交流事業				1	1	1				3
夏まつり								1		1
冬まつり								1		1
短歌大会・芸能発表大会		2								2
交流会・作品展										-
復興支援コンサート										-
計	-	3	1	3	2	3	3	3	1	19

◆社会教育団体の育成

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
少年団体				1		2				3
青年団体										-
若妻団体										-
婦人団体			1	2		1		2		6
高齢者団体		1		1		1	1	1		5
文化団体		1								1
体育団体				1				3		4
計	-	2	1	5	-	4	1	6	-	19

◆その他の社会教育団体の育成等（事務局設置）

（単位：件）

事業名	小高	鹿島	原町	太田	大甕	高平	石神	ひがし	ひばり	計
市青少年育成市民会議			○	○	○	○	○			5
防犯協会			○	○	○	○	○			5
地区区長会			○	○	○	○	○			5
計	-	-	3	3	3	3	3	-	-	15

(3) 令和6年度生涯学習施設の利用状況

小高区

区 分	生涯学習センター	就業改善センター	コミュニティセンター	計
利 用 件 数	663	0	1	664
利 用 人 数	14,789	0	18	14,807

鹿島区

区 分	生涯学習センター	農村環境改善センター	計
利 用 件 数	620	844	1,464
利 用 人 数	11,740	22,841	34,581

原町区

区 分	原 町	太 田	大 甕	高 平	石 神	ひがし	ひばり	計
利 用 件 数	1,583	435	523	1,183	1,336	1,249	1,732	8,041
利 用 人 数	28,166	5,690	5,373	13,881	14,993	11,879	16,573	96,555

区 分	原町生涯学習センター トレーニング室	労働福祉会館
利 用 件 数	-	592
利 用 人 数	12,853	5,293

※小高区の生涯学習施設の内、小高生涯学習センター「浮舟文化会館」は、平成25年12月16日に再開。
 ※南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンターについては、平成28年3月31日まで閉鎖。

3 南相馬市生涯学習施設一覧

小高区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 44-3049	R C 造 2 F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298 席 第 1 研修室 (91.59 m ²) 第 2 研修室 (91.59 m ²) 第 3 研修室 (15.91 m ²) 第 1 和室 [楽屋] (10 帖) 第 2 和室 [茶室] (20 帖) 多目的室 (89.04 m ²) 創作室 (64.229 m ²) 小高図書館 (161.2 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館 (98.54 m ³) 資料収蔵庫 (119.584 m ²) 事務室 (89.04 m ²)
南相馬市就業改善センター	小高区飯崎字北原 125-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R C 造 2 F 建物 544.32 m ² (1F 317.52 m ²) (2F 226.80 m ²)	事務室 (22.68 m ²) 健康相談室 (22.68 m ²) 娯楽室 (22.50 m ²) 他産業就業研修室 (57.33 m ²) 生活改善実習室 (56.70 m ²) 農業経営研修室 (136.08 m ²) 就業改善相談室 (45.36 m ²)
小高コミュニティセンター	小高区蛭沢字藤沼 50-1 TEL 44-3049 (小高生涯学習センター)	R 造 1 F 建物 276.62 m ²	多目的室 (81.90 m ²) 調理室 (23.94 m ²) 会議室 (36.00 m ²) 図書資料室 (21.00 m ²)

鹿島区

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造一部 4 F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504 席 研修室 [控室] (15 m ²) 研修室 [リハーサル室] (50 m ²) 和室 (8 帖) 鹿島図書館 (120 m ²) I T 室 (48 m ²) 相談室 (23.12 m ²) 事務室 (51.87 m ²)
鹿島農村環境改善センター	鹿島区寺内字迎田 22 TEL 46-1040	R C 造 1 F 建物 998 m ²	大会議室 (360 m ²) 農事研修室 (80 m ²) 農産加工実習室 (68 m ²) 営農相談室 (24 m ²) 生活改善室 (64 m ²) 小会議室 (48 m ²) 事務室 (15 m ²)

原町区

施 設 名	所 在 地	建物構造	施 設 の 概 要
原 町 生 涯 学 習 セ ン タ ー 「サンライフ南相馬」	原町区小川町 322-1 Tel 2 4 - 5 3 2 2	R C 造 一 部 2 F 1,889.47 m ²	集会室 400 席 (補助椅子 103 席含む) 会議室 (66.5 m ²) 研修室 (66.5 m ²) 和室(18 帖) 講習室 1 (54.0 m ²) 講習室 2 (24.6 m ²) 料理実習室 (54.0 m ²) 事務室
太 田 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区益田字塩釜 26 Tel 2 2 - 3 8 2 1	R C 造 1 F 621.21 m ²	和室研修室 (87 m ²) 大会議室 (153 m ²) 研修室 (88 m ²) 料理実習室 (44 m ²) 図書談話コーナー (76 m ²) 資料室、事務室
大 甕 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区大甕字十日迫 26 Tel 2 2 - 3 8 1 0	R C 造 1 F 598.44 m ²	会議室 [和室] (42 帖) 大会議室 (149 m ²) 会議室兼研修室 (96 m ²) 料理実習室 (45 m ²) 資料室 (18 m ²) 図書談話コーナー (22 m ²) 事務室
高 平 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区下高平寺前 155-1 Tel 2 2 - 2 3 0 2	R C 造 1 F 621.50 m ²	大会議室 (152 m ²) 研修室 [和室] (40 帖) 研修室 [洋室] (88 m ²) 料理実習室 (48 m ²) 図書談話コーナー (88 m ²) 事務室
石 神 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区石神字坂下 29 Tel 2 2 - 3 4 2 1	R C 造 1 F 617.28 m ² (建築年 S 5 4 年)	大会議室 (182 m ²) 研修室 [和室] (48 帖) 研修室 [洋室] (72 m ²) 料理実習室 (49 m ²) 図書談話コーナー (31 m ²) 事務室 (54 m ²)
ひ が し 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区高見町二丁目 30-1 Tel 2 4 - 1 4 9 0	R C 造 1 F 497.96 m ²	和室会議室 (102.85 m ²) 研修室 [洋室] (96.5 m ²) 料理実習室 (43.5 m ²) 陶芸室 (119.25 m ²) 図書談話コーナー (44.1 m ²) 事務室
ひ ば り 生 涯 学 習 セ ン タ ー	原町区本陣前三丁目 60-2 Tel 2 5 - 3 5 7 7	鉄骨造 1 F 860.00 m ²	エントランスホール (78 m ²) メディアホール (60 m ²) 学習室 [和室] (99 m ²) ボランティア室 (30 m ²) 学習室 (72 m ²) 多目的ホール (204 m ²) 調理室 (36 m ²) 創作室 (69.30 m ²) 事務室
南 相 馬 市 労 働 福 祉 会 館	原町区北町 537 Tel 2 4 - 5 3 2 2 (原町生涯学習センター)	鉄骨造 2 F 458.28 m ²	会議室 1 (104.6 m ²) 会議室 2 (81.2 m ²) 和室 1 (10 帖) 和室 2 (10 帖)

4 図書館関係

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
中央図書館 市民情報 交流センター	原町区旭町二丁目 7-1 TEL 23-7789 TEL 23-7796	RC一部 鉄骨造 4F	(中央図書館) 1階一般開架室 (1,227 m ²) 事務室 (108 m ²) 1階児童開架室 (297 m ²) 2階一般開架室 (740 m ²) 1～3階書庫 (477 m ²) 研修室 (77.6 m ²) 閲覧席 620 席 蔵書収容能力 597,000 点 (市民情報交流センター) マルチメディアホール (180 m ²) 大会議室 (88 m ²) 交流広場 (173 m ²) 中会議室 (54 m ²) 生涯学習広場 (66 m ²) 小会議室 (31 m ²) 事務室 (27.5 m ²) 総合案内 (62 m ²) クラフトルーム (78.6 m ²)
小高図書館 (小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」内)	小高区本町二丁目 89-1 TEL 66-1011	RC造	開架室 (161 m ²) 閲覧席 24 席 蔵書収容能力 38,000 点
鹿島図書館 (鹿島生涯学習センター内)	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	RC造	開架室 (120 m ²) 閲覧席 22 席 蔵書収容能力 19,000 点

(2) 開館日及び開館時間

(令和7年4月1日現在)

施設名	開館時間		休館日
中央図書館	火曜日～金曜日	9時30分～20時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
	土・日・祝日	9時30分～17時00分	
小高図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
鹿島図書館	全日	10時00分～17時00分	毎週月曜日 年末年始 特別整理期間
市民情報 交流センター	火曜日～金曜日	8時30分～20時00分 (※9時00分～20時00分)	毎週月曜日 年末年始
	土・日・祝日	8時30分～17時00分 (※9時00分～17時00分)	

※センター施設の使用時間

(3) 所蔵資料の現況

(令和7年3月31日現在)

資料区分	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
一般図書	227,228 点	15,384 点	8,983 点	1,876 点	253,471 点
児童図書	63,140 点	7,686 点	5,803 点	2,718 点	79,347 点
郷土資料	14,060 点	553 点	369 点	2 点	14,984 点
参考資料	3,155 点	31 点	96 点	1 点	3,283 点
洋書	2,161 点	1 点	0 点	0 点	2,162 点
紙芝居	1,993 点	514 点	111 点	156 点	2,774 点
CD・DVD等	14,130 点	555 点	37 点	277 点	14,999 点
雑 誌	22,378 点	421 点	510 点	123 点	23,432 点
おもちゃ	359 点	2 点	0 点	1 点	362 点
絵 画	268 点	12 点	0 点	5 点	285 点
地図資料	291 点	0 点	0 点	0 点	291 点
デージー (録音図書)	202 点	3 点	0 点	0 点	205 点
パネルアター	35 点	0 点	0 点	0 点	35 点
その他	65 点	1 点	0 点	0 点	66 点
計	349,465 点	25,163 点	15,909 点	5,159 点	395,696 点

※「その他」は主に、館内で利用者に貸出している、再生機や眼鏡等の物品

(4) 令和6年度図書館利用実績

- ・登録件数 32,104 件 (団体登録を含む)
- ・入館者数・貸出利用人数・貸出点数

	中央図書館	小高図書館	鹿島図書館	移動図書館	計
入 館 者 数	176,737 人	10,604 人	9,222 人	15,030 人	211,593 人
貸出利用人数	74,261 人	2,500 人	3,235 人	4,087 人	84,083 人
貸 出 点 数	313,045 点	8,391 点	11,810 点	34,006 点	367,252 点

(5) 令和6年度図書館利用促進事業

【1】定例事業

事業名	実施日・場所	内容	回数	対象	参加者数
ライブラリーシアター	毎月第2土曜日 マルチメディア ホール	大型スクリーンで映画を楽しむとともに図書館利用促進のため映画会を開催	12 回	一般	533 人
お は な し 会 (市民団体主催)	毎月第3土曜日 おはなしの蔵	「絵本と童話の会」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	12 回	3 歳～ 小学生 保護者	148 人
お は な し 会 (図書館主催)	毎週土曜日 おはなしの蔵	図書館職員により、読み聞かせや手あそびなどを実施	36 回	3 歳～ 小学生 保護者	450 人
おはなしのへや (市民団体主催)	毎月第2木曜日 ちいさなおはなしのへや	「ちゅうりっぷ文庫」の協力により、読み聞かせや手あそびなどを実施	12 回	乳幼児 保護者	240 人
ブックスタート	毎月1回 原町保健センター	絵本をきっかけに、親子のふれあいと赤ちゃんの心と言葉の発達を手助けする事業として実施	12 回	10 か月児 検診受診者 保護者	284 組 618 人

【2】子ども読書週間特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
おすすめ本展示	4月10日 ～5月19日 子ども図書館	幼児、小学校低学年～中学年、中学年～高学年を対象に紹介文をつけたおすすめ本を80冊程度展示	児童	-

【3】夏休み特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
たなばた工作&おはなし会	7月6日 クラフトルーム おはなしの蔵	七夕飾りを作成し、笹に飾りつけをする工作会と七夕にちなんだ絵本の読み聞かせをするおはなし会を実施	児童	16人 (子ども7人、 大人9人)
絵本作家はたこうしろうさんと世界にひとつだけの絵本を作ろう！	7月14日 クラフトルーム	絵本作家はたこうしろうさんを講師に、絵本を作るワークショップを開催	児童	36人 (子ども17人、 大人19人)
手づくり絵本コンテスト	募集期間 7月20日 ～9月29日 延期後 10月15日まで 審査日 10月18日 結果発表日 11月1日 表彰式 11月23日 展示期間 12月1日～28日	児童（小学生まで）に向けた手づくり絵本コンテストを開催。大賞・特別賞は印刷、製本し、公共図書館、学校図書館に所蔵	児童	13人 (22作品)
毎日おはなし会	7月20日 ～8月21日 おはなしの蔵	夏休み期間、毎日おはなし会を実施（全26回）	児童	388人
2024 夏のおすすめ本	8月1日 ～9月29日 中央図書館1階 企画棚 (アクリル棚)	図書館職員のおすすめ本を紹介文と一緒に展示	一般	-
子どもえいが会	8月3日、17日 おはなしの蔵	子ども図書館で子ども向け映画会を実施 3日：シルバニアファミリー／フレアのハッピーダイアリー1 17日：シナぷしゅ THE MOVIE ぷしゅほっぺにゅうワールド	児童	3日：28人 17日：19人
フィルムコート教室	8月4日 クラフトルーム	持参した本に透明なコートをかけるイベントを開催	一般	12組 (19人)
小学生のための読書感想文教室	8月9日、10日 研修室	桜の聖母生涯学習センターより講師を招き、読書感想文の書き方のコツを学び下書きを完成させる講座を開催	小学生	21人

平和のおはなし会	8月17日 おはなしの蔵	戦争や平和をテーマとしたおはなし会を実施 (絵本と童話の会が読み手)	児童	10人 (子ども7人、 大人3人)
英語と日本語のおはなし会	8月18日 おはなしの蔵	学校教育課シェリーさんと図書館職員による英語と日本語のおはなし会を実施	児童	23人 (子ども13人、 大人10人)
ジオラマで電車を走らせよう！	8月24日 中央図書館新刊棚横 (ジオラマ展示 8月1日～31日)	展示しているジオラマを使用し、特急ひたちやきかんしゃトーマスの電車を走らせるイベントを開催	一般 児童	30人
ライブラリーコンサート	8月31日 中央図書館雑誌コーナー	ラールゴ会による声楽とピアノのコンサートを開催	一般	80人

【4】読書週間企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
赤ちゃんの手形アート教室	10月20日 クラフトルーム	赤ちゃんの手形・足形を取ったアート絵本を作るイベントを実施。あわせておはなし会も実施	乳幼児 保護者	17組 (44人)
古本市	11月2日、3日 交流広場・大会議室	保存年限を超過した雑誌などの除籍資料を利用者に配布する古本市を実施 公共施設向け事前閲覧会 10月30日、10月31日	一般 児童	約400人
Out of kidzania ふくしま相双2024	11月9日、10日 研修室・子どもカウンター・一般カウンター	同事業の仕事体験場所の1か所として、図書館司書の体験を行う事業を開催	児童	31人

【5】冬休み特別企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
子どもえいが会	1月4日 おはなしの蔵	子ども図書館で子ども向け映画会を実施 シルバニアファミリー/フレアのハッピーダイアリー2	児童	12人

【6】その他企画事業

事業名	実施日	内容	対象	参加者数
ライブラリーコンサート～物語と音楽の世界～	5月19日 中央図書館雑誌コーナー	当市在住の出演者による朗読とピアノ演奏を組み合わせたコンサートを開催	一般	約100人
手話で楽しむおはなし会	10月5日 クラフトルーム	図書館司書が絵本の読み聞かせを行い、同時に手話サークル「みみずく」に手話で絵本の内容を表現してもらうおはなし会を開催	一般 児童	24人 (大人12人、 子ども12人)

南相馬ふるさと検定 第2回公認検定	11月24日 マルチメディアホール	NPO 法人はらまちクラブとの共催で、 南相馬ふるさと検定 第2回公認検定を開催	一般	25 人
小学生司書1日体験！	12月7日 研修室	小学校4年から6年を対象として、 図書館司書の仕事を体験するイベントを開催	児童	10 人
絵本作家ましませつこ先生講演会	12月8日 マルチメディアホール	「絵本とわらべうたと私〜わたりむつこさんとの共作を中心として〜」という演題で、絵本作家ましませつこ先生の講演会を開催	一般	64 人
本の福袋 2024	12月26日 ～1月11日 中央図書館新刊棚付近	袋ごとにテーマを設定し、資料3点が入っている福袋の貸出を実施 ※100袋作成	一般	100 袋すべて貸出
絵本専門士のおはなし会	2月9日 クラフトルーム	絵本専門士の田中雄人氏を講師に迎え、絵本の読み聞かせを実施	児童 一般	24 人 (子ども13人、 大人11人)
絵本で育む！親子でコミュニケーション	2月9日 大会議室	絵本専門士の田中雄人氏を講師に迎え、保護者を対象とした絵本講座を開催	一般	15 人 (大人12人、 子ども3人)
つじあやのライブ リーコンサート	2月16日 中央図書館雑誌コーナー	シンガーソングライターつじあやのさんによるウクレレ弾き語りコンサートを開催。あわせて絵本の読み聞かせ、司書とのクロストークを実施	一般 児童	154 人
図書館バッグ教室	2月22日 クラフトルーム	布に書けるペンやクレヨン等を使用し、自分だけの図書館バッグを作るイベントを開催。あわせておはなし会も実施	児童	23 人
Mr.ジェリーのバイリンガルおはなし会	3月1日 おはなしの蔵	絵本作家・翻訳家・絵本講師のジェリー・マーティンさんを講師に、英語と日本語のおはなし会を開催	児童	49 人 (子ども24人、 大人25人)
Mr.ジェリーの絵本講座ー絵本『はるのおさんぼ』ができるまでー	3月1日 クラフトルーム	絵本作家・翻訳家・絵本講師のジェリー・マーティンさんを講師に、絵本が出来る過程を学べる講座を開催	一般	17 人 (大人15人、 子ども2人)
高齢者向けの読み聞かせ講座 ～元アナウンサーによる滑舌トレーニング～	3月9日 大会議室	絵本専門士・元アナウンサー杉上佐智枝氏を講師に招き、高齢者への読み聞かせについて学ぶ講座を開催	一般	26 人
第19回図書館連続講演会「地域資料を使いこなす～地域を豊かにするために～」	3月16日 大会議室	元小平市中央図書館長であり、日本図書館協会認定司書である蛭田廣一氏を講師に迎え、小平市図書館の事例を中心に、地域資料について考える講演会を開催	一般	23 人
イチからつくる、錫のデザートスプーン 溶かして流して叩いてつくろう	3月29日 クラフトルーム	東京藝術大学 OB 塚田尚三氏・伊良原満美氏による錫を利用し、デザートスプーンを作るワークショップ（小学5年生以上対象）を開催	一般	21 人

(6) 企画展示

区 分	内 容
通年企画	・東日本大震災 ・映画化、ドラマ化、原作本特集 ・大人の嗜み ・視覚・聴覚障がい資料 ・いま、輝ける自分 ・コメディカル ・ロボット ・原発事故 ・これからの南相馬を考える ・闘病記文庫 ・冠婚葬祭 ・デイジー図書（録音図書） ・資格試験
タイムリー企画	・EARTH DAY-「地球の日」(4月～5月) ・自閉症啓発週間(4月～5月) ・相馬女子高同窓会寄贈資料展(4月～5月) ・物価高に負けない暮らし方(4月～5月) ・「食」へのヒント(6月～7月) ・フランスの本棚(6月～7月) ・晴れたら何する？(6月～7月) ・キャンプは頑張ればもっと面白くなる(8月～9月) ・夜をたのしむ(8月～9月) ・ジオラマ展示(8月) ・縄文みなみそうま(9月～11月) ・共に生きともに歩もう認知症(9月) ・Café in Library(2月～3月) ・みんなのおうち(10月～11月) ・天高く(10月～11月) ・クリスマス(11月～12月) ・追悼谷川俊太郎(11月) ・いろんな言葉(12月～1月) ・スペシャル福袋(12月～1月) ・まだ1度も借りられていない本(12月～1月) ・やわらかくする(12月～1月) ・年賀状(12月～1月) ・大河ドラマべらぼう(1月～) ・グラフィックデザイナーの INSIDE OUT 展(2月) ・お金と経済のはなし(2月～3月) ・魚じゃない海の生き物(2月～3月)
児童企画	・春(3月～5月) ・卒業・入学(3月～4月) ・こいのぼり(4月～5月) ・運動会(4月～5月) ・お母さん(4月～5月) ・雨(5月～6月) ・歯と口の健康週間(5月～6月) ・お父さん(5月～6月) ・七夕(6月～7月) ・はたこうしろうさんの本(6月～7月) ・夏(7月～8月) ・戦争・平和(7月～8月) ・自由研究・工作(7月～8月) ・読書感想文・作文・課題図書(7月～8月) ・絵本づくりにおすすめの本(8月～9月) ・月(8月～9月) ・秋(9月～11月) ・おじいちゃん・おばあちゃん(9月) ・ハロウィーン(10月～11月) ・読書週間(10月～11月) ・冬(11月～2月) ・〇〇の秋(11月～12月) ・クリスマス(11月～12月) ・お正月・干支(12月～1月) ・節分・鬼(1月～2月) ・バレンタイン・チョコ(1月～2月) ・ひなまつり(2月～3月) ・震災・防災(2月～3月) ・Mr. ジェリーの絵本(2月～3月) ・声に出して読みたい本(3月) ・卒業・入学(3月～4月)

(7) 学校図書館支援事業

①事業目的

小中学校の学校図書館における自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するために、各学校に配置された学校司書と連携して学校図書館の整備や利用促進を図った。

また、学校図書館サポート職員 2 名を置き、資料の搬送に係る連絡調整、学校図書館の巡回、学校図書館整備など業務の援助、研修等を行った。

②学校司書数（学校教育課所属）

14 名

③勤務校及び勤務日

【小学校】

学 校 名	勤 務 日
原町第一小学校	月・火・水・木・金
原町第二小学校	月・火・水・木・金
原町第三小学校	月・火・水・木・金
高 平 小 学 校	月・火・水・木・金
大 甕 小 学 校	月・火・水・木・金
太 田 小 学 校	月・火・水・木・金
石神第一小学校	月・火・水・木・金
石神第二小学校	月・火・水・木・金
鹿 島 小 学 校	月・火・水・木・金
上 真 野 小 学 校	月・火・水・木・金
小 高 小 学 校	月・火・水・木・金

【中学校】

学 校 名	勤 務 日
原町第一中学校	月・火・水
原町第二中学校	月・火・水
原町第三中学校	木・金
石 神 中 学 校	木・金
鹿 島 中 学 校	月・火・水
小 高 中 学 校	木・金

④業務内容

- ・ 図書館資料の受入、装備、貸出
- ・ レファレンスサービス
- ・ 資料選書の補助
- ・ 図書委員会活動の支援
- ・ 図書館情報等の広報活動
- ・ 予約、リクエスト
- ・ 利用案内の作成、掲示
- ・ 貸出統計、利用統計
- ・ 単元に基づく学習支援
- ・ 学校図書館支援事業報告書作成 など

⑤図書館からの支援

- ・学校司書研修の企画・実施
- ・外部講師による研修の企画・立案
- ・県立図書館などで開催される研修、先進地視察の図書館職員同行
- ・学校図書館支援事業報告書の作成
- ・学校図書館整備の援助
- ・資料装備 など

⑥図書館から学校図書館への団体貸出

	令和6年度（令和5年度）
小学校	13,435 冊（12,387 冊）
中学校	2,744 冊（2,491 冊）

(8) 移動図書館管理運営事業

移動図書館車を運行して、市民が身近なところで等しく図書館を利用できるアウトリーチサービスを実施した。

【1】運行場所 公営住宅、幼稚園・保育園、図書館まで距離のある地域の拠点施設等

【2】運行日 週4日（火曜日～金曜日）

【3】巡回日程

No.	区分	名称	巡回予定	区分別
1	幼稚園・保育園・こども園	大甕幼稚園(原町)	第2水曜日 10:00 ~ 11:00	17か所
2		青葉幼稚園(原町)	第2火曜日 13:00 ~ 13:30	
3		原町みなみ幼稚園(原町)	第2火曜日 10:00 ~ 11:00	
4		さゆり幼稚園(原町)	第4金曜日 10:00 ~ 11:00	
5		あずま保育園(原町)	第2水曜日 9:30 ~ 10:30	
6		よつば保育園(原町)	第1火曜日 10:00 ~ 11:00	
7		原町聖愛こども園(原町)	第2金曜日 10:00 ~ 11:00	
8		聖愛ちいろば園(原町)	第2金曜日 11:00 ~ 11:30	
9		原町子育て支援センター(原町)	第4木曜日 10:30 ~ 11:30	
10		鹿島子育て支援センター(鹿島)	第1木曜日 10:30 ~ 11:30	
11		鹿島幼稚園(鹿島)	第3木曜日 10:00 ~ 11:00	
12		おだか認定こども園(小高)	第1水曜日 10:00 ~ 11:00	
13		かみまの保育園(鹿島)	第4火曜日 10:00 ~ 11:00	
14		かしま保育園(鹿島)	第4水曜日 10:00 ~ 11:00	
15		高平幼稚園(原町)	第2木曜日 10:00 ~ 11:00	
16		みなみそうまペンギン国際幼児園(原町)	第3水曜日 10:00 ~ 11:00	
17		※まていの里のこども園(飯館)	第3火曜日 10:30 ~ 11:30	
18	公営住宅	西川原第一団地(鹿島)	第2・第4金曜日 14:15 ~ 15:00	10か所
19		西川原第二団地(鹿島)	第2・第4金曜日 15:15 ~ 16:00	
20		西町団地(鹿島)	第2・第4金曜日 13:00 ~ 13:45	
21		萱浜団地(原町)	第2・第4火曜日 14:30 ~ 15:15	
22		小高上町団地(小高)	第2・第4水曜日 13:30 ~ 14:15	
23		小高東町団地(小高)	第2・第4水曜日 14:45 ~ 15:30	
24		県営上町団地(原町)	第1・第3火曜日 13:30 ~ 14:15	
25		県営牛越団地(原町)	第1・第3火曜日 14:45 ~ 15:30	
26		県営南町団地(原町)	第1・第3木曜日 13:30 ~ 14:15	
27		県営北原団地(原町)	第1・第3木曜日 14:45 ~ 15:30	
28	集会所や公共施設	※高松ホーム(原町)	第3木曜日 14:30 ~ 15:30	14か所
29		彩りの丘(小高)	第4木曜日 10:00 ~ 11:00	
30		太田生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 10:00 ~ 11:00	
31		大甕生涯学習センター(原町)	第1・第3金曜日 14:30 ~ 15:30	
32		石神生涯学習センター(原町)	第1・第3水曜日 13:00 ~ 14:00	
33		高平生涯学習センター(原町)	第1・第3水曜日 15:00 ~ 16:00	
34		※かしま交流センター(鹿島)	第2・第4木曜日 13:30 ~ 14:15	
35		※前川原体育館前(鹿島)	第2・第4木曜日 14:45 ~ 15:30	
36		※小高区サロン(小高)	第3水曜日 10:00 ~ 11:00	
37		※鹿島区福祉サービスセンター(鹿島)	第4金曜日 13:30 ~ 14:00	
38		みんなの遊び場(鹿島)	第4金曜日 14:00 ~ 15:00	
39		※すみれデイサービス(鹿島)	第4金曜日 14:00 ~ 15:00	
40		※福寿園(原町)	第2火曜日 14:00 ~ 15:00	
41		NIKOパーク(小高)	第2木曜日 14:00 ~ 15:00	

※:配本車による運行

41か所

(9) 令和6年度市民情報交流センター施設使用実績

区 分	マルチメディアホール	大会議室	中会議室	小会議室	クラフトルーム	計
申請件数	75件	125件	148件	185件	71件	604件
使用人数	9,774人					9,774人

(10) 令和6年度埴谷・島尾記念文学資料館事業内容

【1】収蔵資料点数

① 埴谷雄高関係資料

種 類	点 数
書 籍	1,281点
原 稿	16点
書	4点
書 簡	57点
写 真	10,000点
蔵 書	7,803点
ビデオ	204点
レコード	157点
※その他	1,002点
合計	20,524点

② 島尾敏雄関係資料

種 類	点 数
書 籍	1,085点
原 稿	5点
書	9点
衣 類	10点
手紙・はがき	190点
※その他	50点
合計	1,349点

③ 小高の人物関係資料

種 類	点 数
鈴木安蔵	160点
半谷清壽	19点
大曲駒村	7点
半谷絹村	4点
豊田君仙子	112点
天野秀延	11点
平田良衛	13点
杉山元治郎	6点
合計	332点

④ その他

種 類	点 数
俳句関係	413点
そ の 他	658点
合計	1,071点

※その他とは、新聞記事の切り抜き等の分類できない資料

【2】入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入館者	68	126	98	79	99	45	69	44	75	59	92	101	955

【3】展示

① 企画展 「鈴木安蔵生誕120周年記念展示」の開催

〔概 要〕 小高区出身の憲法学者「鈴木安蔵」が、令和6年3月に生誕120周年を迎えることから、その業績や面影を多くの方に知ってもらうため、文学資料館内にて企画展を開催した。

〔開催期間〕 令和6年3月5日（火）～5月12日（日）

〔来館者数〕 285人（3月5日～3月31日 147人）
（4月1日～5月12日 138人）

〔展示資料〕 展示総数26点（内訳）写真13点 著書11点 年譜 家系図

② 企画展 「生誕130周年豊田君仙子展 - 小高の俳句文化 - 」の開催

〔概 要〕 小高区出身の俳人「豊田君仙子」（本名：豊田秀雄）が、令和6年（生誕日不明）に生誕130周年を迎えることから、その業績や作品を多くの方に知ってもらうため、文学資料館にて企画展を開催した。

〔開催期間〕 令和6年12月7日（土）～3月23日（日）

〔来館者数〕 317人

〔展示資料〕 展示総数30点 （内訳）掛け軸1点 丸額2点 色紙6枚 短冊6枚
額装1点 著書1点 島尾敏雄氏著書1点
はがき9点 写真1点 福島県内句碑一覧 年譜

【4】展示以外の企画

企画ツアー「おだか文学散歩」の開催

〔概 要〕 本市にゆかりのある現代文学作家「埴谷雄高」と「島尾敏雄」の2名について、どのようなゆかりがあるのか関係箇所をたずね歩き、現地を見ながら説明を行うことで、参加者に知ってもらう。

〔開催日〕 令和6年11月23日（土・祝）

〔参加数〕 12人（うち講師・スタッフ2名）

〔ルート〕 埴谷・島尾記念文学資料館 出発 → 島尾家墓所（大井地内）
→ 般若雄高本籍地付近（岡田地内） → 豊田君仙子句碑（福岡地内）
→ 縄文の丘公園（浦尻貝塚） → 埴谷・島尾記念文学資料館 着

【5】共催

鈴木安蔵先生生誕120周年記念事業「鈴木安蔵先生を語る会」

〔概 要〕 小高区出身の憲法学者である「鈴木安蔵」の理念や研究史を、4名のパネラー（立正大学名誉教授：金子勝氏 他3名）により紹介した。

〔主 催〕 鈴木安蔵を讃える会

〔開催日〕 令和6年8月7日（水）

〔開催場所〕 小高生涯学習センター「浮舟文化会館」

〔参加数〕 50人

5 文化振興関係

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
芸術文化協会等事業補助金	○市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 南相馬市芸術文化協会 ・内 容 文化祭、情報紙発行、芸能発表大会、短歌大会、各区芸術文化協会事業の開催 ・補助金額 1,743千円 / 定額 ※令和元年7月17日に小高区芸術文化協会、鹿島区文化協会、原町区芸術文化協会が統合し「南相馬市芸術文化協会」を設立したことから、南相馬市芸術文化協会へ補助金を交付。
地域文化振興助成事業補助金	○市民の芸術文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇事業主体 市内の個人又は団体 ・補 助 率 全額又は1/2以内（補助額 の上限及び回数制限あり） ・対象事業 成果発表、大会出場・出品・派遣、 地区文化祭、文化財保護等 ※対象事業の拡充（文化財の保護事業の範囲に「相馬地方の民謡・民踊」を追加。） ◇文化団体の成果発表事業等への助成 地区文化祭 5件、成果発表 10件 文化財 2件、大会出場 2件 計 19件
学校等市民文化会館利用支援補助金	○学校等の芸術文化及び教育活動の振興を図るため、行事等で市民文化会館を利用する学校等に対し、利用料金の一部を補助する。	◇事業主体 市内の幼稚園、保育園、小中学校、高等学校等 ・補 助 率 全額又は1/2以内 (回数制限あり) ・対象経費 学校行事、部活動で市民文化会館を利用した際の施設利用料金及び附属設備利用料金 ・予定件数 9件 (学校行事4件、部活動3件、園行事2件)
ふるさと民俗芸能伝承事業	○伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「民謡・盆踊り」の伝承事業に対する講師派遣支援
文化芸術ふれあい事業	○市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動拠点とする民間団体等や市民アートサポーターと協力しながら創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇アーティスト・イン・レジデンスみなみそうま2025 ※招へいアーティストが市内に滞在し、市にちなんだアート作品を制作・展示する。 ※市民アートサポーターや市民との交流事業を実施する。 【作品制作・展示期間】 令和7年8月～10月の2週間程度(予定) 【制作展示場所】 市内公共施設等 【アーティスト】 4名程度を募集決定 【交流事業】 アート作品の一般公開、ワークショップ トークイベント等

事業名	事業目的	事業内容
第18回南相馬市総合美術展覧会	○美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇第18回南相馬市総合美術展覧会の開催 ・会期 令和7年11月15日(土)～18日(火) 予定 ・会場 小川町体育館 ・部門 一般：日本画・洋画・書・彫刻工芸・写真 小中学生：平面・立体作品・書・技術家庭 ◇展覧会表彰式 ◇ワークショップの実施

(2) 令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
芸術文化協会等事業補助金	○市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化の普及を行う団体に対し、補助金を交付する。	◇文化芸術団体が実施する文化事業に対する補助 《鹿島区文化協会》 みちのくの万葉の里短歌大会【誌上大会】 ・応募数 83首 ・賞 最優秀賞1首 優秀賞5首 芸能発表大会 ・期 日 令和6年6月30日(日) ・出演 13団体 ・観客数 473名 鹿島区文化祭 ・期 日 令和6年10月12日(土)～13日(日) ・会場 鹿島農村環境改善センター(万葉ふれあいセンター) ・展示数 942点 ・観客数 817人 鹿島区加盟団体情報紙発行 ・発行日 令和7年2月15日 《原町区芸術文化協会》 情報紙 芸文協だより発行(第84号、第85号) 機関紙 「会報」発行(第56号) 文化祭 ・期 日 令和6年11月9日(土)～10日(日) ・会場 市民文化会館(ゆめはっと) ・出演 7団体 ・観客数 1,048人 《小高区芸術文化協会》 文芸美術作品展 ・期 日 令和6年10月12日(土) ・会場 浮舟文化会館 ・出展 3団体 ・観客数 延べ345人
地域文化振興助成事業補助金	○市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等に対し、補助金を交付する。	◇文化団体の成果発表事業等へ補助 地区文化祭 5件 成果発表 9件 大会出場 1件 文化財 2件 計17件

事業名	事業目的	事業内容
学校等市民文化会館利用支援事業補助金	○市内学校の芸術文化活動を支援するため、学校行事等で市民文化会館を利用する際の利用料金の一部を補助する。	◇市民文化会館施設利用料金及び附属設備 利用料金の一部を補助 学校行事 5件 部活動 3件 園行事 2件 計10件
ふるさと民俗芸能伝承事業	○伝統芸能の保存伝承と後継者育成を図るため、伝承活動を支援する。	◇ふるさと民俗芸能伝承事業 小中学校における「相馬流れ山踊り」ほか伝承事業に対する講師派遣 ・原町第三小学校 「相馬二遍返し、相馬流れ山、宝財踊り」 参加生徒 延べ 343人 ・石神第一小学校 「相馬盆踊り（相馬盆唄）」 参加生徒 延べ 68人
文化芸術ふれあい事業	○市民が芸術文化にふれる機会の充実と芸術文化による新たなまちづくりの契機とするため、本市を活動の拠点とする民間団体等と協力しながら、創造的な芸術文化活動を実施し、市内の芸術文化の振興を図る。	◇トークイベント 【プレイバック AIR みなみそうま群青小高】 令和5年度に開催したアーティスト・イン・レジデンスの参加アーティストと市民アートサポーターによるトークイベントを開催した。 また、トークイベントは、南相馬市 YouTube でライブ配信した。 期 日 令和6年6月30日（日） 会 場 小高交流センター 南相馬市 YouTube（ライブ配信） 参加者 令和5年度参加アーティスト3名 市民アートサポーター4名 ◇市民アートサポーターとアーティストの交流 ※市民アートサポーターとアーティストが交流しながら作品制作、展示等を行う。 【アーティスト・イン・レジデンス みなみそうま群青小高 2024】 市外アーティストを招へいし、小高区に滞在するなかで小高をイメージしたアート作品を制作し展示会等を開催。 ・作品制作及び展示等期間 令和6年8月から10月中、アーティストの希望期間により、各々活動し作品制作及び展示等実施。 ・展示会 令和6年10月11日（金） ～14日（日） ・招へいアーティスト 4名
第17回南相馬市総合美術展覧会	○美術・芸術への理解と関心を高めるとともに、創作活動を促し、美術・芸術の振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品を集め、展覧会を開催する。	◇展覧会 ・会 期 令和6年11月16日（土） ～19日（火） ・会 場 小川町体育館 ◇表彰式 ・開 催 日 令和6年11月17日（日） ・会 場 小川町体育館 ◇ワークショップ ・開 催 日 令和6年11月16日（土） ～19日（火） ・会 場 小川町体育館 ・内 容 洋画ワークショップ

(3) 文化施設一覧

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
南相馬市民文化会館	原町区本町二丁目 28-1 TEL 25-2763	R C 造 (地上4階、地下1階) 7,536.71 m ²	大ホール 客席 1階席 721席 2階席 388席 多目的ホール 椅子席 120人 (スクール形式 80人) 練習室 5室 楽屋 6室 スタジオ 1室 ギャラリー 1スペース 事務室 2室
鹿島生涯学習センター	鹿島区寺内字迎田 22-1 TEL 46-5116	R C 造一部 4 F 建物 2,008.49 m ²	ホール 504席 研修室 [控室] (15 m ²) 研修室 [リハーサル室] (50 m ²) 和室 (8帖) 鹿島図書館 (120 m ²) I T 室 (48 m ²) 相談室 (23.12 m ²) 事務室 (51.87 m ²)
小高生涯学習センター 「浮舟文化会館」	小高区本町二丁目 89-1 TEL 44-3049	R C 造 2 F 建物 2,463.77 m ² (1F 1,954.33 m ²) (2F 509.44 m ²)	ホール 298席 第1研修室 (91.59 m ²) 第2研修室 (91.59 m ²) 第3研修室 (15.91 m ²) 第1和室 [楽屋] (10帖) 第2和室 [茶室] (20帖) 多目的室 (89.04 m ²) 創作室 (64.229 m ²) 小高図書館 (161 m ²) 埴谷・島尾記念文学資料館 (98.54 m ²) 資料収蔵庫 (119.584 m ²) 事務室 (89.04 m ²)

(4) 芸術文化団体 (南相馬市芸術文化協会)

(令和7年5月1日現在)

構成団体名 領域	小高区芸術文化協会		鹿島区文化協会		原町区芸術文化協会		計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
文 芸	1	18			1	29	2	47
生活文化			4	69	2	169	6	238
美 術	1	8	1	9	1	12	3	29
音 楽	1	4	7	93	5	78	13	175
舞 踊	7	77	1	6	4	30	12	113
趣 味								
演 劇								
研 究	1	2	1	21			2	23
ダンス	3	71	5	129			8	200
体 操			1	16			1	16
そ の 他								
計	14	180	20	343	13	318	47	841

Ⅶ 歴史文化

1 文化財保護関係

(1) 南相馬市の文化財

(令和7年5月1日現在)

国指定文化財

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	刺繍阿弥陀名号掛幅	重要文化財 (工芸品)	S35. 6. 9	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
2	旧武山家住宅	重要文化財 (建造物)	S46. 3. 11	原町区 北原	南相馬市
3	桜井古墳	史 跡	S31. 11. 7	原町区 上渋佐	南相馬市
4	羽山横穴	史 跡	S49. 12. 23	原町区 中太田	南相馬市
5	薬師堂石仏 附阿弥陀堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺ほか
6	観音堂石仏	史 跡	S5. 7. 8	小高区 泉沢	慈徳寺
7	真野古墳群	史 跡	S54. 10. 24	鹿島区 寺内、小池	個人ほか
8	浦尻貝塚	史 跡	H18. 1. 26	小高区 浦尻	南相馬市
9	泉官衙遺跡	史 跡	H22. 2. 22	原町区 泉	南相馬市ほか
10	横大道製鉄遺跡	史 跡	H23. 2. 7	小高区 飯崎	南相馬市ほか
11	相馬野馬追	重要無形 民俗文化財	S53. 5. 22	南相馬市ほか	管理団体 相馬野馬追保存会

国登録有形文化財

No.	名 称	種 別	登録年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	朝日座	建造物	H26. 4. 25	原町区 大町	一般社団法人 朝日座
2	大谷家住宅東蔵・中蔵・門	建造物	H28. 8. 1	鹿島区 析窪	個人
3	高島家住宅コンクリート蔵、門及び塀	建造物	H29. 10. 27	小高区 上町一丁目	個人
4	天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀	建造物	H30. 11. 2	小高区 耳谷	個人
5	太田家住宅主屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵	建造物	H30. 11. 2	原町区 信田沢	個人
6	鈴木家住宅主屋	建造物	H30. 11. 2	小高区 仲町一丁目	個人

国選択民俗文化財（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）

No.	名 称	種 別	選択年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	鹿島日吉神社のお浜下り	風俗慣習	S54. 12. 7	鹿島区 江垂	日吉神社のお浜下り保存会
2	浜通りのお浜下り	風俗慣習	R2. 3. 16	福島県浜通り	特定せず

県指定文化財

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	木造十一面観音立像	重要文化財 (彫刻)	S37. 3. 30	原町区 泉	泉行政区
2	地藏菩薩立像板木	重要文化財 (工芸)	S31. 9. 4	鹿島区 小島田	個人
3	刺繍阿弥陀三尊来迎掛幅	重要文化財 (工芸)	S54. 3. 23	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
4	法然上人像板木	重要文化財 (工芸)	S55. 3. 28	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
5	大名婚礼調度品等	重要文化財 (工 芸)	S62. 3. 27	小高区 小高	同慶寺
6	大悲山文書	重要文化財 (書 跡)	S30. 2. 4	小高区 小高	個人
7	泉廃寺跡出土瓦	重要文化財 (考古資料)	S31. 9. 4	原町区 博物館	南相馬市
8	杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
9	杉阿弥陀堂 木造毘沙門天立像	重要文化財 (彫 刻)	H30. 4. 6	鹿島区 江垂	江垂行政区
10	新祥寺 木造如意輪観音像	重要文化財 (彫 刻)	R7. 3. 28	原町区 本町	新祥寺
11	泉廃寺跡	史 跡	S30. 12. 27	原町区 泉	個人
12	小高城跡	史 跡	S33. 8. 1	小高区 小高	相馬小高神社ほか
13	横手廃寺跡	史 跡	S33. 8. 1	鹿島区 横手	個人
14	横手古墳群	史 跡	S53. 4. 7	鹿島区 横手	個人
15	大悲山の大スギ	天然記念物	S30. 2. 4	小高区 泉沢	慈徳寺
16	泉の一葉マツ	天然記念物	S30. 12. 27	原町区 泉	泉行政区
17	海老浜のマルバシヤリンバイ自生地	天然記念物	S31. 9. 4	鹿島区 南海老	南相馬市
18	初発神社のスダシイ樹林	天然記念物	S44. 4. 11	原町区 江井	初発神社
19	鹿島御子神社の大ケヤキ	天然記念物	R4. 5. 17	鹿島区 鹿島	鹿島御子神社
20	相馬野馬追額	重要有形 民俗文化財	S34. 3. 17	小高区 小高	相馬小高神社
21	蛭沢稻荷神社奉納絵馬地引大漁図 及び和船模型	重要有形 民俗文化財	H8. 3. 22	小高区 下蛭沢	蛭沢稻荷神社
22	旧修験日光院所蔵修験資料	重要有形 民俗文化財	H9. 3. 25	鹿島区 小山田	日光寺
23	紙本著色野馬追図	重要有形 民俗文化財	H12. 3. 31	原町区 博物館	個人
24	相馬野馬追図屏風	重要有形 民俗文化財	H28. 4. 26	原町区 博物館	南相馬市
25	日吉神社のお浜下りと手踊	重要無形 民俗文化財	S53. 4. 7	鹿島区 江垂	日吉神社
26	村上の田植踊	重要無形 民俗文化財	H27. 3. 31	小高区 村上	村上の田植踊保存会

市指定文化財

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
1	裏刳蓋付舟形刳抜石棺	有形文化財	S41. 3. 31	小高区 泉沢	南相馬市
2	平福徳庵筆神馬額	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	相馬太田神社
3	藤田家所蔵文書	有形文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	個人
4	藪内の十一面観音	有形文化財	S43. 2. 1	小高区 上浦	共有
5	龍と唐獅子	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	三嶋神社
6	野馬追図屏風	有形文化財	S45. 11. 12	原町区 本町	個人
7	阿弥陀寺の善光寺式仏像	有形文化財	S48. 12. 20	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
8	浮田の木造聖観音立像	有形文化財	S54. 5. 15	鹿島区 浮田	浮田行政区
9	深鉢「縄文前期関山式併行」	有形文化財	S57. 9. 20	県立博物館	南相馬市
10	上栢窪遺跡出土の縄文土器	有形文化財	S61. 9. 1	原町区 博物館	南相馬市
11	阿弥陀寺の銅鐘	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
12	高台寺式唐草模様懸盤漆塗膳椀	有形文化財	S61. 9. 1	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
13	安養寺の十三仏	有形文化財	S62. 12. 15	鹿島区 小池	安養寺
14	一文字頭本縫丸胴具足	有形文化財	S62. 12. 15	原町区 博物館	個人
15	陣幕	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 塩崎	塩崎行政区
16	北郷の四脚門一括	有形文化財	S63. 12. 15	鹿島区 北海老ほか	個人
17	中村迫の文殊菩薩座像	有形文化財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
18	中村迫の虚空蔵菩薩座像	有 形 文 化 財	H2. 2. 14	小高区 上浦	金性寺
19	下岩崎の聖観音菩薩立像	有 形 文 化 財	H2. 2. 14	小高区 福岡	金性寺
20	曳覆曼荼羅版木	有 形 文 化 財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
21	牛王宝印版木	有 形 文 化 財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
22	弘法大師御影版木	有 形 文 化 財	H6. 6. 9	鹿島区 北海老	宝蔵寺
23	四日市文書	有 形 文 化 財	H7. 7. 13	鹿島区 南柚木	個人
24	中村城小書院板壁画	有 形 文 化 財	H7. 7. 13	原町区 博物館	個人
25	木造聖観音菩薩立像	有 形 文 化 財	H10. 8. 11	鹿島区 江垂	江垂行政区
26	木造薬師如来坐像	有 形 文 化 財	H10. 8. 11	鹿島区 大内	大内行政区
27	八幡大菩薩旗	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
28	能装束	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
29	伝相馬昌胤着用白羅紗地陣羽織	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
30	麻地錆浅葱色大紋	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
31	女房火事装束	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
32	野馬狩の告文	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
33	相馬家系図	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
34	小高城跡採集金鱗片	有 形 文 化 財	H11. 2. 17	小高区 小高	個人
35	火矢野原六字名号石碑	有 形 文 化 財	H11. 6. 25	鹿島区 小池	個人
36	大六天遺跡出土ヘラ書「少穀殿」土器	有 形 文 化 財	H11. 6. 25	原町区 博物館	南相馬市
37	銅製鰐口（正長元年鑄造）	有 形 文 化 財	H12. 2. 1	原町区 江井	個人
38	銅製鰐口（元禄九年鑄造）	有 形 文 化 財	H12. 2. 1	原町区 江井	個人
39	上渋佐 7 号墳出土銅鏡	有 形 文 化 財	H13. 9. 1	原町区 博物館	南相馬市
40	生駒家文書	有 形 文 化 財	H14. 3. 31	小高区 泉沢	個人
41	高平の板石塔婆	有 形 文 化 財	H14. 11. 5	原町区 上高平	白山神社ほか
42	荷渡大権現の板石塔婆	有 形 文 化 財	H14. 11. 5	原町区 北長野	泉龍寺
43	相馬太田神社の板石塔婆	有 形 文 化 財	H14. 11. 5	原町区 中太田	相馬太田神社
44	社号額「大明神」	有 形 文 化 財	H14. 11. 5	原町区 博物館	塩釜神社
45	火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橘公宗	有 形 文 化 財	H17. 3. 31	原町区 押釜	個人
46	黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配、具足櫃、櫃覆	有 形 文 化 財	H17. 3. 31	原町区 博物館	南相馬市
47	文禄四年「俵口橘左衛門宛相馬義胤書状」	有 形 文 化 財	H17. 10. 13	鹿島区 北右田	個人
48	牛河内の木造聖観音立像	有 形 文 化 財	S54. 5. 15	鹿島区 牛河内	牛河内行政区
49	陣太鼓	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	相馬太田神社
50	鳥毛槍	有形民俗文化財	S42. 8. 29	原町区 博物館	相馬太田神社
51	聖石	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 大甕	日祭神社
52	金箔押盛上本小札紺糸威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
53	紺糸威二枚胴具足の兜と大袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 栄町	個人
54	盛上本小札紺糸裾濃威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
55	盛上本小札縹糸威二枚胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
56	切付盛上札色々威二枚胴具足	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
57	色々威胴丸	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
58	紺糸威丸胴および兜と袖	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
59	金箔押盛上本小札緋鹿角紺糸紋	有形民俗文化財	S51. 4. 1	原町区 博物館	個人
60	測量具と量地三略版木	有形民俗文化財	H5. 9. 14	原町区 博物館	南右田神社
61	旧門馬家所蔵火伏せ資料、外火伏せ資料	有形民俗文化財	H10. 8. 11	原町区 博物館	南相馬市
62	小浜千石稻荷神社 地引網漁図絵馬	有形民俗文化財	H21. 4. 10	原町区 小浜	千石稻荷神社
63	北右田の屋敷林	有形民俗文化財	R3. 4. 23	鹿島区 北右田	南相馬市
64	相馬家墓地並びに相馬家霊堂	史 跡	S41. 3. 31	小高区 小高	同慶寺
65	浪岩横穴古墳A群 11 号	史 跡	S41. 3. 31	小高区 泉沢	南相馬市
66	村上城跡	史 跡	S41. 3. 31	小高区 村上	個人ほか

No.	名 称	種 別	指定年月日	所 在 地	所 有 者 等
67	菖蒲沢の野馬土手・高木戸の野馬土手	史 跡	S45. 3. 1	小高区 羽倉	個人
68	小谷津の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 泉沢	個人
69	片草の貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 片草	個人
70	角部内南台の東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 角部内	個人
71	角部内南台の南貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 角部内	個人
72	浦尻の神ノ前貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 浦尻	個人
73	浦尻の北向貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 浦尻	個人
74	浦尻の北原貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 浦尻	個人
75	上浦の加賀後貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 上浦	個人
76	上浦の宮田北貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 上浦	個人
77	上浦の宮田東貝塚	史 跡	S46. 5. 31	小高区 上浦	個人
78	羽山岳の木戸跡	史 跡	S47. 7. 1	原町区 上太田	個人
79	泉の館跡	史 跡	S48. 6. 1	原町区 泉	南相馬市ほか
80	岩屋堂の磨崖仏	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区 塩崎	個人
81	北原古墳群	史 跡	S48. 12. 20	鹿島区 南海老	個人
82	日向横穴群 1 号墓	史 跡	S57. 9. 20	小高区 塚原	個人
83	岩屋堂石仏並びに横穴墓群	史 跡	H6. 1. 26	小高区 吉名	個人
84	桜井古墳群上渋佐 7 号墳	史 跡	H12. 2. 1	原町区 上渋佐	南相馬市
85	野馬土手	史 跡	H14. 11. 5	原町区 上渋佐	南相馬市ほか
86	片草古墳群一里段支群 2 号墳	史 跡	R5. 4. 24	小高区 片草	南相馬市
87	行津の大杉	天 然 記 念 物	S43. 2. 1	小高区 行津	星神社
88	阿弥陀寺の大いちょう	天 然 記 念 物	S48. 12. 20	鹿島区 南屋形	阿弥陀寺
89	日吉神社の大杉	天 然 記 念 物	S48. 12. 20	鹿島区 江垂	日吉神社
90	宝蔵寺の楓と大モミ	天 然 記 念 物	S48. 12. 20	鹿島区 北海老	宝蔵寺
91	山田沼のモリガオガエル生息地	天 然 記 念 物	S48. 12. 20	鹿島区 上栃窪	個人
92	同慶寺のいちょう	天 然 記 念 物	S50. 10. 1	小高区 小高	同慶寺
93	飯崎のしだれ桜	天 然 記 念 物	S57. 9. 20	小高区 飯崎	南相馬市
94	冠嶺神社の樹林一括	天 然 記 念 物	H2. 10. 12	鹿島区 上栃窪	冠嶺神社
95	八坂神社のアカガシ樹林	天 然 記 念 物	H5. 4. 1	原町区 石神	八坂神社
96	上浦のキャラ	天 然 記 念 物	H6. 1. 26	小高区 上浦	個人
97	下大神宮のヒイラギ	天 然 記 念 物	H7. 7. 13	鹿島区 南柚木	下大神宮
98	恐竜の足跡化石産出地	天 然 記 念 物	H9. 4. 17	鹿島区 小山田	個人
99	(新種) 裸子植物ソテツ目の絶滅種化石ニルソニオ・クレイダス・タイラエ／ニルソニオ・クレイダス・ジャボニカス	天 然 記 念 物	H9. 4. 17	原町区 博物館	南相馬市
100	大富のヒイラギ	天 然 記 念 物	H9. 7. 1	小高区 大富	個人
101	小林家のアカガシ	天 然 記 念 物	H13. 6. 4	鹿島区 小池	個人
102	裸子植物ベネチテス目の新種化石キムリエラ・デンシフオリア	天 然 記 念 物	R6. 4. 22	原町区 博物館	南相馬市
103	金谷の獅子舞	無形民俗文化財	S50. 10. 1	小高区 金谷	金谷地区
104	小池の獅子踊り	無形民俗文化財	S62. 12. 15	鹿島区 小池	小池地区
105	中村藩日置流印西派弓組	無形民俗文化財	S63. 12. 15	鹿島区 塩崎	中村藩日置流印西派弓組保存会
106	北萱浜の天狗舞	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区 北萱浜	北萱浜神楽愛好会
107	馬場の神楽七芸	無形民俗文化財	H7. 5. 1	原町区 馬場	馬場民俗芸能保存会
108	鹿島御子神社の火伏せ祭りと天灯籠神事	無形民俗文化財	R4. 4. 25	鹿島区 鹿島	鹿島御子神社

(2) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	○文化財を指定し、保護・保存を図る。	◇市指定文化財候補を調査し、価値を有する場合は、文化財指定を行う。 ◇文化財保護審議会の開催 3回
文化財保護事業	○市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	◇建造物調査 須田家住宅、小林眼科
文化財活用事業	○市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	◇文化財案内、出前講座等の実施 ◇羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年4回(4・5・9・10月)
指定文化財保存管理事業	○指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	◇桜井古墳公園等の保存管理 ◇泉の一葉マツの保存管理
文化財利活用推進事業	○「南相馬市歴史文化基本構想」に基づき文化遺産を適切に保存活用するため、案内看板の設置や史跡等パンフレット作成、文化遺産サポーターによる案内等を行う。	◇案内看板の設置(塩崎の磨崖仏) ◇羽山横穴等パンフレット作成 ◇浦尻貝塚でのイベント(工作教室・土器づくり講座) ◇浦尻貝塚案内用及び文化財案内パンフレットの印刷 ◇文化遺産サポーターによる案内等
民俗芸能保存伝承事業	○市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	◇第19回南相馬市民俗芸能発表会の開催 ◇浜通りのお浜下り調査
市内遺跡発掘調査事業	○市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	◇試掘調査 三島町遺跡ほか5件 調査原因 庁舎建設、太陽光発電施設、ほ場整備等 ◇整理調査 梨木西館跡5次 ◇調査報告書1冊刊行 300部
浦尻貝塚史跡公園整備事業	○国指定史跡である浦尻貝塚の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇整備検討委員会の開催 年2回 ◇映像音声ガイダンス制作業務 ◇史跡名称柱設置業務 ◇公園台帳整備 ◇ガイダンス施設用備品購入
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	○国指定史跡である泉官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇保存整備指導委員会の開催 年2回 ◇郡庁院復元建物建設工事 79.38㎡ ◇ガイダンス施設基本・実施設計
大悲山石仏保存修理事業	○国指定史跡である大悲山石仏の保存と活用を図るため、保存環境の改善を行う。	◇保存整備指導委員会の開催 年2回 ◇薬師堂石仏等環境調査 ◇薬師堂石仏発掘調査 ◇薬師堂石仏断面測量調査 ◇薬師堂石仏形状調査 ◇薬師堂石仏侵入樹根調査 ◇観音堂石仏覆屋修繕
旧武山家住宅保存修理事業	○国指定文化財「旧武山家住宅」の修理が必要であるため、保存修理工事基本計画策定業務を実施する。	◇保存修理工事基本計画策定業務
県立特別支援学校建設関連発掘調査事業	○県立特別支援学校建設に伴い、実施した発掘調査の成果周知のため、発掘調査報告書を刊行する。	◇調査報告書 1冊刊行 300部 (鷲内遺跡 調査面積約 6,500㎡)

事業名	事業目的	事業内容
相馬野馬追保存会	○相馬野馬追の保存伝承を図る。	◇甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ◇相馬流れ山踊の伝承公開 担当中ノ郷、山中郷（南相馬原町区・飯舘村） ◇相馬野馬追保存会総会の開催 1回 ◇相馬野馬追保存専門委員会の開催 2回

（３）令和６年度事業実施状況

事業名	事業目的	事業内容
文化財保護審議会	○文化財を指定し、保護・保存を図る。	◇文化財保護審議会 3回 ◇木造如意輪観音菩薩坐像の県指定
文化財保護事業	○市内に残る文化財等の調査を進め、指定等の文化財の保護を図る。	◇市指定文化財木造聖観音菩薩立像（江垂）修復を市文化財保存事業及び住友財団助成金により実施 ◇大悲山観音堂の倒木撤去及び覆堂修繕（強風等自然災害による被害）
文化財活用事業	○市内文化財の公開、活用を行い、地域に学び育つ人づくりに資する。	◇文化財案内、出前講座等の実施 ◇羽山横穴、旧武山家住宅の一般公開 年4回（4・5・9・10月）
指定文化財保存管理事業	○指定文化財を市民共有の財産として保存に努め、文化財保護・保存意識の高揚を図る。	◇桜井古墳公園等の保存管理 ◇泉の一葉マツ保存管理
文化財利活用推進事業	○「南相馬市歴史文化基本構想」に基づき文化遺産を適切に保存活用するため、案内看板の設置や史跡等パンフレット作成、文化遺産サポーターによる案内等を行う。	◇浦尻貝塚縄文の丘公園オープン記念イベント 2回 ◇案内看板の設置（浦尻貝塚） ◇説明看板の設置（北右田の屋敷林） ◇文化財パンフレット等作成 浦尻貝塚縄文の丘公園 開園ポスター 400部 開園チラシ 4,000部 パンフレット 5,000部 リーフレット 20,000部 ポケットパンフレット 3,000部 貝塚観察館 5,000部 文化遺産マップ 5,000部 ◇文化遺産サポーターによる案内等 活動日数 85日、活動人数 314人
民俗芸能保存伝承事業	○市内に残る民俗芸能の保存、伝承、公開に努め、郷土愛の育成を図る。	◇第18回南相馬市民俗芸能発表会 ◇「浜通りのお浜下り」調査 ◇相馬流れ山踊り伝承保存会（鹿島） ◇小高郷相馬流れ山踊り保存会（小高）
市内遺跡発掘調査事業	○市内に存する遺跡の確認調査を進め、開発との調整に必要な保存協議資料を得るための発掘調査を実施する。	◇試掘調査 八幡林遺跡ほか13件 調査原因 太陽光発電施設、個人住宅ほか ◇整理調査 梨木西館跡5次ほか ◇保存目的発掘調査 真野古墳群 ◇調査報告書1冊刊行 300部
浦尻貝塚史跡公園整備事業	○国指定史跡である浦尻貝塚の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇整備検討委員会の開催 年1回 ◇ガイダンス棟等展示・体験学習用品制作業務 ◇ベンチ設置業務 ◇ガイダンス棟用備品購入

事業名	事業目的	事業内容
泉官衙遺跡史跡公園整備事業	○国指定史跡である泉官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡整備事業を実施する。	◇保存整備指導委員会の開催 1回 ◇郡庁院造成工事 6,074 m ² ◇復元建物建設工事 79.38 m ² ◇ガイダンス施設基本設計 ◇発掘調査 442m ²
大悲山石仏保存修理事業	○国指定史跡である大悲山石仏の保存と活用を図るため、保存環境の改善を行う。	◇保存整備指導委員会の開催 年2回 ◇薬師堂石仏等環境調査 ◇整備報告書 300部
相馬野馬追保存会	○相馬野馬追の保存伝承を図る。	◇甲冑着付・馬具着装・陣貝術講習会の実施 ◇相馬流れ山踊の伝承公開 担当：南標葉郷（双葉町・大熊町） ◇相馬野馬追保存会総会の開催 2回

2 博物館関係

・南相馬市博物館

(1) 施設概要

施設名	所在地	建物構造	施設の概要
南相馬市博物館	原町区牛来字出口 194 Tel 23-6421	R C 造	事務室 (84 m ²)、体験学習室 (108 m ²) 補修工作室 (84 m ²)、写真室 (42 m ²) 燻蒸室 (12 m ²)、シアター (78 m ²) エントランスホール (82 m ²) 常設展示室 (593 m ²)、特別展示室 (176 m ²) 展示ホール (82 m ²)、収蔵庫 (225 m ²) 特別収蔵庫 (70 m ²)

(2) 令和 7 年度事業計画

① 展示事業

・企画展

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

展示会名	期間	趣旨・目的等
野馬追トラベラーズ	令和 7 年 4 月 26 日 ～ 7 月 6 日	江戸時代には中村藩主相馬家の年中行事として、明治時代以降には神社の神事として継承されてきた野馬追は、伝統行事でありながらも“見もの”として人気があり、江戸時代から多くの旅人たちが野馬追見物のため当地方を訪れていた。それは明治以降も続き、野馬追は相馬名物として定着した。このような「観光資源」としての側面は、現代野馬追を継続する推進力の一つとなっている。ここでは「旅・観光」という視点から、民衆が野馬追をどのように見て、楽しんでいたのか、江戸時代から続く野馬追の観光資源としての側面を、資料によって紹介する。
近代の戦争と南相馬	8 月 2 日 ～ 11 月 3 日	明治維新によって近代という新しい時代を迎えてから約 80 年間、日本は戊辰戦争・西南戦争という国内戦争を経て、日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦・第二次世界大戦 (アジア太平洋戦争) という国外戦争を経験してきたことから、戦争が身近にあった時代といえる。 そして、昭和 20 年 8 月のポツダム宣言の受諾、9 月の降伏調印文書の調印によって日本は敗戦し、第二次世界大戦は終わりを迎えることになった。令和 7 年は日本の敗戦から 80 年の節目にあたることから、戦争に関する企画展を開催し、戦争について考えるきっかけとしたい。
博物館の 30 年をふりかえる (仮)	12 月 6 日 ～ 令和 8 年 3 月 22 日	令和 7 年度、南相馬市博物館が開館 30 周年を迎えることにちなみ、過去に開催した展示会や展示資料を中心に、博物館 30 年間の出来事や、関わった人たちのコメントを交えながら、博物館活動の 30 年をふりかえるとともに、将来の博物館を考える。

② 調査研究事業

・『研究紀要』の刊行

学芸員の調査研究成果を掲載する学術雑誌の刊行。また、市公式ウェブサイト内の博物館サイトに掲載する。

・調査研究テーマと内容

テーマ	事業内容
1) 野馬追と観光	江戸時代には中村藩主相馬家の年中行事として開催され、明治時代以降には神社の神事として継承されてきた野馬追は、伝統行事でありながらも“見もの”として人気があり、江戸時代から多くの見物人たちが当地方を訪れた。それは明治以降も続き、野馬追は相馬名物としてブランド化した。この「観光資源」としての側面は、現代野馬追を継続する推進力の一つとなっていることも事実である。 江戸時代から続く野馬追の観光資源としての側面を、資料（絵図、古文書、古写真等）によって調査し、野馬追がブランド化してきた歴史を明らかにする。
2) 磐城無線電信局原町送信所（原町無線塔）の調査	高さ約200mのいわゆる原町無線塔は、大正時代の完成から数えて約60年市街地に聳えていたことから、市民の心象風景となり、関東大震災での活躍と併せて地元で語り継がれている。しかし、無線局としての公・民による業務分担への変化に加え施設が広域だったこと等もあり、その実像や全体像は見えづらかった。 無線塔の再評価への足掛かりとして、原町無線塔についての一次資料（建設、運用、解体等の歴史）および現存する遺物・痕跡（副柱アンカー、電弧発振器、発電機等）の確認を行う。
3) 戦後直後の野馬追の動向	近代、神社の神事として継承されてきた野馬追は、戦後、連合国軍政府の占領下において、戦中までの軍国的な要素を一掃し、馬事スポーツ色を強めた「平和的野馬追」として開催することで再開された。 ここでは、近年博物館の寄託資料の中から確認された、相馬野馬追騎馬会により作成された、昭和21年と22年の野馬追に関する一次資料「相馬野馬追事業成績書」から、戦後の混乱期における伝統行事継承の一端を明らかにする。
4) 南相馬市の絶滅に瀕する野生生物生息地調査	現地調査および地元有識者、外部団体（野鳥の会、虫の会、植物の会）、県自然保護課などへの情報照会により、市内の絶滅危惧種のリスト、分布、生息環境を調査する。 調査成果は企画展「南相馬市の貴重な生き物」（仮）開催、シンポジウム開催等によって普及活動を行う。また、調査によって得られた情報は市GISシステムを用いて全庁的に共有し、市内での希少生物の保全のための情報基盤とする。将来的には生活環境課等との連携による希少生物保全区域の設定に資するものとする。
5) 南相馬市原町区に残存した湿性草地の植生	野馬追を構成するひとつの要素として欠かせないのが、野馬たちが生活を送り野馬追の舞台ともなった野馬原である。江戸時代から近代にかけて存在した野馬原の大部分を構成する草地環境は、現在ではほぼ宅地等に造成され、その植生等について詳細を知ることは難しい。これまで上町で行ってきた調査に加え、原町区内の半自然草地を追加調査し、伝統行事である野馬追が行われてきた野馬原の景観解明の一助とする。
6) 相双地方の焼き物調査	近世に開窯した大堀相馬焼は、中村藩の外貨獲得に貢献したほか、東北地方から関東地方まで広く流通し、特に東北地方の各窯に影響を与えたと言われている。 同窯の製品や作品の調査を行い、その優れた作品、技術等を紹介する展示につなげるための調査を行う。
7) 歴史資料の整理と調査	資料の所蔵者の世代交代が進んでいることもあり、多くの資料が博物館に寄贈・寄託されているが、未整理のままとなっているものが多い。当地方の代表的な古文書群である石神の富田家資料や原町飛行場関係戦没者慰霊顕彰会から寄贈された史料などの整理と調査を行い、これまで公開されていない資料を公開する。敷居が高いと思われる古文書の魅力をさまざまな世代に向けて分かりやすく発信する。 また、世代交代が進んだことにより、戦争体験者からの聞き取り調査は難しくなった現状があるが、寄贈・寄託される資料の多くは戦争関係であり、直接戦争を体験していなくとも戦争当時のことを伝え聞いていることがあるため、それらを可能な限り聞き取りを行う。

テーマ	事業内容
8) 終戦 80 年に向けて戦争関係の調査	令和 7 年（2025）は、終戦から 80 年の節目の年にあたる。これを機に戦争に関する展示を令和 7 年度に実施するための調査を行う。
9) 中村藩に関する調査研究	近年刊行された相双地域の各自治体による自治体史には、数多くの新資料が掲載されるなど、多くの成果をもたらした。しかし、自治体史（特に資料編）は読み込むことが難しく、活用されているとはいえない状況にある。また、自治体史に掲載された資料は編纂の過程で収集された資料の一部に過ぎない。そこで、自治体史の編纂によって得られた成果を活用するため、中村藩の特徴と思われるテーマを設定して、研究紀要を執筆する。
10) 民俗資料の整理と調査	現在、当館所蔵の民俗資料には、呼称や由来、使用用途が判然とせず、十分な記録がされていないものが複数存在する。南相馬市内で営まれてきた生活のあり方をより詳しく明らかにし、令和 8 年度以降の特別展示等にて成果を生かしていきたい。 なお、整理・調査活動には文化遺産サポーター制度の利用や市民ボランティアの動員を積極的に行い、作業の迅速化を図るとともに、民俗資料の意義について理解を広められるようにする。
11) 南相馬市内の地域祭礼の変容	近年の社会情勢や野馬追の日程変更などに伴い、多くの地域祭礼では従来通りの実施が難しくなっていると推測される。そのため、市史・町史編纂事業に伴う調査が実施されて以降、どのような変化があったのか調査する。また、各祭礼についてより詳細な情報が得られるようにする。 調査結果は祭礼の組織体系や信仰対象、開始時期などの一定の項目ごとにまとめ、研究紀要等での発信を行う。

・恐竜化石探索調査・教育普及事業

市内に分布するジュラ紀後期～白亜紀初期の相馬中村層群のうち、恐竜足跡化石をはじめ、植物食恐竜と関連性が深いとされるベネチテス類などの植物化石が多産する栃窪層を中心に、市内外の地質学・古生物学の専門家による調査を行い、恐竜化石産出の可能性を探る。あわせて、市内の地質および古生物に対する理解を深めるため、講演会、展示会等を開催する。

1) 現地調査

将来的な発掘調査を見据え、栃窪層を中心とする地質学・古生物学の専門家による現地調査により、発掘候補地の選定を行う。

2) 講演会

恐竜時代への理解を深める講演会。日本における恐竜研究の状況と、相馬地方における恐竜発見の可能性について。

3) 展示およびスタンプコーナー

これまで市内から産出した相馬中村層群の化石（博物館収蔵資料）から、恐竜時代の南相馬の様相を紹介する。

会場候補：博物館、セデッテかしま

③教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師
5 月 5 日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏 他
5 月 11 日	企画展「野馬追トラベラーズ」解説会	博物館学芸員

開催日	内 容	担当・講師
5月17日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界①」	岡田清一氏
6月7日	野馬追の精神と藩政への影響について	二上裕嗣氏
6月15日	企画展「野馬追トラベラーズ」解説会	博物館学芸員
7月12日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界②」	岡田清一氏
7月26日	ふくしまの森林文化 映画上映・実演・体験	外部講師
9月13日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界③」	岡田清一氏
11月3日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏 他
11月15日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界④」	岡田清一氏
11月29日	南相馬のことば－方言学の視点から－（仮）	小林初夫氏
令和8年 1月17日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑤」	岡田清一氏
3月7日	史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界⑥」	岡田清一氏

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師
4月27日	東ヶ丘公園の植物を観察しよう	博物館学芸員
5月4日	春の野鳥を観察しよう（浦尻貝塚周辺の野鳥）	増渕翔太氏 他
5月5日	香りの宝石せっけんを作ろう	小林香代子氏
5月31日	化石を楽しもう－化石さがし	平宗雄氏、八巻安夫氏
6月1日	化石を楽しもう－化石標本作り	平宗雄氏、八巻安夫氏
6月22日	初夏のキノコを観察しよう！	本多隆氏 他
8月3日	東ヶ丘公園で昆虫観察&標本を作ろう	三田村敏正氏 外
8月17日	本物にさわって勾玉を作ろう①	文化財係学芸員
9月21日	化石のレプリカを作ろう	八巻安夫氏、荒好氏
9月27日	南相馬のことば－かるた作り編－	小林初夫氏 他
11月8日	化石を楽しもう－化石さがし	平宗雄氏、八巻安夫氏
11月9日	化石を楽しもう－化石標本作り	平宗雄氏、八巻安夫氏
12月20日	冬の野鳥を観察しよう（浦尻貝塚周辺の野鳥）	増渕翔太氏 他
12月21日	正月飾り作り	高田求幸氏
令和8年 3月22日	本物にさわって勾玉を作ろう②	文化財係学芸員

・ミュージズフェア

開催日	内 容	担当・講師
11月23日	幼児、児童を対象とした体験学習プログラム	外部講師、学芸員

・バスツアー

開催日	内 容	担当・講師
10月11日	史跡巡りバスツアー	文化財係学芸員

④その他の事業

（１）文化財資料収蔵施設整備事業

本市の自然、歴史、民俗、文化の特徴を示す資料や美術工芸品及び震災資料を適切に保存するための収蔵施設を整備する。令和8年度の実施設設計等の事業着手に向け、事業計画の策定を行う。

⑤各機関との連携

1) 学校等との連携	ア 小学校・中学校・高等学校との連携・協力	・小学校社会科の単元（「私たちの市のあゆみ [かわる道具とくらし・市のうつりかわり]」「日本の歴史」）や理科の単元（「土地の成り立ちと変化」）への館蔵資料による
------------	-----------------------	--

		展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習（探求）の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力 ・貸出資料セットのリスト配布
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
	ウ 職場体験・博物館実習等の受入	・職場体験・博物館実習等プログラムの実施
2) 各生涯学習関係機関等との連携	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	ウ 図書館との連携	・企画展と連動した展示コーナーの設置等
3) 南相馬市文化遺産サポーターとの連携	ア 体験学習・講座および展示等、博物館活動への協力、支援を依頼し、共同で活動を行う。	・博物館活動への協力、支援 ・桜井古墳公園・浦尻貝塚などの保存、活用の補助 ・市内文化遺産のガイド ・文化財周辺の軽清掃、維持管理作業（旧武山家住宅燻蒸） など
4) 博物館・その他の機関との連携	・福島県博物館連絡協議会（事務局：県立博物館）への参加 ・他館との連携（相双地区博物館連絡協議会等） ・館蔵資料の貸出等 ・各機関と協同の事業開催および出展	

(3) 令和6年度事業実施状況

①利用状況

・観覧者数

(単位：人)

入館者数				開館日数
一般	高校生	小・中学生	合計	
6, 641	86	1, 214	7, 941	306

・その他利用者

(単位：人)

内 容	回数・件数	人数
講座・体験学習・バスツアー・企画展関連事業	43	1, 140
講師派遣 学校関係	17	642
講師派遣 一般	33	1, 259
発表・シンポジウム	1	37
キッズミュージアム	1	446
博物館実習受け入れ	1	1
職場体験受け入れ	1	2
その他機関との連携事業	4	267
レファレンス	240	246
合 計	341	3, 943

②展示事業

・企画展

展示会名	期 間	趣 旨・ 目 的 等
しらべてわかった！おだかの自然	令和6年 3月9日 ～ 5月6日	平成28年～令和4年（2016～22）に実施された、南相馬市小高区の自然総合調査事業「小高の自然調査事業」で採集・撮影された標本・写真を、可能な限り展示・紹介し、小高区に見られる豊かな自然とその魅力への気づきや再確認できる場とすることで、同区の教育・産業の復興に寄与するものとして開催した。
五月中の申 御野馬追	5月21日 ～ 8月18日	国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、令和6年、日程が7月から5月開催に変更されるという大きな変革があり、新たな歴史を刻むこととなった。 そもそも野馬追の日程は、民謡「相馬流れ山」の歌詞にもあるように、旧暦「五月中の申」の日を中心に行われ、明治時代以降の改暦後、何度かの変更を経て現在に至っている。ここでは、これまでの野馬追の日程を中心に、その歴史をふり返るものとした。
縄文 みなみそうま	9月21日 ～ 11月24日	縄文時代は、日本列島において今から1万6000年前に始まり、米作りが始まる2300年前（弥生時代）まで、1万以上続いた時代である。令和6年9月、南相馬市小高区にある縄文時代の国史跡浦尻貝塚が「浦尻貝塚縄文の丘公園」として開園した。本企画展はこのオープンを記念して開催し、市内に残された縄文時代に生きた人びとの足跡を紹介する展示を行った。

寄贈コレクションで見る日本近現代の彫刻	[前期] 令和7年 1月11日 ～ 2月16日	令和元年（2019）ブロンズ彫刻を中心とする52点のコレクションが収集者（故人）の遺族から市に寄贈された。これら作品の35人の作家は、日本芸術院会員10人を含む近現代の日本の彫刻芸術を牽引した高名な彫刻家と、彼らに多くの影響を与えたイタリアの巨匠である。また、本コレクションは、作家それぞれの芸術経歴や互いの師弟関係や交友関係から、日本近現代彫刻芸術の展開の一側面を物語る内容となっている。本展では、本市に所在する、このような性格を有する彫刻作品を、借用作品も含め広く公開し、その魅力を紹介した。
	[後期] 2月19日 ～ 3月30日	

・ミニテーマコーナー

テーマ	展示期間	展 示 の 概 要
博物館の辰年コレクション	1月4日 ～ 5月9日	令和6年の干支「辰」にちなみ、龍に関する博物館資料を紹介。
変わった形の「変わり兜」	5月10日 ～ 8月18日	戦国時代あたりから江戸時代にかけて流行した、個性的な「変わり兜」を紹介。
チラシと写真から見る街のにぎわい	8月20日 ～ 令和7年 1月31日	チラシや昭和30～50年代の原ノ町駅前通りの写真、原ノ町駅の時刻表、商店街地図から、街のにぎわいや「昭和」の懐かしさを紹介。
浦尻貝塚 福島大学1971年の調査	9月21日 ～ 11月24日	福島大学による浦尻貝塚初の学術調査によって出土した縄文土器や石器、土偶などを初めて公開。
婚礼の装いー花嫁のすがた	2月1日 ～ 5月6日	昭和初期から中期に使われた花嫁衣裳を実物と写真で紹介。

・エントランスホール展示

テーマ	展示期間
メダカ、ドジョウ（生態展示）	常設 ＊令和5年8月に水槽増設
みなみそうま地域学術団体紹介コーナー 自然と歴史ぶんかの窓	常設
文化庁選定「食文化ミュージアム」に南相馬市博物館が認定されました	令和4年7月14日～
南相馬味めぐり～春編	令和5年3月24日～6月6日
相双地方の焼き物	令和6年1月7日～12月28日
オダカクジラ化石（企画展「しらべてわかった！おだかの自然」導入）	3月26日～5月11日
キムリエラ・デンシフォリア 新指定記念	4月23日～6月13日
南相馬味めぐり 夏編2024	5月11日～7月2日
甲冑～赤と黒のコントラスト	5月12日～9月11日
南相馬味めぐり 夏の食べもの編2024	7月3日～9月11日
南相馬の和紙づくり（講座「ふくしまの森林文化 ー上川崎和紙ー」関連展示）	7月28日～31日
南相馬市のオリンピック 西内洋行選手（トライアスロン）	7月30日～12月1日

テーマ	展示期間
体験学習成果展示「昆虫標本づくりました！」	8月18日～30日
平和首長会議 原爆ポスター展	8月27日～9月16日
企画展「縄文みなみそうまー南相馬市内の縄文遺跡」	9月12日～11月24日
南相馬味めぐり 秋編2024	9月12日～12月6日
新しい年へ 年取りと正月の食べ物	12月7日～令和7年1月26日
相双地方の焼き物	令和7年1月4日～
へび 屋根裏の火伏せ呪具	1月4日～3月30日
南相馬味めぐり 早春編2025	1月28日～3月19日
南相馬味めぐり 春編2025	3月20日～

③収蔵資料の状況

(令和7年3月31日現在)

区 分	収集・寄贈等	購入	寄託	合計
人文科学資料				
古美術資料	6 7 6	4 1	2	7 1 9
近代美術資料	5 0	0	1	5 1
考古資料	7, 7 0 1	6	2, 4 7 7	1 0, 1 8 4
民俗資料	7, 2 1 7	1 4 4	2 5 9	7, 6 2 0
歴史資料	1 1, 7 0 6	1 6 9	5, 2 4 5	1 7, 1 2 0
その他	5 4 8	0	0	5 4 8
図書	1 1, 7 1 1	2 5 0	0	1 1, 9 6 1
写真	1, 3 3 0	0	0	1, 3 3 0
小計	4 0, 9 3 9	6 1 0	7, 9 8 4	4 9, 5 3 3
自然科学資料				
動物資料	1, 3 0 9	4 0	4 3	1, 3 9 2
植物資料	1 2 1	5	0	1 2 6
地学資料	1 1	0	9	2 0
その他	6 4	0	0	6 4
図書	3 8 8	3 8	0	4 2 6
写真	1 1 6	0	0	1 1 6
小計	2, 0 0 9	8 3	5 2	2, 1 4 4
合計	4 2, 9 4 8	6 9 3	8, 0 3 6	5 1, 6 7 7

④教育普及事業

・博物館講座

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
令和6年 4月14日	小高の自然調査事業成果報告会	竹谷陽二郎氏 他	7 6
5月11日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界①」	岡田清一氏	4 6
5月12日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏 他	7
6月23日	企画展「五月中の申 御野馬追」解説会	担当学芸員	2 5
7月13日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界②」	岡田清一氏	3 0
7月21日	野馬追の精神と藩政への影響について	二上裕嗣氏	3 3
7月28日	ふくしまの森林文化―上川崎和紙―	遠藤哲也氏	9
9月14日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界③」	岡田清一氏	3 0
9月22日	企画展「縄文 みなみそうま」展示解説会①	担当学芸員	2 4
10月19日	企画展「縄文 みなみそうま」展示解説会②	担当学芸員	1 5
11月 3日	蓄音機コンサート	佐藤晴美氏 他	2 2
11月16日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界④」	岡田清一氏	3 5
11月24日	企画展記念講演「縄文時代のかごづくり―鹿島区鷺内遺跡の調査成果から―	佐々木由香氏	4 9
令和7年 1月18日	南相馬のことば―方言学の視点から―	小林初夫氏	3 0
2月16日	講演「彫刻の見かた・楽しみかた」	吉野 毅氏	1 2 0

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
2月22日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界⑤」	岡田清一氏	33
3月8日	史料をよむ「室町～戦国時代の相馬一族と南奥世界⑥」	岡田清一氏	34
17回	合 計		618

・体験学習

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
令和6年 4月28日	小高の自然観察会	黒沢高秀氏 他	27
5月5日	香りの宝石せっけんを作ろう	小林香代子氏	21
5月20日	化石を楽しもうー化石さがし	平 宗雄氏、八巻安夫氏	22
6月1日	化石を楽しもうー化石標本作り	平 宗雄氏、八巻安夫氏	22
7月13日	夏のキノコを観察しよう！	本多 隆氏 他	12
7月20日	東ヶ丘公園の植物を観察しよう	担当学芸員	5
8月3日	東ヶ丘公園で昆虫観察&標本を作ろう	平澤 桂氏 他	22
8月18日	本物にさわって勾玉を作ろう	担当学芸員	19
9月15日	化石のレプリカを作ろう！	八巻安夫氏・荒 好氏	22
9月23日	さわって、みて、感じる縄文世界①	担当学芸員	15
9月28日	南相馬のことばー入門編ー	小林初夫氏 他	9
9月29日	さわって、みて、感じる縄文世界②	担当学芸員	30
10月6日	南相馬のことばー入門編ー	小林初夫氏 他	10
10月14日	さわって、みて、感じる縄文世界③	文化遺産サポーター	12
10月20日	“アンモナイト・モンスター”をつくろう！	小原風子氏	11
10月27日	さわって、みて、感じる縄文世界④	担当学芸員	7
11月4日	さわって、みて、感じる縄文世界⑤	文化遺産サポーター	7
11月9日	化石を楽しもうー化石さがし	平宗雄氏、八巻安夫氏	14
11月10日	化石を楽しもうー化石標本作り	平宗雄氏	14
11月17日	さわって、みて、感じる縄文世界⑥	担当学芸員	27
12月15日	キッズミュージアム	担当学芸員	77
12月22日	正月飾り作り	高田求幸氏	10
令和7年 3月9日	ワークショップ「みんなで描く野馬追行列」	須田美紀子氏	8
3月23日	本物にさわって勾玉を作ろう	担当学芸員	16
24回	合 計		439

・キッズミュージアム

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
12月15日	生き物標本観察、まゆだまあそび、野馬追絵図スタンプ&ぬりえ、野馬追のサムライになってみよう！、かいがらのマグネットをつくろう！、「火おこし」してみよう！	コミュタン福島、他	幼児等245 保護者201
1回	合 計		446

・その他（講演会、バスツアー）

開催日	内 容	担当・講師	参加者数
9月21日	浦尻貝塚縄文の丘公園オープン記念コラボイベント①「こんだあきこさんと歩く浦尻貝塚縄文ツアー」	譽田亜紀子氏	39
10月26日	浦尻貝塚縄文の丘公園オープン記念コラボイベント②「こんなに楽しい、浦尻貝塚！～土偶女子とアーティストが語るその魅力～」	譽田亜紀子氏 安芸早穂子氏	44
2回	合 計		83

⑤各機関との連携

1) 学校等との連携 学校見学 21回 854人 出前講座 17回 642人 中学生職場体験 1回 2人 博物館実習 1回 2人 貸出資料セット利用 3回	ア 小中高等学校との連携・協力	・小学校3年生社会科の単元「古い道具と昔の暮らし」への館蔵資料による展示と解説 ・博物館を活用した「総合的な学習の時間」への協力 ・出前講座や資料の貸出しによる学校教育活動への協力 ・貸出資料セットのリスト配布
	イ 指導者対象の講座・行事	・地域指導の資料としての情報提供（→講座・体験的行事）
	ウ 職場体験・博物館実習等の受入	・職場体験・博物館実習等プログラムの実施
2) 各生涯学習関係機関との連携 講師派遣（出前講座） 33回 1,259人 発表・シンポジウム等 1回 37人	ア 生涯学習課・生涯学習センターとの連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	イ 生涯学習各種団体との連携	・展示・講座・行事の紹介・調整（→講座・体験的行事）
	ウ 図書館との連携	・図書館での出前展示
3) 博物館・その他の機関との連携 各機関との連携 4回 267人 資料貸出 5件 14点 資料（写真）提供 11件 46点	ア 福島県博物館連絡協議会への参加	・事務局：県立博物館、当館：理事 県内の博物館および準ずる施設による相互の連携・協力を図る
	イ 相双地区博物館連絡協議会の再開	・事務局：当館、会長：当館 相双地区の博物館および準ずる施設による相互の連携・協力を図る。震災以降活動休止していた同協議会を再開
	ウ 各機関との連携	・各機関と協同の事業開催や、博物館ブースの出展
	エ 館蔵資料の貸出等	・他館の展示会への資料貸出や、メディア（書籍出版、テレビ、新聞）等への資料提供

Ⅷ スポーツ

1 スポーツ関係

(1) 令和7年度事業計画

(令和7年4月1日現在)

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育 団体等補助 事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市 スポーツ協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（9 競技） 参加者：南相馬市スポーツ協会加盟団体登録者・市民全般他 1,700 人 場 所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第 19 回南相馬市総合スポーツ大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会（24 競技） 参加者：市民全般 約 1,800 人 場 所：南相馬市内他	8 月～1 月
		南相馬市レクリエーション協会	第 26 回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業（10 競技） 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 約 500 人 場 所：南相馬市内他	5 月～2 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 13 教室の開催 参加者：市民全般 約 1,000 人 場 所：南相馬市内他	6 月～2 月
		南相馬市陸上競技協会	第 37 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計 24 人（選手 16 人・補欠 8 人） 場 所：白河～福島 96.3 km 16 区間	11 月 16 日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 38 回野馬追の里健康マラソン大会・第 20 回ウオーキング大会 種 目：1.5 km、2 km、3 km、5 km、10 km、ハーフ、親子ペア、ウオーキング 参加者：小学生～一般男女 約 3,000 人 場 所：雲雀ヶ原陸上競技場	12 月 7 日
	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。	野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 35 回坂東市将門ハーフマラソン大会 種 目：3 km、5 km、10 km、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 約 50 人 会 場：茨城県坂東市	11 月 9 日

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る	野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会	野馬追の里 第50回浮舟杯卓球大会 第11回トップアスリート教室 種目：卓球 場所：まるさん・あったまるアリーナ	2月7日～ 2月8日
交流・滞在型スポーツ支援事業	滞在型スポーツ大会等を誘致し、スポーツ交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。	藤倉コンポジット株式会社	Fujikura 東北ジュニアカップ 2025 種目：ジュニアゴルフ 場所：鹿島カントリー倶楽部	4月4日
		相馬野馬追旗争奪近県剣道大会	第18回相馬野馬追旗争奪近県剣道大会 種目：剣道 場所：まるさん・あったまるアリーナ	4月20日
		日本ディスクゴルフ協会	第19回南相馬オープン ディスクゴルフトーナメント 第37回日本選手権 ディスクゴルフトーナメント 種目：ディスクゴルフ 場所：馬事公苑	開催なし 10月11日～ 10月13日
		東北学生卓球連盟	第77回東北学生卓球選手権大会 種目：卓球 場所：まるさん・あったまるアリーナ	6月14日～ 6月15日
		馬事公苑活性化実行委員会	(仮称) 南相馬市長杯クロスカントリー大会 種目：馬術 場所：馬事公苑	11月23日
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（年12回開催） 場所：まるさん・あったまるアリーナ 他	4月～3月
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会その他東北大会以上の規模で行われる各種スポーツ大会に出場する選手及び団体に対し、激励金を交付する。	個人・団体	全国スポーツ大会等出場選手への激励金交付 1件あたりの交付金額 国際大会 30,000円 全国大会（高校総体等） 30,000円 全国大会（高校生以下） 20,000円 全国大会（大学生以上） 10,000円 東日本大会 7,000円 東北大会 5,000円	4月～3月

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 20件 1,476,000円 1件あたりの交付金額（上限額） 【交通費】 県大会 5,000円 東北大会 6,000円 全国大会 15,000円 国際大会 30,000円 【宿泊費】 県大会 5,000円 東北大会 6,000円 全国大会 7,500円 国際大会 10,000円	4月～3月
南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年野球連盟	杉並区との少年野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会場：杉並区	8月
		南相馬市少年野球連盟	杉並区・取手市・南相馬市交流自治体少年野球大会 参加者：南相馬市少年野球連盟員・選手等 会場：茨城県取手市	8月
		南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球交流大会派遣事業 派遣者：南相馬市野球協会員 市内中学生選手等 会場：台湾	12月
		南相馬市バレーボール協会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業（家庭婦人バレーボール） 派遣者：南相馬市バレーボール協会員・選手等 会場：群馬県東吾妻町	11月
		南相馬市陸上競技協会	杉並区中学校対抗駅伝大会派遣事業 派遣者：南相馬市陸上競技協会員・市内中学生選手 会場：杉並区	12月

(2) 令和6年度事業実施状況

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
社会体育 団体等 補助事業	スポーツ団体へ援助を行い、その活動や指導者の支援及び選手の競技力向上等を図る。	南相馬市 スポーツ協会	競技力向上対策事業 内 容：各競技の技術力の向上（8 競技） 参加者：南相馬市スポーツ協会加盟団体登録者・市民全般他 1,731 人 場 所：南相馬市内他	4 月～2 月
			第 18 回南相馬市総合スポーツ大会を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会（23 競技） 参加者：市民全般 1,766 人 場 所：南相馬市内他	9 月～2 月
		南相馬市レクリエーション協会	第 25 回南相馬市スポーツレクリエーション祭を中心とした各種事業 内 容：市民を対象とした各種競技大会 参加者：市民全般 9 種目 515 人 場 所：南相馬市内他	5 月～1 月
			生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室） 内 容：各種ニュースポーツ 11 教室の開催 参加者：市民全般 1,123 人 場 所：南相馬市内他	7 月～2 月
		南相馬市陸上競技協会	第 36 回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 内 容：市町村対抗駅伝大会 参加者：一般市民ランナー 計 24 人（選手 16 人・補欠 8 人） 場 所：白河～福島 96.3 km 16 区間 結 果：総 合 19 位／50 チーム 市の部 12 位／13 市	11 月 17 日
		野馬追の里健康マラソン大会実行委員会	第 37 回野馬追の里健康マラソン大会・第 19 回ウオーキング大会 種 目：1.5km、2km、3km、5km、10km、ハーフ、親子ペア、ウオーキング 参加者：3,007 名 場 所：雲雀ヶ原陸上競技場、雲雀ヶ原祭場地	12 月 1 日
			野馬追の里健康マラソン大会交流会 2024 内 容：前日のレセプション及びマラソン大会当日に招待自治体として参加 参加者：61 名（3 自治体） 場 所：ラフィース・雲雀ヶ原陸上競技場	11 月 30 日 ～ 12 月 1 日

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
	相馬氏の祖「平将門」終焉の地でありゆかりのある茨城県坂東市との歴史的な縁として、大会に参加することでスポーツ交流人口の拡大を図る。		第34回坂東市将門ハーフマラソン大会 種目：3 km、5 km、10 km、ハーフ 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 38人 会場：茨城県坂東市	11月10日
交流・滞在型スポーツ事業	野馬追の里浮舟杯卓球大会及びトップアスリート教室を開催し、本市の子どもたちの卓球の競技力向上と指導者の指導力向上を図る。	野馬追の里浮舟杯卓球大会実行委員会	野馬追の里 第49回浮舟杯卓球大会 第10回トップアスリート教室 種目：卓球 場所：まるさん・あったまるアリーナ 参加者：70名	2月14日
健康スポーツ推進事業	市民の誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室を開催し市民のスポーツ人口の拡充や健康増進を図る。	南相馬市スポーツ推進委員会	健康スポーツ教室 内容：市民の誰もが気軽に参加できるスポーツ教室の開催（12回開催） 場所：まるさん・あったまるアリーナほか	4月～3月
スポーツ大会等出場激励金交付事業	全国大会並びに国際大会に出場する選手及び団体に対し激励金を交付する。	個人・団体	全国スポーツ大会等への派遣事業 78件 2,513,000円 国際大会 2件 全国大会（高校総体等） 6件 全国大会（高校生以下） 25件 全国大会（大学生以上） 18件 東日本大会 1件 東北大会 26件	4月～3月
スポーツ少年団選手派遣事業	スポーツ少年団に加盟する団員の県大会以上の大会に出場するスポーツ少年団に対して、補助金を交付する。	団体	スポーツ少年団県大会等派遣事業 25件 2,068,751円 全国大会 4件 東北大会 5件 県大会 16件	4月～3月

事業名	事業目的	補助団体	事業内容	開催期間
南相馬市・杉並区スポーツ交流事業	杉並区とのスポーツ交流事業の実施により、市民がスポーツに親しむ機会の拡充やスポーツ団体等の活性化、震災後のスポーツ活動の復興に繋げていくため、事業実施団体に対し補助金を交付する。	南相馬市少年野球連盟	南相馬市・杉並区少年野球交流大会 会場：杉並区 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 26人	8月
		南相馬市少年野球連盟	杉並区取手市南相馬市交流自治体少年野球大会 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 39人 会場：南相馬市	8月
		南相馬市野球協会	杉並区交流自治体中学生親善野球大会派遣事業 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 22人 参加自治体：台湾・杉並区・南相馬市 会場：台湾	10月
		南相馬市バレーボール協会	杉並区交流自治体スポーツ交流大会派遣事業（家庭婦人バレーボール） 会場：杉並区 ※参加人数不足により辞退	11月
		南相馬市陸上競技協会	杉並区中学生駅伝大会派遣事業 会場：杉並区 派遣者：南相馬市民代表選手、役員、スタッフ 15人	12月
		原町ミニバスケットボール少年団	南相馬市杉並区取手市ミニバスケット交流大会 会場：取手市 ※開催なし	12月

(3) 令和6年度スポーツ施設利用状況

【小高区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
小高体育センター	9,005	18,311
中部運動場	160	5,127
東部運動場	－	－
片草運動場	13	278
片草テニスコート	183	1,560
合 計	9,361	25,276

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学校名	体育館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
小高小学校	2	50	89	2,341	91	2,391
小高中学校	5	63	0	0	5	63
合 計	7	113	89	2,341	96	2,454

【鹿島区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施設名	利用件数	利用者数
千倉体育館	1,350	10,172
前川原体育館	549	3,715
千倉グラウンド	532	17,845
前川原グラウンド	120	2,288
千倉テニスコート	93	280
鹿島体育館	1,254	24,138
みちのく鹿島球場	82	6,228
南相馬市パークゴルフ場	－	54,116
合 計	3,980	118,782

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
鹿 島 小 学 校	169	3,098	0	0	169	3,098
上 真 野 小 学 校	129	2,077	0	0	129	2,077
鹿 島 中 学 校	46	714	0	0	46	714
合 計	344	5,889	0	0	344	5,889

【原町区】

社会体育施設等の利用状況

(単位：件、人)

施 設 名	利用件数	利用者数
南相馬市スポーツセンター	1,633	50,979
雲雀ヶ原陸上競技場	79	21,288
夜の森公園テニスコート	7	1,301
南相馬市テニスコート	700	38,546
南相馬市弓道場	224	4,691
南相馬市野球場	203	7,916
南相馬市民プール	—	60,476
小川町体育館	759	18,601
南相馬市サッカー場	54	1,792
北新田第一運動場	112	6,334
北新田第二運動場	24	1,912
北新田野球場	69	3,014
南相馬市相撲場	34	830
栄町柔剣道場	252	6,763
合 計	4,150	224,443

学校体育施設開放事業の利用状況

(単位：件、人)

学 校 名	体 育 館		校 庭		合 計	
	件 数	延人数	件 数	延人数	件 数	延人数
原 町 第 一 小 学 校	322	6,830	183	5,545	505	12,375
原 町 第 二 小 学 校	228	5,658	19	262	247	5,920
原 町 第 三 小 学 校	173	5,976	61	851	234	6,827
高 平 小 学 校	282	3,892	47	615	329	4,507
大 甕 小 学 校	148	4,151	0	0	148	4,151
太 田 小 学 校	26	230	0	0	26	230
石 神 第 一 小 学 校	220	4,323	0	0	220	4,323
石 神 第 二 小 学 校	159	4,035	34	840	193	4,875
原 町 第 一 中 学 校	0	0	0	0	0	0
原 町 第 二 中 学 校	360	5,750	0	0	360	5,750
原 町 第 三 中 学 校	126	2,631	0	0	126	2,631
石 神 中 学 校	289	3,519	0	0	289	3,519
合 計	2,333	46,995	344	8,113	2,677	55,108

馬事公苑の利用状況

(単位：人、頭)

区 分	入苑者延人数	馬匹延頭数
各 種 馬 術 大 会	5,058	1,793
馬 術 競 技 合 宿	212	151
個 人 乗 馬 練 習	4,848	814
デ ィ ス ク ゴ ル フ	1,361	0
一 般 利 用	3,524	4
自主事業ドローン・乗馬体験	114	0
合 計	15,117	2,762

2 スポーツ施設一覧

小高区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
小高体育センター	小高区関場一丁目 77 Tel (44) 6092	屋内競技	床面積 1,417.00 m ² バレーボール 2 面 バドミントン 4 面 バスケット 2 面 卓球 6 面 テニス 1 面	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,710 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,280 円 市外 2,850 円 営利目的の場合 3,990 円 競技場全半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 570 円 市外 850 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,420 円 営利目的の場合 1,990 円 個人利用 (1 回券) 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大人 (12 回) 1,000 円 高校生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ~ 12 時 B. 12 時 ~ 15 時 C. 15 時 ~ 17 時 D. 17 時 ~ 19 時 E. 19 時 ~ 21 時
小高東部運動場	小高区蛭沢字藤沼 50-1	屋外競技	敷地面積 10,844.00 m ² ソフトボール 1 面 野球場 1 面 (夜間照明有) トイレ	運動場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 無料 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 無料 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円 夜間照明料 1 時間 2,100 円
小高中部運動場	小高区関場二丁目 29	屋外競技 多目的広場 1 面	敷地面積 4,251 m ²	運動場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 無料 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 無料 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円

施設名	所 在 地	競技種目	施設内容	利用料金
小高片草運動場	小高区片草字南原 46-1	屋外競技	敷地面積 13,285.38 m ² 多目的広場 1 面 テニス 3 面 (ナイター設備有) トイレ	多目的広場 運動場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 無料 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 無料 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円 テニスコート 1 面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 個人利用 (1 回券) 大 人 2 時間 200 円 高 校 生 2 時間 100 円 小中学生 2 時間 50 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 6,000 円 高 校 生 3,000 円 小中学生 1,500 円 夜間照明料 1 時間 200 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ~ 11 時 B. 11 時 ~ 13 時 C. 13 時 ~ 15 時 D. 15 時 ~ 17 時 E. 17 時 ~ 19 時 F. 19 時 ~ 21 時

鹿島区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
千倉体育館	鹿島区鹿島字北千倉 20 Tel (46) 1215	室内競技	バレーボール 2面 バスケットボール 1面 バドミントン 3面 卓球 5台 アリーナ 32m×23m	競技場全面貸切利用 (1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,140円 市外 1,710円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,280円 市外 2,850円 営利目的の場合 3,990円 競技場全半面貸切利用 (1時間)
前川原体育館	鹿島区角川原字前川 原 69-1	室内競技	バレーボール 2面 バスケットボール 1面 バドミントン 3面 アリーナ 644㎡	非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 570円 市外 850円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,140円 市外 1,420円 営利目的の場合 1,990円
鹿島体育館	鹿島区横手字川原 186-1	室内競技	アリーナ面積 1,050㎡ バドミントン 6面 バレーボール 2面 バスケットボール 1面 2階多目的室	個人利用 (1回券) 大人 100円 高校生 50円 小中学生 20円 個人利用 (回数券) 大人 (12回) 1,000円 高校生 (12回) 500円 小中学生 (12回) 200円 〔個人利用時間区分〕 A. 9時～12時 B. 12時～15時 C. 15時～17時 D. 17時～19時 E. 19時～21時
千倉グラウンド	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	屋外競技	競技場面積 17,895㎡ ソフトボール 2面 野球 他 夜間照明有	グラウンド全面貸切利用 (1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 無料 市外 630円 体育競技以外を目的とする場合 市内 無料 市外 1,050円
前川原グラウンド	鹿島区角川原字前川 原 69-1	屋外競技	競技場面積 14,496㎡ ソフトボール 1面 野球 他	営利目的の場合 1,470円 千倉グラウンド夜間照明料 30分 1,050円

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
千倉 テニスコート	鹿島区鹿島字北千倉 24-1	テニス	競技場面積 1,368 m ² ハードコート 2面 (ナイター設備2面)	1面貸切利用(1時間) 非営利目的の場合 市内 1,050円 市外 1,570円 営利目的の場合 3,670円 個人利用(1回券) 大人 2時間 200円 高校生 2時間 100円 小中学生 2時間 50円 個人利用(回数券) 大人(12回) 1,000円 高校生(12回) 500円 小中学生(12回) 200円 夜間照明料(1時間) 1面 200円 〔個人利用時間区分〕 A. 9時～11時 B. 11時～13時 C. 13時～15時 D. 15時～17時 E. 17時～19時 F. 19時～21時
みちのく鹿島球場	鹿島区南右田字榎内 146-1	野球 その他	競技場面積 13,980 m ² 両翼 100m 中堅 122m 収容人員 3,000人 本部室、審判室 救護室、放送室 スコアボード	野球場全面貸切利用(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 700円 市外 1,050円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,400円 市外 1,750円 営利目的の場合 2,450円
南相馬市 パーク ゴルフ場	鹿島区川子字大迫地 内	パーク ゴルフ	コース面積 52,580 m ² 6コース 54ホール 管理棟、東屋、トイレ棟、駐車場 261台	個人利用(1回券) 大人 1回 500円 高校生以下 1回 250円 個人利用(回数券) 大人 12回 5,000円 高校生以下 12回 2,500円 付属備品利用料金 クラブ 1回 500円 ボール 1回 50円

原町区

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
夜の森公園 テニスコート	原町区三島町一丁目 88	ソフト テニス	競技場面積 7,051 m ² クレーコート 5面 管理棟・物品庫	1面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 市内 260 円 市外 390 円 営利目的の場合 910 円 個人利用（1回券） 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 個人利用（回数券） 大人（12回） 1,000 円 高校生（12回） 500 円 小中学生（12回） 200 円 個人利用（年間利用券） 大人 3,000 円 高校生 1,500 円 小中学生 600 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ～ 12 時 B. 12 時 ～ 17 時
雲雀ヶ原 陸上競技場	原町区中太田字天狗 田 96	陸上競技	競技場面積 21,996 m ² 400mトラック （第3種公認）	全面貸切利用（1時間） 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用（1回券） 大人 1回 100 円 高校生 1回 50 円 小中学生 1回 20 円 個人利用（回数券） 大人（12回） 1,000 円 高校生（12回） 500 円 小中学生（12回） 200 円 個人利用（年間利用券） 大人 3,000 円 高校生 1,500 円 小中学生 600 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ～ 12 時 B. 12 時 ～ 17 時

施 設 名	所 在 地	競技種目	施 設 内 容	利用料金
南 相 馬 市 野 球 場	原町区桜井町二丁目 252	野 球 そ の 他	競技場面積 17,367 m ² 両翼 100m 中堅 119m 収容人員 5,000 人 本部席・審判席 内野席(両翼)864 席 夜間照明 6 基	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円 夜間照明料 (1 時間) 全灯 6,940 円 半灯 3,470 円
南 相 馬 市 サ ッ カ ー 場	原町区高見町一丁目 5	サッカー	競技場面積 10,050 m ² コート(芝) 1 面 (70m×105m)	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,100 円 市外 2,620 円 営利目的の場合 3,670 円
南 相 馬 市 テ ニ ス コ ー ト	原町区高見町一丁目 5	テ ニ ス	競技場面積 10,130.8 m ² 砂入り人工芝 14 面 (ナイター設備 14 面) 管理棟 139.12 m ² 物品庫	1 面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 個人利用 (1 回券) 大 人 200 円 高 校 生 100 円 小中学生 50 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 2,000 円 高 校 生 (12 回) 1,000 円 小中学生 (12 回) 500 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 6,000 円 高 校 生 3,000 円 小中学生 1,500 円 夜間照明料 (1 時間) 1 面 200 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ~ 11 時 B. 11 時 ~ 13 時 C. 13 時 ~ 15 時 D. 15 時 ~ 17 時 E. 17 時 ~ 19 時 F. 19 時 ~ 21 時

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
南相馬市 スポーツ センター	原町区桜井町二丁目 200 Tel (22) 8951～2 FAX (22) 8953	室内競技	総面積 6,135 m ² 1階 4,061 m ² 2階 1,862 m ² バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 10面 テニス 2面 卓球 26台 体操・トレーニング 収容人員 1階 3,000名 2階(固定席) 1,716名	競技場全面貸切利用(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,890円 市外 2,830円 体育競技以外を目的とする場合 市内 3,780円 市外 4,720円 営利目的の場合 6,610円 競技場半面貸切利用(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 940円 市外 1,410円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,880円 市外 2,350円 営利目的の場合 3,290円 ステージ(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630円 市外 940円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260円 市外 1,570円 営利目的の場合 2,200円 多目的室(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 230円 市外 340円 体育競技以外を目的とする場合 市内 460円 市外 570円 営利目的の場合 800円 会議室(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 170円 市外 250円 体育競技以外を目的とする場合 市内 340円 市外 420円 営利目的の場合 590円 アリーナ冷暖房(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,400円 市外 2,100円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,800円 市外 3,500円 営利目的の場合 4,900円 観客席冷暖房(1時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合

施 設 名	所 在 地	競技種目	施 設 内 容	利用料金
				市内 300 円 市外 450 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 600 円 市外 750 円 営利目的の場合 1,050 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ~ 11 時 B. 11 時 ~ 13 時 C. 13 時 ~ 15 時 D. 15 時 ~ 17 時 E. 17 時 ~ 19 時 F. 19 時 ~ 21 時
南 相 馬 市 弓 道 場	原町区三島町一丁目 67-1	弓 道	競技場面積 880 m ² 6 人立射場 会議室・練習場 更衣室	全面貸切利用 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ~ 12 時 B. 12 時 ~ 17 時 C. 17 時 ~ 21 時

施 設 名	所 在 地	競技種目	施 設 内 容	利用料金
新 田 第 一 運 動 場	原町区北新田字諏訪 231-1	少年野球 ソフト ボール	競技場面積 11,387 m ² 少年野球 2 面 ソフトボール 2 面 (157m×78m) 管理棟・物品庫 便所	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 630 円 市外 940 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,260 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 2,200 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 310 円 市外 460 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 620 円 市外 770 円 営利目的の場合 1,080 円
北 新 田 第 二 運 動 場	原町区北新田字諏訪 68-1	屋外競技	競技場面積 7,758 m ² ゲートボール アーチェリー フェンスH=4.5m L=395m 矢 止 H=2.0m L=20m 物品庫	全面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 420 円 市外 630 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 840 円 市外 1,050 円 営利目的の場合 1,470 円 半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 210 円 市外 310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円 個人利用（1 回券） 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用（回数券） 大 人（12 回）1,000 円 高 校 生（12 回）500 円 小中学生（12 回）200 円 個人利用（年間利用券） 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円

施設名	所在地	競技種目	施設内容	利用料金
北新田野球場	原町区北新田字諏訪 241-7	野球 ソフト ボール	競技場面積 7,780 m ² 両翼 85m センター 90m 外野フェンス H=3.00m バックネット H=10.00m 倉庫 2 足洗場 1	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 520 円 市外 780 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,040 円 市外 1,300 円 営利目的の場合 1,820 円
南相馬市 馬事公苑	原町区片倉字畦原 4- 1 TEL (24) 4511 FAX (24) 4518	馬術 ディスク ゴルフ	競技場面積 28ha 障害馬術馬場 馬場馬術馬場 覆馬場 走路 直線坂路 みどりの広場 管理棟	個人利用 (2 時間) 学生以下 100 円 一般 200 円 (回数券 12 回) 学生以下 1,000 円 一般 2,000 円 個人利用 (半日又は夜間 1 回) 学生以下 300 円 一般 610 円 (回数券 12 回) 学生以下 3,000 円 一般 6,100 円 貸切使用料 全面 1 日 50,970 円 半日 25,480 円 1 施設ごと 1 日 16,310 円 半日 8,150 円
栄町柔剣道場	原町区栄町二丁目 42 TEL (24) 2810	柔道 剣道 囲碁 基 会 議	総面積 781 m ² 1 階 320 m ² 2 階 461 m ² 柔道場 96 畳 剣道場 19m×20m 講和室 2 更衣室 2	講和室全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 講和室半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 柔剣道場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 1,050 円 市外 1,570 円 営利目的の場合 3,670 円 柔剣道場半面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 520 円 市外 780 円 営利目的の場合 1,820 円 個人利用 (1 回券) 大人 100 円 高校生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大人 (12 回) 1,000 円 高校生 (12 回) 500 円

施 設 名	所 在 地	競技種目	施 設 内 容	利用料金
				小中学生 (12 回) 200 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,000 円 高 校 生 1,500 円 小中学生 600 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ～ 12 時 B. 12 時 ～ 17 時 C. 17 時 ～ 21 時
南 相 馬 市 相 撲 場	原町区桜井町二丁目 333	相 撲	土俵 1 面 更衣室、トイレ	全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 市内 710 円 市外 1,060 円 営利目的の場合 2,480 円 個人利用 (1 回券) 大 人 110 円 高 校 生 60 円 小中学生 30 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,100 円 高 校 生 (12 回) 600 円 小中学生 (12 回) 300 円 個人利用 (年間利用券) 大 人 3,300 円 高 校 生 1,800 円 小中学生 900 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ～ 12 時 B. 12 時 ～ 17 時 C. 17 時 ～ 21 時
小 川 町 体 育 館	原町区小川町 322-1	室内競技	総面積 1,269 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 卓 球 10 台 フロアー 35m×30m 2 階多目的ホール	競技場全面貸切利用 (1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,710 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 2,280 円 市外 2,850 円 営利目的の場合 3,990 円 競技場半面貸切利用 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 570 円 市外 850 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 1,140 円 市外 1,420 円 営利目的の場合 1,990 円 個人利用 (1 回券) 大 人 100 円 高 校 生 50 円 小中学生 20 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 1,000 円 高 校 生 (12 回) 500 円 小中学生 (12 回) 200 円 多目的ホール 1 区画貸切利用

施 設 名	所 在 地	競技種目	施 設 内 容	利用料金
				(1 時間) 非営利目的の場合 体育競技を目的とする場合 市内 210 円 市外 310 円 体育競技以外を目的とする場合 市内 420 円 市外 520 円 営利目的の場合 730 円 〔個人利用時間区分〕 A. 9 時 ～ 12 時 B. 12 時 ～ 15 時 C. 15 時 ～ 17 時 D. 17 時 ～ 19 時 E. 19 時 ～ 21 時
南 相 馬 市 民 プ ー ル	原町区桜井町二丁目 166 Tel (26) 9380	屋内プール	建築面積 1,685.47 m ² 25mプール 8 コース (25m×10m) 幼児プール	1 コース貸切利用 非営利目的の場合 市内 1,250 円 市外 1,870 円 営利目的の場合 4,370 円 個人利用 (1 回券) 大 人 500 円 高 校 生 200 円 小中学生 100 円 個人利用 (回数券) 大 人 (12 回) 5,000 円 高 校 生 (12 回) 2,000 円 小中学生 (12 回) 1,000 円 個人利用 (年間券) 大 人 (年間) 22,500 円 高 校 生 (年間) 9,000 円 小中学生 (年間) 4,500 円 〔利用時間〕 10 時 00 分～20 時 30 分

3 学校体育施設開放

小高区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
小高区内 小中学校	校庭 多目的ホール 屋内運動場	サッカー バレーボール 卓球 剣道 など	(火) 午後5:00～午後7:00 (水、金) 午後7:00～午後9:00 (土) 第1・第3土曜日 午前9:00～正午 第2・第4土曜日 午前9:00～午後5:00

鹿島区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
鹿島区内 小中学校	校庭	サッカー など	(月～金) 開放しない (土・日・祝日及び長期休業日) 午前8:30～午後5:00
	屋内運動場	バレーボール バドミントン 剣道 など	(月～金) 午後5:00～午後9:00 (土・日・祝日及び長期休業日) 午前8:30～午後9:00

原町区

開放する施設	開放する施設種目	使用できる体育種目	開放する日時
原町区内 小中学校	校庭	ソフト ボール サッカー など	5月1日～ 10月31日 まで (月～金) 午後5:00～午後9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前8:30～午後9:00
			上記以外 の日 (土・日・祝日・長期休業日) 午前8:30～午後5:00
	多目的ホール 屋内運動場	バレーボール 卓球 など	(月～金)午後5:00～午後9:00 (土・日・祝日・長期休業日) 午前8:30～午後9:00

使用料（各区共通）

施設等	使用料	摘要
多目的ホール	1時間につき 520 円	普通券及び回数券の1回の使用時間は、1時間とする。
屋内運動場	1時間につき 520 円	
	普通券 1回 520 円	
	回数券 12回 5,200 円	
校庭	夜間照明を使用する場合 1時間につき 200 円	
	夜間照明を使用しない場合 無料	

Ⅸ 各種委員会等名簿

南相馬市生涯学習推進委員

職 名	氏 名	所 属 等	選 出 区 分
委員長	大 場 盛 子	学識経験者	原町区
副委員長	渡 部 喜 典	学識経験者	鹿島区
委 員	佐 藤 公 一	南相馬市小中学校長会 (原町第二中学校)	関係機関
委 員	新 川 久 幸	南相馬市体育協会	関係機関
委 員	山 本 啓 史	原町青年会議所	関係機関
委 員	杉 重 典	学識経験者	小高区
委 員	飯 塚 宏	学識経験者	小高区
委 員	瀬 下 智 美	学識経験者	小高区
委 員	水 谷 祐 子	学識経験者	小高区
委 員	今 野 秀 幸	学識経験者	鹿島区
委 員	塙 龍 太 郎	学識経験者	鹿島区
委 員	佐 藤 こ ゆ る	学識経験者	鹿島区
委 員	富 田 恵	学識経験者	原町区
委 員	西 チ イ 子	学識経験者	原町区
委 員	遠 藤 友 彦	学識経験者	原町区

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

南相馬市文化財保護審議会委員

役 職 名	氏 名	所 属 等	専門分野
委 員	伊 賀 和 子	学識経験者	自 然
委 員	猪 狩 正 志	学識経験者	歴 史
委 員	岩 崎 真 幸	学識経験者	民 俗
委 員	岡 田 清 一	学識経験者	歴 史
委 員	竹 谷 陽 二 郎	学識経験者	自 然
委 員	玉 川 一 郎	学識経験者	考 古
委 員	丹 野 香 須 美	学識経験者	民 俗
委 員	藤 原 一 良	学識経験者	歴 史
委 員	二 上 裕 嗣	学識経験者	歴 史
委 員	山 本 富 士 夫	学識経験者	歴 史

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

南相馬市スポーツ推進審議会委員

No.	氏 名	所 属	役 職
1	大 亀 清 壽	南相馬市スポーツ協会	会長
2	片 山 義 雄	南相馬市スポーツ協会	副会長
3	江 本 節 子	南相馬市レクリエーション協会	会長
4	堀 耕 平	南相馬市スポーツ少年団本部	本部長
5	猪 狩 香 奈	相双教育事務所	社会教育主事
6	安 達 大 晃	相双地区高等学校体育連盟	理事長 (相馬高等学校)
7	石 川 貴 義	南相馬市小中学校長会	大甕小学校校長
8	西 祥 一	スポーツ施設指定管理者協議会	会長
9	山 本 啓 史	一般社団法人原町青年会議所	総務広報委員会副委員長
10	中 村 博 之	スポーツ国際交流経験者	
11	鎌 田 博 信	南相馬市PTA連絡協議会	常任委員

任期 令和6年1月19日から令和7年3月31日まで

南相馬市スポーツ推進委員

No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名	No.	氏 名	性別	住 所	役職名・ グループ名
1	小 屋 進	男	南相馬市 鹿島区	会 長	21	佐 藤 朝 生	男	南相馬市 原町区	
2	百 井 茂	男	南相馬市 原町区	副会長	22	白 井 規 之	男	南相馬市 鹿島区	
3	米 津 とき子	女	南相馬市 原町区	副会長	23	杉 安 子	女	南相馬市 原町区	
4	岡 本 慶 子	女	南相馬市 鹿島区	会 計	24	今 野 治 己	男	南相馬市 原町区	
5	三本松 裕子	女	南相馬市 原町区	監 事	25	門 馬 裕	男	南相馬市 鹿島区	
6	佐 藤 実	男	南相馬市 原町区	監 事	26	佐々木 貴子	女	南相馬市 原町区	
7	岡崎 真奈美	女	南相馬市 小高区	女性代表	27	佐 藤 恵 美	女	南相馬市 原町区	
8	秩 父 重 弘	男	南相馬市 鹿島区						
9	境 原 祥 友	男	南相馬市 原町区						
10	松野 たつ子	女	南相馬市 原町区						
11	小 倉 陽 一	男	南相馬市 鹿島区						
12	荒 義 裕	男	南相馬市 鹿島区						
13	大 土 光 雄	男	南相馬市 鹿島区						
14	和 泉 ひ で 子	女	南相馬市 鹿島区						
15	濱 野 和 人	男	南相馬市 原町区						
16	阿 部 秀 子	女	南相馬市 小高区						
17	佐 藤 文 彦	男	南相馬市 原町区						
18	高 玉 雅 利	男	南相馬市 原町区						
19	鈴木 美奈子	女	南相馬市 原町区						
20	草 野 禎 夫	男	南相馬市 鹿島区						

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

南相馬市立図書館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	鎌 田 孝 子	社 会 教 育 関 係
副 会 長	松 永 雄 一	学 識 経 験 者
委 員	新 野 賢 一 郎	学 校 教 育 関 係 （ 石 神 第 一 小 学 校 ）
委 員	矢 内 信 男 ※	学 校 教 育 関 係 （ 原 町 第 一 中 学 校 ）
委 員	蒔 田 志 保	家 庭 教 育 関 係
委 員	今 野 聡	学 識 経 験 者
委 員	金 谷 清 子	学 識 経 験 者
委 員	鈴 木 久 美 子	社 会 教 育 関 係
委 員	湯 澤 由 紀 子	社 会 教 育 関 係
委 員	森 岡 こ う	社 会 教 育 関 係

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

※印の委員は、令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

南相馬市立博物館協議会

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	岩 崎 真 幸	学 識 経 験 者 （ 民 俗 ）
副 会 長	栗 村 文 夫	一 般 社 団 法 人 南 相 馬 観 光 協 会
委 員	遠 藤 友 彦	南 相 馬 市 生 涯 学 習 推 進 委 員 会
委 員	目 黒 晶 保	南 相 馬 市 私 立 幼 稚 園 協 会
委 員	青 田 雅 子	南 相 馬 市 小 ・ 中 学 校 長 会 （ 太 田 小 学 校 ）
委 員	塙 広 治	南 相 馬 市 小 ・ 中 学 校 長 会 （ 鹿 島 中 学 校 ）
委 員	中 野 茂	福 島 県 立 原 町 高 等 学 校
委 員	岡 田 清 一	学 識 経 験 者 （ 歴 史 ）
委 員	竹 谷 陽 二 郎	学 識 経 験 者 （ 自 然 ）
委 員	吉 野 高 光	学 識 経 験 者 （ 考 古 ）

任期 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

X 教育史年表

小高町

年	沿革
昭和 29	町村合併促進法により、旧小高町、福浦村、金房村の一町二カ村が合併して小高町となる 町村合併により福浦村立福浦小学校を小高町立福浦小学校、金房村立金房小学校を小高町立金房小学校と改称 金房小学校から独立し、小高町立鳩原小学校となる 小高中学校特別教室（理科室・技術実習室）完成
31	小高小学校プール完成
34	小高小学校校舎の老朽化により改築、第一校舎完成
37	塚原分教場廃止 金房小学校学校給食開始 給食室完成 小高中学校屋内運動場落成式
39	小高小学校 12 月 8 日、火災により校舎全焼 改築の第 1、第 3 校舎は類焼をまぬがれ、2・4 校舎を完成
40	小高中学校プール関連施設完成
43	金房小学校プール完成 鳩原小学校町立幼稚園併設
44	小高小学校町立幼稚園併設 鳩原小学校プール完成
45	福浦小学校体育館完成、校門舗装並びに校庭柵新設、吊輪設置
47	小高、金房、福浦三中学校を統合
48	小高中学校新校舎第 1 期工事開始
49	小高中学校新校舎第 2 期工事開始
50	小高中学校新校舎第 3 期工事開始
51	小高中学校体育館完成
52	小高小学校米食給食開始 小高中学校プール完成
53	金房小学校新校舎第 1 期建築工事着工（旧金房中学校校舎へ移転）同完成（995 m ² ）
54	金房小学校新校舎第 2 期建築工事着工（1,171 m ² ） 新校舎完成 金房小学校教育振興会結成
55	福浦小学校旧校舎解体開始 校舎新築起工式
56	福浦小学校新校舎落成式、同祝賀会
57	福浦幼稚園舎、校地内に新築 鳩原小学校校舎改築工事、新校舎への移転
58	鳩原小学校屋内運動場建築工事完成
61	金房小学校給食室新築（100 m ² ） プール配管修理
平成 2	金房小学校プール改修工事完成
3	小高小学校校舎改築第 1 期工事着工
4	小高小学校校舎改築第 1 期工事完成 校舎改築第 2 期工事着工、同完成
5	小高小学校体育館プール工事着工、同完成 小高小学校新築落成式
13	福浦小学校プール改修工事完成

鹿島町

年	月	沿 革
昭和 29	3	町村合併促進法により、旧鹿島町、真野村、八沢村、上真野村の一町三カ村が合併し鹿島町となる 町村合併により、鹿島町立真野小学校、鹿島町立上真野小学校と改称
32	3	北右田分校廃止
34	12	上真野小学校学校給食開始
35	12	真野小学校学校給食開始
37	1	鹿島小学校学校給食開始
39	10	町村合併により鹿島町立八沢小学校と改称
40	3	上真野小学校新校舎第 1 期工事 4 教室完成
41	3	真野小学校屋内運動場新設 上真野小学校新校舎第 2 期工事 4 教室完成
42	3 7	上真野小学校新校舎第 3 期工事 4 教室完成 鹿島小学校プール完成
43	2 4 6	鹿島小学校屋内運動場完成 真野小学校北校舎とりこわし 給食センター開設、給食センターによる給食開始 真野小学校特別教室新設（4 教室）
44	3 4	栃窪分校廃校 烏崎分校を真野小学校に統合 特殊学級設置
45	2 3 7	八沢小学校校舎鉄筋改築 プール完成 南柚木分校を本校へ統合、スクールバスを運行 小池分校廃校 真野小学校プール完成
46	1 12	上真野小学校プール新築 八沢小学校屋内体育館完成
47	4	鹿島小学校に鹿島幼稚園を併設
48	3	上真野小学校に上真野幼稚園併設
49	9	真野小学校新校舎建築着工
50	3	真野小学校新校舎完成
51	4	鹿島幼稚園を新設し移転
52	9	八沢小学校給食へ米飯給食取り入れ
53	4	真野小学校に真野幼稚園併設
54	9 12	鹿島小学校新校舎落成式典 鹿島日吉神社のお浜下り国選択民俗文化財となる
56	3 4	上真野幼稚園新園舎完成移転 真野幼稚園独立園舎完成
58	4	鹿島中学校・上真野中学校を統合し、鹿島町立鹿島中学校となる
59	3	鹿島幼稚園新園舎完成移転
60	3	鹿島中学校屋外部室完成
61	1	鹿島中学校柔剣道場完成・道場開き
平成 4	3 4 9	真野小学校体育館新設 上真野小学校校舎大規模改造工事完成 鹿島中学校校庭を整地
5	10 11	鹿島中学校プール専用水道配管工事完成 体育館道路フェンス完成
6	2	上真野小学校校舎大規模改造内装工事完成
6	3	鹿島中学校南校舎内壁塗装工事完成
7	3 7	八沢小学校プール西側及び北側フェンス改修工事完成 上真野小学校プール修理工事完成
8	3	鹿島中学校北校舎内壁塗装工事完成

年	月	沿革
10	3	八沢小学校プール改築工事完成
11	3	鹿島小学校プール完成
12	6	真野小学校プール改修工事完成
15	3	鹿島小学校屋内運動場工事完成
17	5	八沢小学校新校舎完成

原町市

年	月	日	沿 革
昭和 29	3	20	原町、太田村、大甕村、高平村の一町三カ村が合併して原町市となる
	4	1	原町第二小学校を設置（原町第一小学校に併設、9月22日から橋本町1丁目）
	5	6	原町市教育委員会傍聴人規則を制定（教規2）
	6	20	太田中学校体育館完成
		28	原町市公立施設等の使用に関する条例を制定（条29）
	11	19	原町市公立学校通学区域に関する規則を制定（教規10）
	12	27	原町市社会教育委員の定数及び任期に関する条例が制定される（条63）
30	12	27	「泉の一葉松」福島県の天然記念物に指定される
		〃	「泉廃寺跡」福島県の史跡に指定される
	12	30	太田中学校校舎増築
31	5	15	原町市営夜の森テニスコート完成（三島町1丁目地内）
	8	21	原町第二小学校校舎完成
	9	4	「泉廃寺跡出土瓦一括26点」福島県の重要文化財に指定される
		30	石神村が原町市に合併
	10	3	教育長に対する事務委任規則を制定（教規6）
			教育長専決規定を制定（教程1）
	11	7	「桜井古墳」国の史跡に指定される
	12	26	原町市教育委員会事務局処務規程を制定（教程3）
32	6	3	学校の長に対する事務委任規則を制定（教規1）
		〃	原町市立公民館管理運営規則を制定（教規2）
	10	1	原町市社会教育委員の会議運営に関する規則を制定（教規3）
	12	27	原町市育英資金貸付条例を制定（条28）
34	1	24	原町第二小学校体育館完成
	4	1	高平中学校を校名変更し原町第二中学校を設置
	5	10	高平校舎の347名原町第二中学校に移転
35	2	6	原町校舎の391名原町第二中学校に移転
	3	29	石神第二小学校プール兼防火用池完成
	4	6	原町市立公民館運営審議会規則を制定（教規2）
	7	20	原町市体育館条例を制定（条19）
	11	24	原町第二中学校校舎完成（桜井町1丁目地内）
		26	原町市立公民館の連絡等にあたる公民館に関する規則を制定（教程10）
36	3	31	高平小学校に体育館完成
	4	1	太田・大甕中学校を統合し原町第三中学校を設置（下太田川内前地内）
	7	31	原町市営雲雀ヶ原陸上競技場完成（中太田天狗田地内）
37	3	30	「木造十一面観音立像」が福島県の重要文化財に指定される
	4	20	大甕校舎から原町第三中学校に移転
	5	24	体育指導委員の定数、任期等に関する規則を制定（教規1）
	6	16	原町第二中学校体育館完成
		27	原町市教育委員会事務局組織規則を制定（教規2）
38	1	14	原町第三中学校校舎竣工
		18	太田校舎から原町第三中学校に移転、完全統合なる
39	2	1	石神第二小学校校舎増築
	3	27	原町市小学校及び中学校条例を制定（条37）
		〃	原町市公民館条例を制定（条38）
		〃	原町市文化財保護条例を制定（条例46）
	3	31	原町第三中学校の校舎及び給食調理室完成
		〃	原町第二小学校プール完成
	4	1	原町市文化財保護条例規則を制定（教規1）
	6	29	原町第一中学校校舎の一部火災により焼失
	7	10	原町第一小学校プール完成（25m 5コース）
	8	10	原町市スポーツ少年団発足（22団体448人）
	9	19	太田小学校の校舎増築
40	3	17	原町第一小学校体育館完成
	4	12	原町第三中学校体育館完成

年	月	日	沿 革
	8 10	29 5 10	石神第二小学校横川分校 1 ～ 6 年生を廃止 原町市三道会館完成（三島町 1 丁目地内） 原町市総合体育大会を開催
41	2 4 11	15 1 20	原町第二中学校特別教室完成 充て指導主事 1 名配置 原町第二小学校特別教室完成
42	3 8 10	31 〃 29 2 〃	石神第一小学校不動分校（1 ～ 4 年生）並びに原町第一小学校渋佐分校（1 ～ 2 年生）を廃止 原町第二中学校プール完成（25m 6 コース） 「陣太鼓」「鳥毛槍」を市有形民俗文化財に「平福穂庵神馬額」「藤田家所蔵文書」を市有形文化財に指定 石神中学校給食調理室完成 原町第一中学校特別教室完成
43	1 3 8 11	26 25 31 15 10	原町第一中学校校舎完成 原町第二小学校校舎増築 原町市教育委員会職員の職名等に関する規則を制定（教規 2） 原町第二小学校給食調理室完成 原町第一中学校体育館完成
44	2 3 4 11 8 11	25 31 1 11 24 3 20	原町市公の施設等の使用に関する条例施行規則を制定（規 5） 大甕小学校堤谷分校（1 ～ 2 年生）廃止 原町第一小学校に「ことばの教室」を開設 「初発神社のスダシイ樹林」福島県の天然記念物に指定される 原町第二中学校給食調理室完成 原町市民憲章を制定（告 25） 原町第三中学校プール完成（25m 5 コース）
45	2 6 11	25 28 1 12	石神第一小学校体育館完成 原町第二小学校に交通安全教育センター完成 教育委員会事務局に総務課、指導課を設置 「三島神社の竜と唐獅子」「野馬追図屏風」を市有形文化財に「片倉の笠松」「医徳寺のしだれ松」を市天然記念物に指定（教告 4）
46	1 3 4 6 7 12	11 11 8 25 1 〃 26 17 1 〃 11	原町第一中学校給食調理室完成 「旧武山家住宅」国の重要文化財に指定される 石神第二小学校体育館完成 原町市幼稚園条例を制定（条 9） 原町第三小学校を設置（原町第二小学校に併設） 〃 石神第一、石神第二、高平、大甕、太田に幼稚園を設置 原町市立幼稚園の授業料の納入及び減免措置に関する規則を制定（教規 5） 原町市教育施設使用規則を制定（規 6） 原町市農業青年研修センター設置条例を制定（条 19） 〃 原町市農業青年研修センター管理規則を制定（教規 5） 大甕小学校プール完成（25m 6 コース）
47	2 5 6 7 8 10 9 10 10 11 12	28 20 6 1 〃 〃 9 10 〃 1 1 25 8	原町第三小学校 6 年生、新校舎（上町 1 丁目地内）に移動 原町市教育委員会事務局財務規程を制定（教訓 1） 市内小学校一年生の児童を対象に心電図検査を実施 原町市教育財産管理規則を制定（教規 6） 〃 原町市社会教育指導員設置等に関する規則を制定（教規 7） 〃 「羽山岳の木戸跡」を史跡に指定 原町第三小学校校舎（第二期）完成、全校移動完了 太田小学校プール完成（25m 6 コース） 〃 原町第一小学校夜間スポーツ活動用夜間照明完成 原町第一小学校給食調理室完成 原町市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を制定（教規 9） 原町第三小学校給食調理室完成 原町第三小学校体育館完成 市内小中学校に O・H・P 46 台導入

年	月	日	沿 革
53	3	3	高平小学校校舎（第二期）改築工事完成
		〃	高平幼稚園園舎改築工事完成
		17	大甕幼稚園園舎改築工事完成
		〃	原町サッカー場完成（高見町1丁目地内）
		〃	大甕公民館の改築漏示完成
		30	原町市補助金等の交付等に関する規則に基づく市長の権限を原町市教育委員会に委任する規則を制定（規10）
	5	22	「相馬野馬追」国の重要無形民俗文化財に指定される
	8	10	高平小学校・高平幼稚園プール完成（25m 6コース）
	9	30	石神第一小学校給食調理室完成
		〃	原町市中心身障害児就学指導審議会条例を制定（条28）
	11	10	原町市中心身障害児就学指導審議会条例施行規則を制定（教規2）
	12	27	太田小学校の給食調理室改築工事完成
54	2	10	原町市勤労者体育センターの管理及び運営に関する条例を制定（条5）
		28	原町市公立小中学校管理規則を制定（教規1）
	3	5	太田幼稚園園舎改築工事完成
		30	原町市スポーツ振興審議会条例を制定（条6）
		〃	原町勤労者体育センター管理規則を制定（規4）
		31	原町運動公園テニスコート完成（高見町1丁目地内）
		〃	石神第二幼稚園園舎改築工事完成
		〃	石神公民館改築工事完成
	4	1	原町市教育委員会事務局に社会教育課設置
	5	7	原町市公立幼稚園管理規則を制定（教規3）
	6	20	石神第二小学校校舎増築
	7	30	原町第一中学校プール完成（25m 7コース）
	8	15	原町市公立学校体育施設の開放に関する規則を制定（教規7）
		〃	原町市公立学校体育施設の開放に関する実施要綱を制定（教訓4）
55	1	19	石神第一幼稚園園舎改築工事完成
	2	20	高平公民館改築工事完成
	3	24	石神第一小学校校舎改築工事完成
		〃	石神中学校校舎（第一期）改築工事完成
56	1	31	石神中学校給食調理室完成
	3	21	太田公民館改築工事完成
		24	石神中学校校舎（第二期）改築工事完成（校舎及び給食室）
		〃	太田小学校校舎（第一期）改築工事完成
		25	原町市福島県営原町体育館管理条例を制定（条7）
		31	原町市福島県営原町体育館管理条例施行規則を制定（教訓1）
		〃	原町市福島県営原町体育館処務規程を制定（教訓1）
	4	1	高平小学校通学区域の正常化を図る
		16	原町市立公民館処務規程を制定（教訓2）
	7	30	石神中学校プール完成（25m 7コース）
	9	5	原町市弓道場完成（三島町1丁目地内）
57	3	11	石神中学校体育館完成
		29	太田小学校校舎（第二期）改築工事完成
		30	高平小学校校舎増築工事完成
	5	25	高平小学校体育館火災により焼失
	6	21	赤沼遺跡を試掘
	7	7	石神第二小学校用地を買収
	12	8	小川町体育施設にゲートボールコート（2面）完成
58	1	31	高平幼稚園園舎増築
	2	15	市営野球場にバックスクリーン及びスコアボード完成
		28	原町第二小学校校舎及び給食調理室改築工事完成（第一期）
		〃	大甕小学校校舎増築
		〃	石神第二小学校校舎増築
	3	30	桜井運動公園駐車場用地を買収

年	月	日	沿 革
	4	1	修行年限 2 年以上の専修学校在学者を原町市育英資金貸付の対象とする
		〃	通学距離 3 km 以上の小学校 1 年生、2 年生のバス通学者にバス定期代実費の 1 / 2 を補助
		〃	大甕・太田小学校通学区域の正常化
	5	10	高平小学校体育館完成
		27	原町市公立小学校遠距離通学費助成金交付要綱を制定（教訓 2）
59	1	31	太田小学校体育館改築工事完成
	2	29	原町第二小学校校舎改築（第二期）工事完成
		〃	石神第二小学校校舎改築工事完成
		〃	市営野球場に本部席、バックネット及びフェンス等設置
	3	4	原町第一中学校の校舎一部火災により焼失
		28	バス定期利用者以外の遠距離通学児童についても月額 1,000 円が 58 年 4 月に朔及し補助対象となる（教訓 1）
		〃	原町市文化及びスポーツ振興基金条例を制定（条 12）
	4	12	遠距離通学助成対象者を小学 4 年生まで拡大（教訓 2）
	5	1	原町市歴史資料及び民俗文化財調査員設置要綱を制定（教訓 4）
		〃	原町市教育センター運営要綱を制定（教訓 5）
	6	20	原町無線塔記録ビデオ完成
	7	31	原町第二小学校プール完成（25m 8 コース）
60	2	28	原町第二小学校校舎改築工事完成
	3	15	北新田に運動場、管理棟完成
	4	1	全公民館に社会教育指導員配置
		〃	原町市教育委員会事務局処務規程全面改正（訓 1）
		〃	副読本「社会科はらまち」を刊行し小学校第 3 学年児童に無償給付する
	7	20	石神第二小学校にプール完成（25m 6 コース）
	11	8	教育相談員による教育相談開始（毎週火・金曜日）
61	1	18	北新田に野球場完成
		30	石神第二小学校低学年用プール完成
		31	大甕公民館に研修室（洋室）増築
	3	10	原町第二中学校校舎改築（第一期）工事完成
		〃	原町第二中学校給食室改築工事完成
	4	1	原町市教育センター指導員配置
	7	1	市立幼稚園授業料改訂（現行 3,000 円を 4,000 円に改訂）
		31	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 66. 8. 5 まで）
	8	25	原町第一小学校プール附属建物改修工事完成
		30	原町第一中学校校舎大規模改修（第一期）工事完成
	11	17	市内中学校 4 校にパーソナル・コンピュータ各 1 台配置（NEC 製）。
	12	13	石神中学校校舎増築
		15	北新田に第二運動場及び附属設備完成
62	2	28	原町第二中学校校舎改築（第二期）工事完成
	3	6	市指定文化財の解除（鎧・紺威胴丸）
	3	25	原町第二中学校自転車置場及び外構工事完成
	4	1	育英資金貸付条例の一部改正され、昭和 62 年度より貸付額の引上げ実施（条 4）
		〃	教育委員会事務局組織が改正され、社会教育課に文化振興係及び体育振興課を新設（教規 1）
		〃	原町第二中学校に多目的ホールを設置し一般開放（教訓 4）
	5	12	市民プール公認期間延長（公認期限 67. 5. 10 まで）
		30	大甕幼稚園幼児プール設置
	6	1	原町第一小学校敷地借地 124 m ² 所有者佐々木隆殿より寄付される
		30	原町市公立学校施設の開放に関する要綱を制定（教訓 4）
	7	1	生涯教育推進本部設置要綱を制定（教訓 5）
		〃	生涯教育推進会議設置要綱を制定（教訓 6）
		10	石神第二小学校及び大甕小学校に防球ネット設置
	9	30	原町第二中学校体育館床改修工事完成
	11	17	市内小学校 8 校にパーソナル・コンピュータ各 1 台を設置（NEC 製）

年	月	日	沿 革
	12	21	原町第一小学校（南校舎）庇パラペット補修工事完成
63	2	29	原町第二中学校校舎改築（第三期）工事完成
	3	15	原町第二中学校外構及び解体工事完成
	4	1	原町文化及びスポーツ振興育成事業に関する規則を制定施行（教規 2）
	〃	〃	原町市文化及びスポーツ振興育成事業特別会計条例を制定し助成事業を開始
	6	1	第 50 回国民体育大会原町市準備推進本部設置要綱を制定（教訓 1）
	〃	〃	第 50 回国民体育大会原町市幹事会設置要綱を制定（教訓 2）
	11	10	北新田運動場（第一運動場）緑化工事完成
	12	19	石神第二幼稚園遊戯室改築（180 m ² ）完成
平成 元年	1	8	元号改正され「平成」となる
	3	13	石神第二小学校体育館改築（1,100 m ² ）工事完成
		20	市野球場マウンド改修工事完成（基準改正による）
	4	1	原町市語学指導を行う外国青年の給与に関する条例を制定（条 3）
	〃	〃	育英資金貸付条例の一部改正され、平成元年度より貸付額の引上げ実施（条 8）
	〃	〃	招致外国青年就業規則を制定（教規 2）
	〃	〃	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課に国体系を新設（教規 1）
	6	20	北新田運動場（第二運動場）緑化工事完成
	9	20	市野球場に内野スタンド新設（252 人収容）
	10	11	原町第二中学校に相撲練習場（68.96 m ² ）完成
	12	10	北新田運動場に、プレハブ倉庫（46.2 m ² ）完成
		26	育英資金貸付条例の一部改正され、大学生貸付額に区分を設け、なお、貸付額の引上げ実施（条 43）
	〃	〃	原町市公民館条例の一部改正を行い、「ひがし公民館」を設置する条例を制定（条 44）
2	2	15	原町第三中学校校舎一期（1,496 m ² ）及び給食室（127 m ² ）改築及び防球ネット・フェンス等設置工事完成
		28	原町第三小学校校舎増築（861 m ² ）及び外構工事完成
	3	20	原町第二小学校体育館及び附属便所改修工事完成
	〃	〃	ひがし公民館建設（493 m ² ）
	7	20	北新田運動場（多目的広場）緑化工事完成
	8	20	市野球場に内野スタンド新設（二期）
		31	運動公園に原町市相撲場建設
	10	5	原町第一小学校屋体整備第一期改修工事完成
		9	原町第二中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC 製）10 台配置
	11	9	原町市相撲場関連施設工事完成
3	3	11	原町第三中学校校舎二期（2,151 m ² ）改築工事完成
		15	原町第一小学校（北校舎）庇パラペット補修工事完成
		25	原町第三中学校屋外環境整備工事、外構工事等完成
	3	28	教育委員会事務局組織が改正され、体育振興課国体系を市長部局に組織替となる
	4	1	社会体育課が生涯教育課と改称（4 月 1 日実施）
	7	17	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 8. 8. 5 まで）
	10	15	原町第三小学校パラペット・外壁塗装改修工事完成
		31	原町市野球場スタンド改修工事完成
4	1	24	野馬追の里歴史民俗資料館建設の基本構想
		31	市指定文化財の解除（天然記念物・片倉の笠松）
	2	29	原町第一中学校校舎一期（534 m ² ）増改築工事完成
	3	31	原町第三中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC 製）10 台配置
	〃	〃	グランドピアノ 5 台を更新（原町第二小学校・太田小学校・石神中学校・原町第一中学校・原町第二中学校）
	〃	〃	教育委員会事務局組織が改定され、生涯教育課を生涯学習課と文化課の 2 課とする（4 月 1 日実施）
	4	1	県営原町体育館を原町市スポーツセンターと名称を変更
	9	12	学校週五日制に係る学校開放事業開始
	10	6	市民プール公認期間延長（公認期間 9. 5. 10 まで）
5	3	5	原町市第三小学校屋体の屋根ふき替工事完成
		10	太田小学校校舎（400 m ² ）改築工事完成

年	月	日	沿 革
		〃	原町第一中学校校舎二期（509 m ² ）増築工事完成
		20	原町第一中学校・石神中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）10 台配置
		30	グランドピアノ 8 台を更新（石神第一小学校・石神第二小学校・原町第一小学校・原町第三小学校、全中学校）
		〃	全小中学校にファクシミリ機器を設置
	4	31	「八坂神社のアカガシ樹林」を市天然記念物に指定
	1	1	市情報公開条例により教育委員会が実施機関となる
		〃	各公民館に空調設備工事完成
	8	30	「野馬追図の屏風」を市有形民俗文化財に指定
	9	1	原町第一中学校屋内運動場（一期）工事完成
		10	大甕小学校校舎外壁・防水改修工事完成
		30	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）10 台配置
	10	29	1 学校 21 台の配置を完了
	12	20	生涯学習都市宣言
6	1	31	野馬追の里歴史民俗資料館建設起工式
	3	15	大甕小学校・原町第二中学校及び原町第三中学校のプール施設の全面改修工事完成
		25	太田小学校・原町第三小学校・石神第一小学校プール改築・改修工事完成
		〃	サッカー場改修工事完成（芝張）
		31	勤労者体育センター外部等改修工事完成
	6	20	高平小学校プール施設の全面的な塗装改修工事完成
	7	20	市立図書館及び原町公民館事務室の冷暖房設備の整備
	9	20	太田幼稚園の園庭整備（太田小旧プール跡地の活用）
		30	原町第一中学校屋内体育館の内・外壁及び照明器具の全面改修工事完成 （平成 5 年は、当該施設の床の全面改修を図ったもの）
	6	20	高平小プール全面塗装改修工事完成
	9	20	太田幼稚園園庭整備
		30	原町第一中学校屋内運動場改修工事完成（2 期）
	10	31	石神中学校運動場用地取得（8,528 m ² ）
7	3	15	大甕小学校プール改築工事完成
		〃	原町第二中学校プール改築工事完成
		〃	原町第三中学校プール改築工事完成
	4	1	野馬追の里歴史民俗資料館開設
		〃	原町市生涯学習センター、各地区生涯学習センター開設
	5	1	「北萱浜の天狗舞」・「馬場の神楽七芸」を原町市無形民俗文化財に指定
	8	26	野馬追の里歴史民俗資料館一般公開開始
	9	20	大甕小学校浄化槽全面改修工事完成
	10	31	原町市体育館屋根改修工事完成
8	3	22	小川町体育館改築完成
		〃	原町市野球場夜間照明施設整備
		〃	石神中学校プール改築工事完成
		〃	石神中学校運動場整備
		〃	運動公園テニスコート改修工事完成
	4	1	生涯学習部設置
	5	9	野馬追の里歴史民俗資料館が博物館法に定める博物館に登録される
	6	26	全小学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 21 台配置
	8	15	農業研修センターを改築し、陸上競技場管理棟に改める
	11	1	原町市教育相談室「やすらぎ広場」開設
9	3	17	原町第二中学校屋内運動場改築工事完成
	4	1	生涯学習部文化課内に市史編さん担当の配置
		〃	石神第一幼稚園で 3 歳児保育を試行
		〃	市立幼稚園の授業料改訂（月額 4,000 円から 5,000 円へ）
	7	24	英語指導助手 2 名体制となる
	10	1	生涯学習まちづくり出前講座開講
		15	全中学校にパーソナル・コンピュータ（NEC製）各 42 台配置
	12	2	原町図書館業務電算システム導入

年	月	日	沿 革
10	3 4 〃 〃 〃 6	20 1 〃 〃 〃 30	石神第一小学校屋内運動場改築工事完成 生涯学習部文化課内に市史編さん室を設置 野馬追の里歴史民俗資料館が野馬追の里原町市立博物館に名称変更 「野馬追の図二葉」を市有形民俗文化財に指定 全幼稚園において3歳児保育開始 文化センター、各地区生涯学習センターの冷暖房の整備
11	3	12	原町第三小学校屋内運動場改築工事完成
12	1 2 〃 3 31 4 〃 〃	28 1 〃 30 31 1 〃 〃	原町第三中学校屋内運動場改築工事完成 「銅製鰐口 2口」を市有形文化財に指定 「桜井古墳群上洪佐7号墳」を市史跡に指定 ふれあいドーム建設完成 「紙本著色野馬追図 二鋪」が福島県の重要有形文化財に指定される (市有形民俗文化財「野馬追の図二葉」は市指定解除) 原町市教育委員会所管に係る原町市個人情報保護条例施行規程を制定(教訓2) 原町市教育委員会会議規則全面改正(教規1) 学校給食用食器を漆器製食器に切り替え使用開始
13	4 〃 〃 〃 8 8 9	1 〃 〃 〃 8 31 1	原町市教育委員会事務局等組織規則全面改正 原町市生涯学習センター条例及び施行規則制定 原町市公立中学校管理規則全面改正 市立幼稚園の授業料を改訂(月額5,000円から5,700円へ) ひばり生涯学習センター建設完成 小学校にパーソナル・コンピュータ(富士通製)各51台、中学校に各9台(富士通製)を配置 「上洪佐7号墳出土銅鏡」を市有形文化財に指定
14	2 20 28 8 23 11 〃	16 20 28 23 5 〃	市民文化会館建設着工 原町第三中学校屋外運動場(テニスコートフェンス)整備 太田幼稚園園舎(保育室)増築 全中学校にパーソナル・コンピュータ(NEC製)各42台の入れ替え 「野馬土手」及び「行方郡家政庁院跡」を市史跡に指定 「高平の板石塔婆群」、「荷渡大権現の板石塔婆群」、「相馬太田神社板石塔婆群」及び「社号額『大明神』」を市有形文化財に指定
15	2 3 4 5 6 8 23 10	7 25 1 18 18 20 23 30	大甕小学校屋内運動場改築工事完成 原町市史第4巻「古代・中世」の刊行 公募による地区生涯学習センター所長が就任 桜井古墳公園開園 ハネダ・カンボス彗星の看板を設置 市立幼稚園トイレの洋式化(2ヶ所) 小学校にパーソナル・コンピュータ(富士通製)全100台、中学校全47台を配置 市民文化会館建設完成
16	2 3 4 〃 6 8 11	25 25 1 〃 30 24 13	原町市史第10巻「野馬追」の刊行 市野球場改修工事完成(ダッグアウト増設、フェンス防護マット設置、防球ネット設置) 市立図書館が図書業務係と建設係の2係となる 市内中学校給食の民間委託を行う 市民プールを改修工事完成 原町第二小学校トイレの洋式化 第10回全国報徳サミット原町大会を開催
17	2 3 31 4 7 8 12	1 25 31 1 29 31 11	子ども110番の家・車を指定し、防犯マップを作成 原町市史第8巻「自然」の刊行 「火縄銃 銘中村住神尾久右衛門橋公宗」「黒漆塗鳩胸五枚胴具足 附采配 具足櫃 櫃覆」を原町市文化財として指定 市立幼稚園で預かり保育を実施 市立幼稚園に空調設備設置 石神中学校、太田小学校のトイレの洋式化 石神中学校屋内運動場火災により全焼

南相馬市

年	月	日	沿 革
平成 18	1	1	小高町・鹿島町・原町市の二町一市が合併して南相馬市となる
		26	浦尻貝塚（小高区浦尻）、国指定史跡となる
	2	30	運動公園トリムコースの外灯を増設
		28	原町第一中学校北校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第9巻「民俗」の刊行
		31	小高町史「おだかの人物」「写真集おだかまちのすがた」の刊行
	4	1	市立幼稚園園長（小高幼稚園、福浦幼稚園、鳩原幼稚園を除く）の専任化
	5	31	石神中学校屋内運動場取壊し（18.3.28～）
	9	27	雲雀ヶ原陸上競技場改修工事完成（公認期間延長 23.8.5 まで）
	11	29	小高町史「おだかの歴史入門」の刊行
		30	鹿島町史「ふる里の歴史」の刊行
19	2	28	石神中学校屋内運動場改築工事完成
	3	15	上真野小学校屋外プール改築工事完成
		26	原町市史第5巻「近世」の刊行
		30	小高町史「写真集おだかまちの民家」の刊行
	5	15	石神中学校屋内運動場落成式
20	2	1	小高体育センターにトレーニング室設置
		15	小高中学校南校舎耐震補強工事完成
		29	真野小学校屋外プール改築工事完成
		〃	原町第一小学校南校舎耐震補強工事完成
	3	24	原町市史第11巻「旧町村史」の刊行
		28	小高町史「海辺の民俗～福浦村を中心に」の刊行
	4	1	小高図書館・鹿島図書館が地域教育課所管から原町図書館所管となる
21	2	13	小高中学校北校舎耐震補強工事完成
		18	原町第一小学校北校舎耐震補強工事完成
		23	上真野小学校屋内運動場改築工事完成
		27	鹿島小学校校舎耐震補強工事完成
		31	小高町史「DVD映像で見るおだかの民俗芸能」の刊行
	3	31	小高町史「DVD映像で見るおだかの民俗芸能」の刊行
	4	1	スポーツ施設指定管理制度導入
		10	小浜千石稲荷神社 地引網漁図絵馬、市有形民俗文化財に指定
	7	15	原町市史「旧町村史」が福島民報出版文化賞特別賞受賞
	10	16	博物館入館者開館以来20万人達成
22	2	12	1 移転により原町図書館から中央図書館に名称変更
		22	泉官衙遺跡（原町区泉）、国指定史跡となる
		〃	浦尻貝塚、国史跡の追加指定となる
		26	福浦小学校校舎耐震補強工事完成
		31	小高町史「山手の民俗～金房村を中心に」の刊行
23	1	7	横大道製鉄遺跡（小高区飯崎）、国指定史跡となる
		28	原町第一小学校屋内運動場改築工事完成
	3	11	東日本大震災（震度6弱、大津波警報）
		〃	大津波により真野小学校及び真野幼稚園が被災
	4	12	避難指示（福島第一原発から半径20km圏内）
		15	屋内退避指示（福島第一原発から半径20km～30km圏内）
	4	22	警戒区域指定（福島第一原発から半径20km圏内）
		〃	緊急時避難準備区域指定 （福島第一原発から半径20km～30km圏内は教育施設休止）
	4	〃	小・中学校が鹿島区に移転し再開（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
		22	炊き出し昼食提供開始（2, 500食）
	5	25	小学1年生の入学式（鹿島区内の各小・中学校・社会教育施設等）
		6	公立保育園の再開（かしま保育園・かみまの保育園）
	〃	〃	私立保育園の再開

年	月	日	沿 革
			(原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園が鹿島区寺内地区に臨時園舎にて再開)
	6	1	児童クラブの再開 (千倉 (鹿島)・上真野・八沢小学校)
		29	公立幼稚園の再開 (鹿島区鹿島幼稚園・上真野幼稚園)
	8～11	1～5	八沢小地震被害改修工事完成 除染作業 (保育園・幼稚園・小・中学校の校庭・園庭の表土入替え及び校舎・園舎の洗浄) (警戒区域を除く)
	8	5～7	中央図書館施設除染作業
		9	中央図書館の再開
		11	南相馬市博物館の再開
		25	学校給食再開 (3, 300食)
		11	鹿島区内小・中学校にユニット教室完成・使用開始 (24教室～高平小・大甕小・原町一小・石神二小・小高小・金房小・鳩原小・原町二中)
	9	1	公立幼稚園の再開 (鹿島区八沢幼稚園)
		30	緊急時避難準備区域の解除 (福島第一原発から半径20km～30km圏内)
	10	11	私立保育園の本園再開 (原町聖愛保育園・北町保育所・よつば保育園)
		17	原町区内小中学校の本校再開① (原町一小・原町三小・大甕小・原町一中・原町二中)
		11	児童クラブの再開 (東町・上町・大甕児童クラブ)
		20	原一小地震被害改修工事完成
		31	原一中地震被害改修工事完成
		11	原二中地震被害改修工事完成
	11	1	私立幼稚園再開 (青葉幼稚園・原町みなみ幼稚園・さゆり幼稚園)
		11	原町区内の生涯学習センター (原町を除く) を再開
		15	南相馬市紹介映画「悠久の風吹くまち」の上映を開始
		21	仮設校舎完成・使用開始 (鹿島小仮設校舎～真野小・福浦小・小高小・鹿島中仮設校舎～石神一小・石神中)
		30	石神中地震被害改修工事完成
	12	6	鹿島図書館の再開
		22	石神二小地震被害改修工事完成
		28	原二小地震被害改修工事完成
24	1	1	南相馬市民文化会館を再開
		8	南相馬市成人式を3区合同により「ゆめはっと」で開催
		10	原町区内小学校の本校再開② (原町二小・高平小・太田小)
		11	児童クラブの再開 (橋本町児童クラブ)
		20	高平小地震被害改修工事完成
	2	1	スポーツ施設の再開 (原町区内：南相馬市テニスコート、南相馬市弓道場、原町ふれあいドーム) (鹿島区内：千倉体育館、前川原体育館)
		15～	小・中学校プールの除染作業 (警戒区域を除く)
		27	原町区内小中学校の本校再開③ (石神一小・石神二小・原町三中・石神中)
		11	児童クラブの再開 (石神第二児童クラブ)
		29	鹿島小地震被害改修工事完成
	3	1	スポーツ施設の再開 (夜の森公園テニスコート)
		15	原三中地震被害改修工事完成
		31	鹿島体育館、牛島体育館を解体・廃止
	4	1	児童クラブの再開 (石神第一児童クラブ・高平児童センター)
		11	鹿島生涯学習センターを再開
		11	原町生涯学習センターが市民情報交流センターに一時移転し、業務を再開
		11	スポーツ施設の再開 (栄町柔剣道場)
		11	公立幼稚園の再開 (原町区大甕幼稚園・高平幼稚園)
		11	生涯学習課とスポーツ推進課が市長部局「市民生活部文化スポーツ課」に再編移行
	4	3	学校図書館支援員の派遣開始 (原町三小・石神二小・小高小・鹿島小)
		6	鹿島中仮設校舎入居校 (小高小・金房小・鳩原小)
		9	スポーツ施設の再開 (南相馬市スポーツセンター)
	7	1	スポーツ施設の再開 (南相馬市野球場、北新田野球場、北新田運動場多目的広場)
		2	スポーツ施設の再開 (雲雀ヶ原陸上競技場)
		14	スポーツ施設の再開 (南相馬市民プール)

年	月	日	沿 革
	8 11 12	31 9 28	太田小地震被害改修工事完成 南相馬市文化センターの解体 原町市史第6巻「近代」の刊行
25	2 3 31 〃 4 〃 〃 〃 〃 29 5 20 7 16 8 〃 9 30 〃 11 12	28 29 31 〃 1 〃 〃 〃 〃 29 17 20 1 16 30 〃 1 30 〃 29 16	鹿島・原町区小中学校空調機器（エアコン）整備（上真野小・石神中を除く） 小高町史「資料の調査と記録」の刊行 南海老グラウンドを廃止 鹿島歴史民俗資料館を廃止 福浦小が鹿島小仮設校舎から鹿島中仮設校舎へ引越し 真野小が鹿島小仮設校舎から鹿島小校舎へ引越し 南相馬屋内市民プールの市の直営管理を開始 原町生涯学習センターがサンライフ南相馬に移転 市内全小学校（16校）への学校図書館支援員の派遣開始 鹿島中地震被害改修工事完成 スポーツ施設の再開（南相馬市相撲場） スポーツ施設の再開（小川町体育館） スポーツ施設の再開（北新田第一運動場・北新田第二運動場） 鳩原小地震被害改修工事完成 小高小地震被害改修工事完成 金房小地震被害改修工事完成 原町ふれあいドームを廃止 小高中学校屋内運動場耐震改修工事（地震被害改修工事含む）完成 福浦小地震被害改修工事完成 原町第一中学校屋内運動場改築工事完成 小高生涯学習センター「浮舟文化会館」を再開
26	1 2 3 31 4 〃 6 7 8 9 12	31 3 10 31 1 〃 25 20 30 29 3	上真野小学校校舎耐震改修工事（エアコン整備を含む）完成 スポーツ施設の再開（小高体育センター） 原町第二小学校プール改築工事完成 鹿島区真野幼稚園廃止 真野小学校を鹿島小学校に統合 市内全中学校（6校）への学校図書館支援員の派遣開始 朝日座、国登録有形文化財となる 石神中学校校舎耐震改修工事完成（エアコン整備を含む） 鹿島町史第1巻「通史」の刊行 小高エレベーター設置工事完成 新八沢児童クラブ開所
		1	鹿島中敷地内仮設体育館竣工・供用開始
27	2 3 〃 6 7 13 31 〃 〃 4 〃 7	1 3 〃 6 7 13 31 〃 〃 1 〃 21	スポーツ施設の再開（南相馬市馬事公苑） 原町区公立保育園芝生化整備（原町あずま保育園） 鹿島区公立保育園芝生化整備（かしま保育園・かみまの保育園） 鹿島区公立幼稚園芝生化整備（八沢幼稚園・上真野幼稚園） 新潟県立大学との子どもの福祉・教育に関する連携協定締結 原町区公立幼稚園芝生化整備（大甕幼稚園・高平幼稚園） 上町児童センター耐震改修工事完成 原町市史第7巻「現代」の刊行 村上の田植踊、県指定重要無形民俗文化財となる 公立保育園の再開（原町あずま保育園） 南相馬屋内市民プール指定管理制度導入 スポーツ施設の再開（みちのく鹿島球場）
28	3 4 23 26 27 5	31 〃 1 23 26 27 26	鹿島町史別巻「続現代資料」の刊行 小高町史「おだかまちの現代資料～南相馬市誕生までの30年～」の刊行 南相馬市就業改善センター、小高コミュニティセンター再開 公立保育園の再開（原町さくらい保育園） 相馬野馬追図屏風、県指定重要有形民俗文化財となる スポーツ施設の再開（鹿島体育館） 移動図書館車運行スタート（中央図書館）

年	月	日	沿 革
	7	15 〃 21 8 1 10 17	小高図書館再開 埴谷・島尾記念文学資料館再開 新鹿島児童クラブ開所 大谷家住宅東蔵・中蔵・門、国登録有形文化財となる。 南相馬市パークゴルフ場供用開始
29	3 4 〃 〃 10	31 1 〃 〃 27	原町市史第1巻「通史Ⅰ」の刊行 小高小学校（小高小、福浦小、金房小、鳩原小合同運営）、小高中学校の再開 公立幼稚園の再開（小高区小高幼稚園） 南相馬市パークゴルフ場指定管理者制度導入 スポーツ施設の再開（小高中部運動場・小高西部運動場） 高島家住宅コンクリート蔵・門及び塀、国登録有形文化財となる
30	2 3 4 4 4 11 12	13 30 1 6 15 2 27	泉官衙遺跡、国史跡の追加指定となる 小高町史「町場と里の民俗～小高町を中心に～」の刊行 市民生活部文化スポーツ課を「市民生活部生涯学習課」と「市民生活部スポーツ推進課」に組織再編 杉阿弥陀堂 木造阿弥陀如来坐像・木造毘沙門天立像、県指定重要文化財となる 南相馬市テニスコート増設8面供用開始 天野家住宅主屋、米蔵、西蔵、外便所、正門、通用門・裏門および塀、太田家住宅屋、米蔵、味噌蔵、道具蔵、鈴木家住宅主屋、国登録有形文化財となる。 原町市史第2巻「通史Ⅱ」の刊行
31 令和 元年	4 5 7	1 〃 〃 1 31 1 22	組織機構改革により市民生活部生涯学習課を「教育委員会事務局生涯学習課」に編入 幼児教育課が市長部局「こども未来部こども育成課」に再編移行 スポーツ施設の再開（千倉グラウンド・前川原グラウンド） 元号改正され「令和」となる 原町第一小学校プール改築工事完成 スポーツ施設の再開（小高東部運動場、千倉テニスコート） 南相馬市パークゴルフ場増設トイレ棟供用開始
2	1 3 27 30 31 4 19 30 30 5	14 16 19 27 30 31 1 19 30 30 29	北新田運動場増設トイレ棟供用開始 浜通りのお浜下り国選択民俗文化財となる 市野球場大規模改修工事完了（ナイター照明 LED 化、スコアボード改修、バックネット張替え、時計設置、ミニスコアボード改修、BSO 表示板改修） 夜の森公園テニスコート災害復旧工事完了（ライン撤去新設、砂補充、舗装） スポーツ施設の再開（小高片草運動場テニスコート） 小高区小高幼稚園、おだか保育園廃止 市立おだか認定こども園が開園 スポーツ施設の再開（南相馬市サッカー場） 高平小学校校舎外壁等改修工事完成 石神第一小学校校舎外壁等改修工事完成 石神第二小学校プール改築工事完成
3	1 2 3 15 19 31 〃 4 23 10 11	29 26 5 15 19 31 〃 1 23 29 5	栄町柔剣道場・南相馬市弓道場・夜の森公園テニスコート埋設保管除去土壌等撤去完了 「東日本大震災記録誌 100 年後へ届ける記録」の刊行 GIGA スクール構想に基づき、全小中学校に無線 LAN 環境を整備 南相馬市スポーツセンター大規模改修工事完了（アリーナ照明 LED 化、アリーナ床改修、アリーナ空調設備改修、トイレ洋式化） 北新田野球場・北新田運動場（第二運動場）埋設保管除去土壌等撤去完了 小高区福浦幼稚園、金房幼稚園、鳩原幼稚園廃止 小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校が閉校 市立小高小学校が開校 鹿島区の「北右田の屋敷林」を市有形民俗文化財に指定 全小中学校に校務支援システムネットワークを構築 南相馬市民プール更新に伴う南相馬市民プール解体工事完了
4	2 3 4	28 31 25	原町第一中学校駐輪場新築工事完成 馬事公苑埋設保管除去土壌撤去業務完了（直線坂路の埋戻し、走路復旧等） 「鹿島御子神社の火伏せ祭り」と天灯籠神事を市無形民俗文化財に指定

年	月	日	沿 革
5	4	24	「片草古墳群一里段支群2号墳」を市史跡に指定
	7	22	浦尻貝塚縄文の丘公園「貝塚観察館」供用開始
6	3	31	八沢小学校が閉校
	4	1	八沢小学校を鹿島小学校に統合
	4	22	「裸子植物ベネチテス目の新種化石キムリエラ・デンシフォリア」を市天然記念物に指定
	9	7	浦尻貝塚縄文の丘公園全面供用開始
7	1	1	小中学校17校のLED照明交換完了（10年間のリース契約、契約終了後所有権は市へ無償移転）
	2	5	浦尻貝塚縄文の丘公園「貝塚観察館」が第40回福島県建築文化賞を受賞
	3	28	「木造如意輪観音坐像」が福島県重要文化財（彫刻）に指定

編集・発行
令和7年7月発行
南相馬市教育委員会
〒975-8686
福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地
TEL 0244-24-5282
FAX 0244-23-7782

